

富士吉田青年の家体育館棟長寿命化改修工事 (電気設備工事)

図面番号	図面名称	縮尺 (A1版)
E-00	図面リスト	————
E-01	電気設備特記仕様書 (1)	————
E-02	電気設備特記仕様書 (2)	————
E-03	幹線設備系統図 (改修図)	————
E-04	幹線・動力設備 外構図 (改修図)	1/150
E-05	電灯分電盤図 (撤去図・改修図)	————
E-06	動力・コンセント設備 1・2階平面図 (改修図)	1/100
E-07	照明器具姿図及び動力盤図 (改修図)	————
E-08	電灯設備 1・2階平面図 (改修図)	1/100
E-09	放送設備 系統図 (改修図)	————
E-10	放送・時計設備 1・2階平面図 (改修図)	1/100
E-11	自動火災報知設備 凡例・註記・系統図 (改修図)	————
E-12	自動火災報知設備 1・2階平面図 (改修図)	1/100
E-13	機械警備設備 体育館棟撤去及び改修図	1/50
E-14	コンセント設備 1・2階平面図 (撤去図)	1/100
E-15	電灯設備 1・2階平面図 (撤去図)	1/100
E-16	弱電設備 外構図 (撤去図)	1/200
E-17	放送設備 1・2階平面図 (撤去図)	1/100
E-18	自動火災報知設備 1・2階平面図 (撤去図)	1/100
E-19	電灯設備 本館棟撤去及び改修図	1/300
E-20	火災報知設備 本館棟撤去及び改修図	1/50
E-21	機械警備設備 本館棟撤去及び改修図	1/50
E-22	(A-061) 仮設計画図 (建築工事) (参考図)	1/300

決	部 長	次 長	主 幹	係 長	担 当
裁					
習志野市 政策経営部 施設再生課					

工事名称 富士吉田青年の家体育館棟長寿命化改修工事(電気設備工事)

「習志野市週休2日制適用工事試行要領(當繕工事)」については現場着手日から現場完成日までの期間において、4週8休以上の現場閉所を実施すること。なお、4週8休以上は対象期間内の現場閉所の日数の割合が28.5%以上の水準に達する状態をいう。現場閉所率の算出において、現場閉所の日数には降雨、降雪等による予定外の閉所日についても、當繕工事現場閉所の日数に含めるものとする。

現場閉所の確認方法等の詳細事項については「習志野市週休2日制適用工事施工要領(當繕工事)」によるものとする。
猛暑による作業不能日数
●本工事は、猛暑による作業不能日数を次のとおり見込んでいる。
i)作業不能日数:0日
ii)上記i)は、環境省が公表する中部地方_山梨県_河口湖地点におけるWBGT値(気温、湿度、日射、輻射を考慮した暑さ指数)過去5年分(2020年~2024年)について、本工事の工期に対応する期間(行政機関の休日に関する法律(昭和63年法律第91号)に定める行政機関の休日及び夏季休暇(3日)を除く。)において、8時から17時間の間にWBGT値が31以上となった時間を算定し、日数に換算したものを5年分を平均したもの。

環境状況により工期中に発生した猛暑による作業不能日数(当該現場における定時の現場作業時間において、環境省が公表する関東地方_千葉県_船橋地点におけるWBGTが31以上となり、かつ受注者が契約工事単位で全作業を中断し、又は現場を閉所した時間を算定し、日数に換算したもの(小数点以下第一位を四捨五入する。))がi)の日数から著しく乖離した場合には、受注者は発注者へ工期の延長変更を協議することが出来る。

Table with 7 columns: 建物名称, 構造, 階数, 延べ面積(m2), 消防法施行令第145号, 施設の種類, 備考. Row 1: 体育館, RC造, 2階, 917.7230, , ,

3. 工事種目(●印の付いたものを適用し、○印の付いたものは適用しない。)

Table with columns: 建物別及び屋外, 工事項目, 体育館棟, 屋外. Rows include: 受電設備, 電灯設備, 動力設備, 漏保保護設備, 電力貯蔵設備, 換気設備, 換気情報通信網設備, 換気内交換設備, 情報表示設備, 映像・音響設備, 監視カメラ設備, 防犯・入退室管理設備, 中央制御監視設備, 構内配電線路, 構内通信線路.

4. 指定部分 ○ 無 ○ 有 (対象部分 指定部分工期 年 月 日)

II. 工事仕様

1. 共通仕様
工事発注に関する説明事項書(質疑に対する回答書を含む)、本特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)(平成31年版)」(以下、「標準仕様書」という。), 「公共建築改修工事標準仕様書(電気工事編)(平成31年版)」(以下、「改修工事標準仕様書」という。))及び「公共建築改修工事標準図(電気設備工事編)(平成31年版)」(以下、「標準図」という。)による。

2. 特記仕様
章、項目及び特記事項共に、●印の付いたものを適用し、○印のものは適用しない。

章 項 目 特 記 事 項

Main specification table with 3 columns: 章, 項 目, 特 記 事 項. Rows include: 電気工物の種類, 電気保安技術者, 施工従事者, 化学物質を放散させる建築材料等.

章 項 目 特 記 事 項

● 一般事項
○ 県内生産品
受注者は、「県内生産品使用状況調査票」を作成し、工事完成時に提出するとともに、完成検査後に以下の技術管理課メールアドレスに電子データで提出しなければならない。
メール送付先: kensanin@nz.pref.chiba.lg.jp
なお、監督職員への提出にあたっては、この特記仕様書の完成図面に含むものとし、「千葉県當繕事業に係る電子納品運用ガイドライン」に基づき、その他フォルダに保存し電子成果品として提出することとする。

○ ワンデーレスポンス
本工事は、ワンデーレスポンス対象工事である。「ワンデーレスポンス」とは受注者からの質問、協議への回答は、基本的に、「その日のうち(24時間以内)」に回答するよう対応することである。ただし、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを受注者に確認の上、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」にすることとする。

○ 適用区分
建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には、次の条件を用いる。
○ 風圧力
風速 (V= m/s)
地表面粗度区分 (○Ⅰ ○Ⅱ ○Ⅲ ○Ⅳ)
○ 積雪荷重
建設省告示第1455号における区域 別表 ()

● 機材の品質等
1. 本工事に使用する機材は、設計図書に定める品質及び性能を有するもの又は同等以上のものとする。ただし、同等以上のものとする場合は、予め監督職員の承諾を受ける。
2. 下記の表に機材名が記載された製造業者等は、次の 1)から 6)までの全ての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して監督職員の承諾を受ける。ただし、製造業者名等が記載されているものは、証明となる資料等の提出を省略することができる。

- 1) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること。
2) 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。
3) 安定的な供給が可能であること。
4) 法令等で定めがある場合は、その許可、認可、認定又は免許を取得していること。
5) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。
6) 販売、保守等の営業体制が整えられていること。

Table with 2 columns: 機 材 等, 機材名. Rows include: LED照明(一般屋内用に限る。), 照明制御装置, 可変速運転用インバータ装置, 分電盤, 制御盤, キュービクル配電盤, 高圧スイッチギア(W形), 高圧スイッチギア(PW形), 高圧交流遮断器, 高圧進相コンデンサ, 高圧限流ヒューズ, 高圧負荷開閉器, 高圧変圧器(特定機器), 交流無停電電源装置, 太陽光発電装置(パワーコンディショナ及び系統連系保護装置), 監視カメラ装置, 中央監視制御(監視制御装置).

(表記以外に品質等の確認が必要な機材がある場合は記載する。)

● 工 事 用 水
構内の既存施設 ○ 利用できない ● 利用できる(● 有償 ○ 無償)

● 工 事 用 電 力
構内の既存施設 ○ 利用できない ● 利用できる(● 有償 ○ 無償)

● 監督職員事務所
○ 設ける ● 設けない

● 工事用仮設物
構内につくることが ● できる ○ できない

● 官公署等への手続
工事に必要な官公署への手続きは受注者が代行し、速やかに行う。

● 足場その他
● 別契約の関係受注者が設置したものは、無償で使用できる。(○ 機械設備工事 ● 建築工事 ● 設置する。)

○ 本工事で設置する。
「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり掘置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。

○ 内部足場等(○ 種 ○ 種)
○ 外部足場等(○ 種 ○ 種)

● 工 事 写 真
国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「當繕工事写真撮影要領(令和3年版)」による。
設計図CADデータ : ○ 貸与する ○ 貸与しない
著作権 : ○ 千葉県 ○ ()
貸与するCADデータを当該工事の施工図または完成図の作成以外の目的に使用してはならない。

● 電 子 納 品
1. 本工事は、電子納品の対象工事である。
電子納品は、「千葉県當繕事業に係る電子納品運用ガイドライン【當繕工事編】令和4年1月」(以下、「ガイドライン」という。))に基づいて行う。
2. 工事完成検査時には、(公財)千葉県建設技術センター(以下、「センター」という。)から発行される「千葉県電子媒体(副本)納品事前受付書」を携行すること。
3. 工事完成検査後は、速やかに電子媒体部と「千葉県電子媒体(副本)納品事前受付書」をセンターに送付すること。その後、センターから発行される「千葉県電子媒体(副本)受領書」を監督職員に提出すること。なお、電子成果品は工事請負契約書第45条の対象とし、電子データに不備が確認された場合は、受注者は修正作業を行わなければならない。
4. 「ガイドライン」の解釈に疑義がある場合は、監督職員と協議の上で決定すること。

章 項 目 特 記 事 項

Table with 3 columns: 提出図書等, 仕 様, 部数. Rows include: 完成図面, 工事関係図書, 完成写真, 保安に関する資料, 電子成果品.

○ なし ● あり()
特別管理産業廃棄物 ○ なし ● あり(PCB使用機器:)
PCB使用機器は関係法令により適切に処理し、建物管理者に引き渡す。

● 建設副産物の処理等
1. 共通事項
1) 「千葉県建設リサイクル推進計画2016ガイドライン」に基づき、本工事に係る「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」を「建設副産物情報交換システム(COBRIS)」により作成し、施工計画書に含め各1部提出すること。

また、計画の実施状況(実績)については、「再生資源利用実施書」及び「再生資源利用促進実施書」並びに「建設副産物情報交換システム工事登録証明書」を同システムにより作成し、各1部提出するとともに、これらの記録を工事完成後一年間保存しておくこと。
◎作成対象工事
「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」は請負金額が、「再生資源利用実施書」及び「再生資源利用促進実施書」並びに「建設副産物情報交換システム工事登録証明書」は最終請負金額が100万円以上の全ての工事について建設資材の利用、建設副産物の発生・搬出の有無にかかわらず作成する。

2) 「建設副産物の処理基準及び再生資材の利用基準」に基づき、建設副産物の処理に先立ち、「建設副産物処理承認申請書」を作成し、監督職員の確認を受け、同申請書を1部提出すること。なお、建設廃棄物の処理を委託する場合は、収集運搬又は処分について許可業者と各々建設廃棄物処理契約を締結し、「建設廃棄物処理委託契約書」を監督職員に提示するとともに、同契約書の写しを同申請書に添付すること。
建設副産物の処理完了後速やかに、「建設副産物処理調書」を作成し、1部提出するとともに、実際に要した処理費等を証明する資料(受入伝票、写真等)を監督職員に提出し確認を受けること。
3) 建設副産物の処理に当たって、産業廃棄物管理票制度に基づく紙マニフェスト方式による場合は、原則として複写式伝票の口票及び口票の写しを提出すること。
また、電子マニフェスト方式による場合は、原則として廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき指定された情報処理センターが発行する当該工事のマニフェスト情報を収録した電子媒体又は建設廃棄物の引渡し時、運搬終了時及び処分終了時に登録される情報を印刷したものを(受渡確認票等)を提出すること。

2. 建設発生土
1) 指定(A)(工事間利用)の場合
本工事により発生する建設発生土のうち、下記に示す建設発生土については、工事間利用を図るものとし、下記指定地に搬出すること。
ア 搬出先(相手先工事名、場所等) 工事 市 町地先
イ 土質及び処理量 第 種 建設発生土 m³
ウ 搬出時期 年 月 ~ 年 月
なお、搬出手続き等は監督職員の指示によること。
2) 指定(A)(その他)の場合
建設発生土(m³)は、 地先に搬出するものとする。
なお、詳細については監督職員の指示によるものとする。
3) 指定(B)の場合
建設発生土(m³)は、片道運搬距離 kmに搬出するものとする。

3. 路盤廃材
本工事により発生する路盤廃材(t)は 市 町地先、片道運搬距離 kmの に運搬し、処理するものとする。

4. 建設廃棄物
本工事により発生する
1) アスコン塊(t)は 市 町地先、片道運搬距離 kmの に運搬し、処理するものとする。(※ 中間処理場 ・ 最終処分場)
2) コンクリート塊(t)は 市 町地先、片道運搬距離 kmの に運搬し、処理するものとする。(※ 中間処理場 ・ 最終処分場)
3) 建設発生木材(t)は 市 町地先、片道運搬距離 kmの に運搬し、処理するものとする。(※ 中間処理場 ・ 最終処分場)
4) 建設汚泥(t)は 市 町地先、片道運搬距離 kmの に運搬し、処理するものとする。(※ 中間処理場 ・ 最終処分場)
5) (t)は 市 町地先、片道運搬距離 kmの に運搬し、処理するものとする。(※ 中間処理場 ・ 最終処分場)
6) (t)は 市 町地先、片道運搬距離 kmの に運搬し、処理するものとする。(※ 中間処理場 ・ 最終処分場)
7) (t)は 市 町地先、片道運搬距離 kmの に運搬し、処理するものとする。(※ 中間処理場 ・ 最終処分場)
なお、運搬に先立ち受け入れ条件等を確認し、監督職員に報告するものとする。
工事発注後、事情により上記の指定処理により難しい場合は、監督職員と協議するものとする。

留意事項
1. 利用先の確保
建設発生土情報交換システムを活用して、建設発生土と同様、積極的に工事間流用により利用先の確保に努める。
2. 中間処理施設の選定
中間処理施設の選定に当たっては、利用先の品質要件にあう発生処理土を確保するため、他の残土と混ざらないよういかに再生処理できるかが大きな要素となる。このため、経済性を含めて総合的に判断する必要がある。
また、リサイクル原則化ルールに基づき、建設副産物情報交換システム(COBRIS)の登録処理業者を活用して、50km範囲で検索する。
3. 品質・安全性の確保
処理土の品質・安全性を確認するため、土質試験、土壌分析試験などを行う。
4. 一時保管
利用先との工程調整のため一時保管する場合には、廃棄物処理法等の手続きが必要となるので注意する。

章 項 目 特 記 事 項

● 建設発生土の処理
○ 埋め戻し後の建設発生土は、監督職員が指示する構内の場所に敷きならしとする。
● 環境への配慮
1. 千葉県で定める「環境配慮物品調達方針」に基づき環境に配慮した物品を優先的に使用する。
2. 「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」の特定調達品目判断基準は「環境物品等の調達の推進に関する基本方針」(令和3年2月)による。
3. 環境物品等の調達の推進に関する基本方針における公共工事の配慮事項(「資材(材料及び機材を含む)の梱包及び容器は、可能な限り簡易であって、再生利用の容易さ及び廃棄時の負荷低減に配慮されていること。」)に留意すること。
建設機械は、排出ガス対策型、低騒音型の建設機械を使用すること。

● 環境対策
○ 施工完了時に室内空気中の揮発性有機化合物の濃度を測定し、報告すること。
○ ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン
○ パラジクロロベンゼン(用途が学校の場合、上記項目に追加する。)
測定はパッシブ型採集機器により行う。
着工前の測定 ○ 行わない ○ 行う
測定対象室 ○ 図示 ○ ()
測定箇所 ○ 図示 ○ ()
測定値が厚生労働省指針値を超えた場合は、換気後再測定し報告書提出すること。

● 保 険
本工事については、工事目的物及び工事材料を次に示す内容で火災保険、組立保険その他の保険に附すること。
1) 被保険者 発注者、受注者及びその全下請負人
2) 保険金額 請負代金全額
3) 保険期間 工事着手のときから工事引渡しまでの期間
なお、保険契約を締結したときは、その証券又はこれに代わるものを直ちに監督職員に提示すること。

● 工事実績情報の登録
本工事の最終請負代金(消費税込)が500万円以上となる場合には、工事実績情報システム(CORINS)に基づき、工事実績データを作成する。
また、作成した内容について監督職員の確認を受けた後、以下に示す期間内に(一財)日本建設情報総合センターに所定の形式の手続により登録するとともに、登録内容確認書の写しを提出する。
1) 工事受注時 契約締結後10日以内
2) 登録内容の変更時 契約事項の確定日から10日以内
3) 工事完成時 工事完成後10日以内

● 工事現場管理
受注者は、工事の施工にあたっては、次の事項を遵守すること。
1) 不法・違反無届局(不法パーソナル無線)を設置したトラック、ダンプカー等を工事現場に立ち入らせないこと。

● 過積載による違法運行の防止
受注者は、工事の施工にあたっては、次の事項を遵守すること。
1) 積載重量制限を超過して土砂を積み込まず、また積み込まないこと。
2) さし枠装着車、不表示車等に土砂を積み込まず、また積み込まないこと。
3) 過積載車両、さし枠装着車、不表示車等から土砂等の引き渡しを受けるなど、過積載を助長することのないよう行うこと。
4) 取引関係のあるダンプカー事業者が過積載を行い、又はさし枠装着車、不表示車等を土砂運搬に使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。
5) 建設発生土の処理及び骨材等の購入にあたって、下請事業者及び骨材等輸入者の利益を不当に害することのないよう行うこと。
6) 以上のことにつき、下請業者にも十分指導すること。

● 創意工夫等の実施
受注者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫に関する項目、又は地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完了時までに所定の書式により提出することができる。

● 安全対策
受注者相互の緊密な連絡調整を図り、協力して工事を安全円滑に実施することを目的とする「工事関係者連絡会議」を設置すること。
発注者で組織する安全対策委員会が行う安全審査、施工条件検討、安全点検等に協力すること。

● 他工事との取合い
別表IIによる。

● 中間検査
● 中間検査を実施する。(回数 回、実施時期 仮設足場解体前 工事完了時)
中間検査の範囲 ()

○ 中間検査の対象工事
本工事が、低入札価格調査制度調査対象工事(以下「調査対象工事」という。)に該当した場合は、千葉県建設工事検査要綱(検査の区分を規定)及び中間検査実施細則(中間検査実施区分を規定)の定めに関わらず中間検査の指定対象工事として、中間検査を実施する。
1) 調査対象工事の中間検査の実施は、「中間検査実施細則」に関わらず原則として2ヶ月に1回、隔月ごと、及び主要工程を考慮し施工上の変化点等で行うが、実施時期は監督職員が指定する。なお、検査日及び検査監氏名は別途通知する。
2) 中間検査は、通知日までに完了した出来形部分の出来形確認及び技術の確認等を行うが、給付の対象としない。

● 条件明示項目
● アスベストについて、事前調査報告書有り。
● アスベスト含有建材の除去について、「建築物の解体等に係る石綿くさび防止及び石綿飛散防止対策徹底マニュアル」に基づき、適切に作業を行う。
● 大気汚染防止法により、解体作業に係る材料に關し、アスベスト含有の有無について事前調査、調査結果の提示及び発注者への報告等が、一定規模以上の工事については事前調査結果報告システムへの報告が、事前調査の結果に基づき含有建材の除去を行う場合は作業結果の発注者への報告等義務付けられている。発注者が事前に実施した石綿分析調査結果については、受注者に対して開示するものとする。

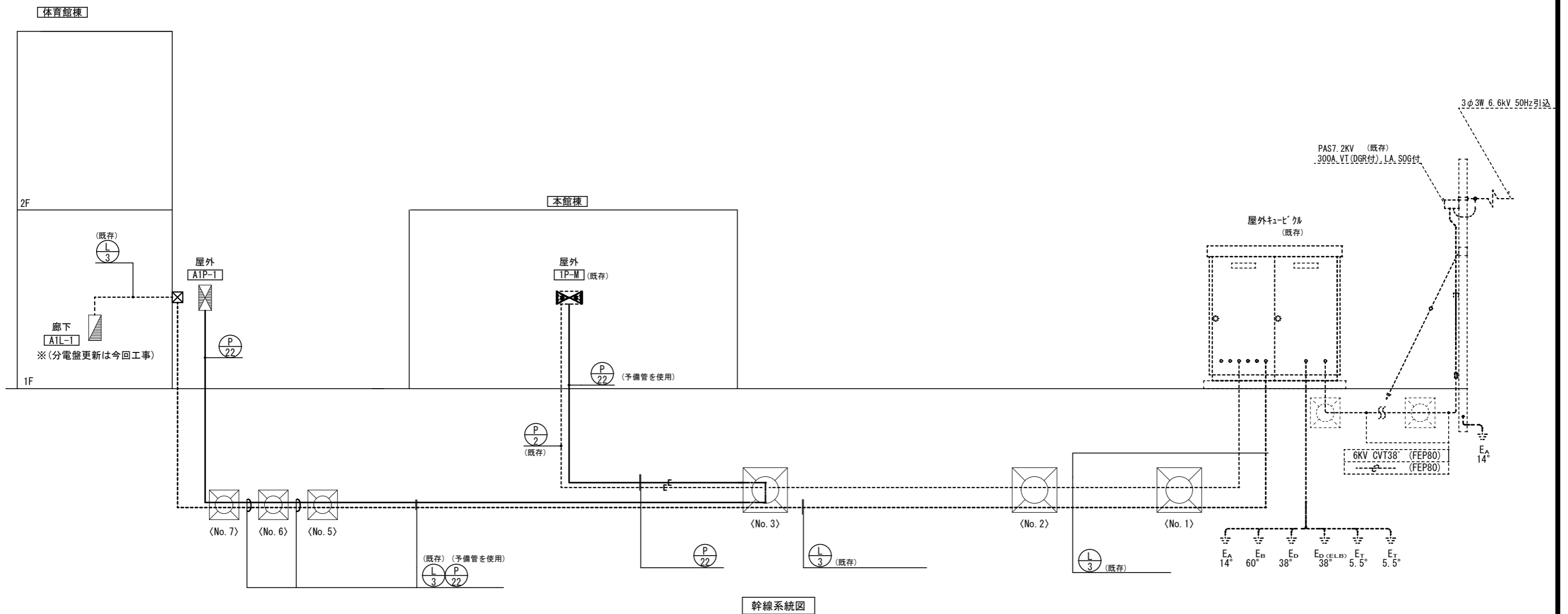
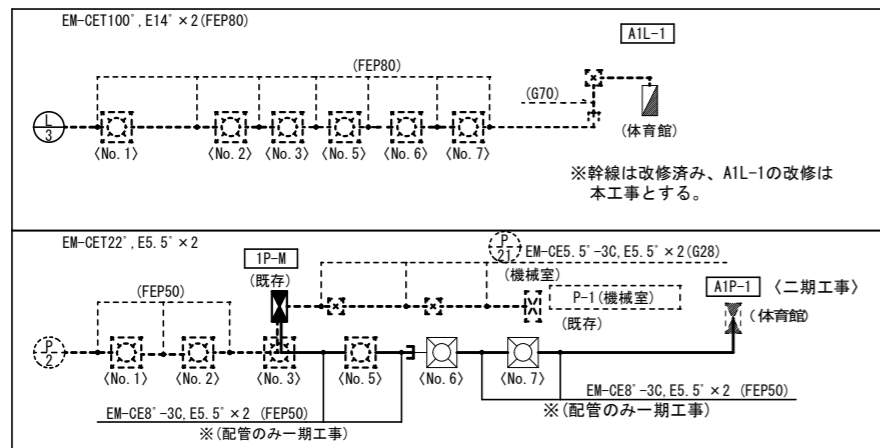
● 体育館棟内の宿泊は令和8年6月30日まで行い、令和8年6月30日以降契約工期までの期間は体育館棟内への宿泊は不可とするものとする。ただし、宿泊可能期間であっても仮囲い等の仮設工事は協議の上施工可能とする。
工事期間中であっても、本館棟での宿泊は引き続き行う。従って、宿泊者及び管理諸室を使用する職員が安全に利用できるよう、工事区画等に配慮するものとする。

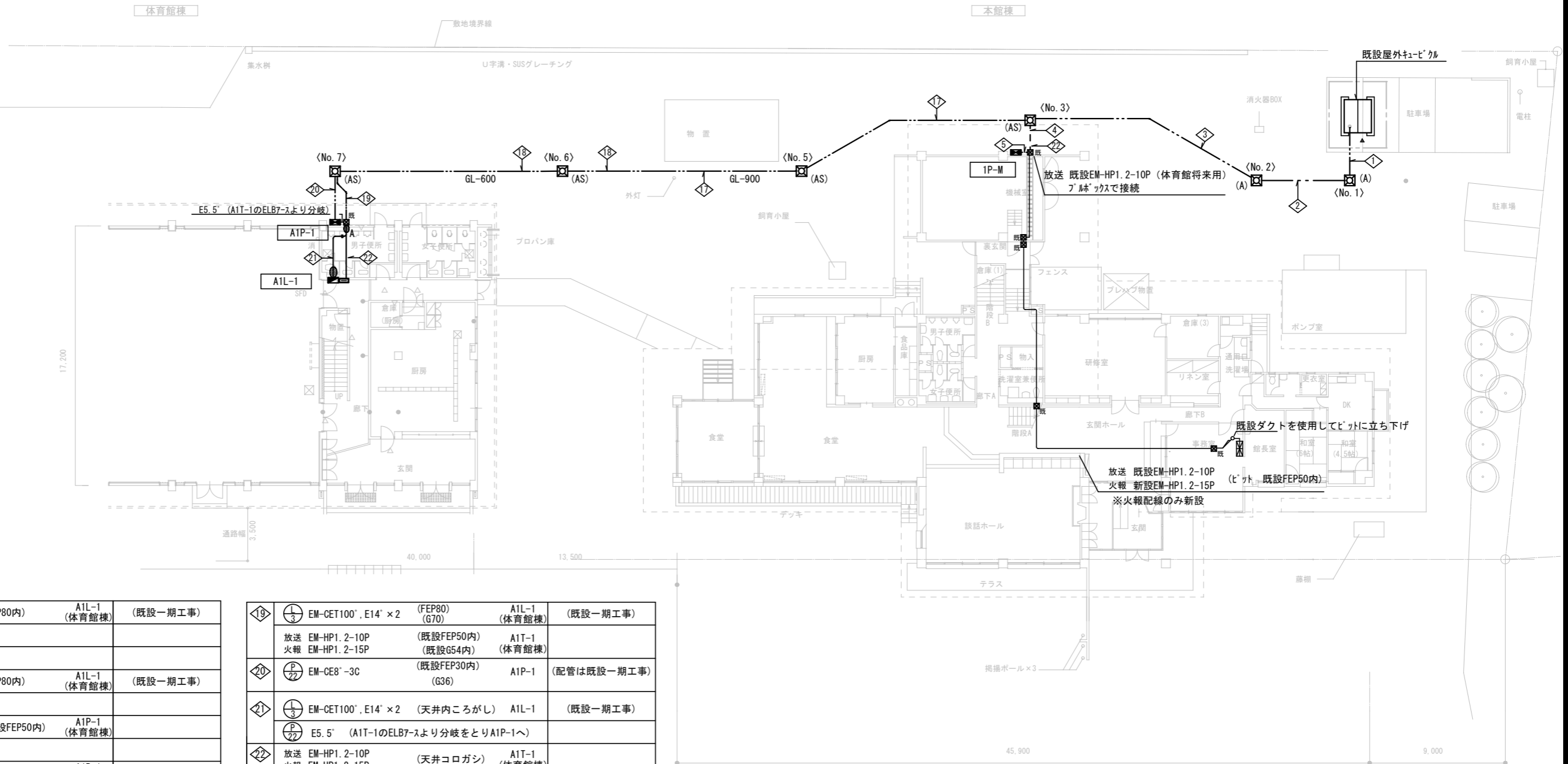
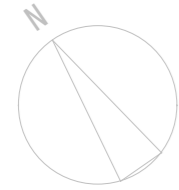
● 本館棟での工事については監督員及び職員と日程について事前に協議し、宿泊者や職員への影響が極力少なくなるよう日時の調整をすること。

● 敷地内及び法令で定められている箇所に禁煙とする。

● 停電を伴う工事については職員・監督員と事前に協議をして施設への影響が極力少なくなるよう日時の調整を協力すること。

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																																																					
● 一般事項	● デジタル工事写真の小黑板情報電子化	デジタル工事写真の小黑板情報電子化は、発注者双方の業務効率化を目的に、被写体画像の撮影と同時に工事写真における小黑板の記載情報の電子的記入および、工事写真の信憑性確認を行うことにより、現場撮影の省力化、写真整理の効率化、工事写真の改ざん防止を図るものである。 本工事でデジタル工事写真の小黑板情報電子化を行う場合は、工事契約後、監督職員の承諾を得たうえでデジタル工事写真の小黑板情報電子化対象工事(以降、「対象工事」と称する)とすることができる。対象工事では、以下の1)から4)の全てを実施することとする。 1)対象機器の導入 受注者は、デジタル工事写真の小黑板情報電子化の導入に必要な機器・ソフトウェア等(以降「使用機器」と称する)については、営繕工事写真撮影要領2.(3)に示す項目の電子的記入ができること、かつ信憑性確認(改ざん検知機能)を有するものを使用することとする。なお、信憑性確認(改ざん検知機能)は、「電子政府における調達のために参照すべき暗号のリスト(DRYPTREC 暗号リスト)」 URL [https://www.cryptrec.go.jp/list.html] に記載している技術を使用していること。また、受注者は監督職員に対し、工事着手前に本工事での使用機器について提示するものとする。 なお、使用機器の事例として、 URL [http://www.cals.jaic.or.jp/CIM/sharing/index.html] 記載の「デジタル工事写真の小黑板情報電子化対応ソフトウェア」を参照されたい。ただし、この使用機器の事例からの選定に限定するものではない。 2)デジタル工事写真における小黑板情報の電子的記入 受注者は、1)の使用機器を用いてデジタル工事写真を撮影する場合は、被写体と小黑板情報を電子画像として同時に記録してもよい。小黑板情報の電子的記入を行う項目は、営繕工事撮影要領2.(3)撮影方法)による。 ただし、対象工事において、高温多湿、粉じん等の現場条件の影響により、対象機器の使用が困難な工程については、使用機器の利用を限定するものではない。 3)小黑板情報の電子的記入の取扱 本工事の工事写真の取扱いは、営繕工事写真撮影要領に準ずるが、2)に示す小黑板情報の電子的記入については、同要領4. で規定されている写真編集には該当しない。 4)小黑板情報の電子的記入を行った写真の納品 受注者は、2)に示す小黑板情報の電子的記入を行った写真(以下、「小黑板情報電子化写真」と称する。)を、工事完成時に監督職員へ納品するものとする。 なお納品時に、受注者は URL [http://www.cals.jaic.or.jp/CIM/sharing/index.html] のチェックシステム(信憑性チェックツール)又はチェックシステム(信憑性チェックツール)を搭載した写真管理ソフトウェアや工事写真ビューソフトウェアを用いて、小黑板情報電子化写真の信憑性確認を行い、その結果を併せて監督職員へ「工事打合せ簿」等により提出するものとする。なお、提出された信憑性確認の結果を、監督職員が確認することができる。	○ 金属製露出管路(亜鉛メッキ)の塗装 ● 原鋼電線管及び同附風品 ○ フロアプレーバフロアコーティング ● フラッシュプレート ○ 呼び線 ○ 保温・結露防止 ● 合成樹脂製可とう電線管 ● 屋外プルボックス ● はつり ● 既存躯体への穿孔 ● 再使用機器 ● 耐震措置	○ すべて下地処理の後、塗装(調合ペイント2回塗り)を行う。 ○ 配線室以外の管路は、すべて下地処理の後、塗装(調合ペイント2回塗り)を行う。 ○ 電線管外面の仕上げは、● 溶融亜鉛メッキ ○ 製造者標準とする。 電線管内面の仕上げは、● 溶融亜鉛メッキ ○ 製造者標準とする。 電線管付属品は、○ 上記と同等の防食性能を有する防水形 ● 標準品とする。 特記あるもの及び特殊なものを除き ○ 砲金製 ○ アルミ合金製 ○ ステンレス製 " ○ 水平高低調整式(空転防止リング付) " ○ 樹脂製 ○ アルミ合金製 0A用インナーコンセント 特記あるもの及び特殊なものを除き ● 樹脂製 ○ アルミ合金製 ○ ステンレス製 長さ1m以上の入線しない管路には、1.2mm以上のビニール被覆鉄線を挿入する。 建築工事にてFP板(スタイロホーム等)打ち込みの箇所に取り付ける位置ボックス等は、保温、結露防止処理を行う。 合成樹脂製可とう電線管(PF)は、一重管とする。 ● 溶融亜鉛メッキ製 ○ ステンレス製 防水形とする。 既存のコンクリート床、壁などの配管貫通部の穴開けは、原則としてダイヤモンドカットによる。 穿孔機械を使用し既存躯体に穿孔する場合は、金属の探知により電源供給が停止できる付属装置等を用いて施工する。 取り外し再使用機器は、清掃および絶縁抵抗測定のうち取り付けを行う。ただし、絶縁劣化等により再使用に耐えない場合は、監督職員に報告する。 設備機器の固定は、次に示す事項を除き「建築設備耐震設計・施工指針 2014年版」(独立行政法人建築研究所監修)による。 1)設計用水平地震力 機器の重量(kN)に、設計用標準水平地震を乗じたものとする。なお、特記なき場合、設計用標準水平地震は、次による。 設計用標準水平地震	● 電気方式 ○ 電灯設備 ● ハイテンションアウトレット ○ 外部固定式 ○ 内部固定式 ○ 回転形又は上下動形 ○ アップ形 ● 非常照明器具 ● 配線器具 ● 非常用の照明装置 照度測定箇所数	● 電気方式 ○ 機器への接続 ● 電気方式 ● 高圧 ● 低圧 ● 三相3線式 200V ● 三相3線式 200V ● 三相3線式 200V/100V ○ 相線式 V ○ 相線式 V ○ 単相線式 V ○ 単相線式 V	● 電線方式 ● 地中線路の余長 ● 地中管の材質 ● 装柱機材 ○ 外灯接地 ● 区分閉閉器等 ● その他	● 配線方式 ○ 地中線路の余長 ● 地中管の材質 ● その他	● 接地極	● 別表1(しき)	● 機器取付高	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>測点</th> <th>取付高(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>壁掛形制御盤 開閉器箱</td> <td>床上~中心</td> <td>1,500 1,500 (上端1,900以下)</td> </tr> <tr> <td>制御用スイッチ</td> <td>"</td> <td>1,300</td> </tr> <tr> <td>端子盤(室内) 集合保安器箱 壁付電話機(一般)</td> <td>床上~下端 天井下~下端 床上~中心</td> <td>300 200 1,300</td> </tr> <tr> <td>壁掛形観時計 子時計</td> <td>床上~中心</td> <td>1,500 (天井高)×0.9</td> </tr> <tr> <td>壁掛形スピーカー 壁付アツテネーター</td> <td>"</td> <td>(天井高)×0.9 1,300</td> </tr> <tr> <td>情報表示盤 壁付発信器 ベル、プザー、チャイム 壁付押ボタン(一般)</td> <td>床上~中心 床上~中心 "</td> <td>(天井高)×0.9 1,300 2,300 1,300</td> </tr> <tr> <td>外部受付用(付外)子機 壁付インターホン(上記以外) 壁付呼出ボタン(多機能トイレ)</td> <td>「標準図」による 床上~中心 "</td> <td>「標準図」による 1,300 900(400)</td> </tr> <tr> <td>機器収容箱 テレビ端子ユニット(一般) テレビ端子ユニット(船室)</td> <td>天井下~下端 床上~中心 "</td> <td>200 300 150</td> </tr> <tr> <td>受信機・副受信機 機器収容箱 発信器 警報ベル 表示灯 液化石油ガス検知器</td> <td>床上~操作部 床上~中心 " " 床上~下端</td> <td>800~1,500 800~1,500 800~1,500 (天井高)×0.9 (天井高)×0.8 300</td> </tr> </tbody> </table>	名称	測点	取付高(mm)	壁掛形制御盤 開閉器箱	床上~中心	1,500 1,500 (上端1,900以下)	制御用スイッチ	"	1,300	端子盤(室内) 集合保安器箱 壁付電話機(一般)	床上~下端 天井下~下端 床上~中心	300 200 1,300	壁掛形観時計 子時計	床上~中心	1,500 (天井高)×0.9	壁掛形スピーカー 壁付アツテネーター	"	(天井高)×0.9 1,300	情報表示盤 壁付発信器 ベル、プザー、チャイム 壁付押ボタン(一般)	床上~中心 床上~中心 "	(天井高)×0.9 1,300 2,300 1,300	外部受付用(付外)子機 壁付インターホン(上記以外) 壁付呼出ボタン(多機能トイレ)	「標準図」による 床上~中心 "	「標準図」による 1,300 900(400)	機器収容箱 テレビ端子ユニット(一般) テレビ端子ユニット(船室)	天井下~下端 床上~中心 "	200 300 150	受信機・副受信機 機器収容箱 発信器 警報ベル 表示灯 液化石油ガス検知器	床上~操作部 床上~中心 " " 床上~下端	800~1,500 800~1,500 800~1,500 (天井高)×0.9 (天井高)×0.8 300																						
	名称	測点	取付高(mm)																																																													
壁掛形制御盤 開閉器箱	床上~中心	1,500 1,500 (上端1,900以下)																																																														
制御用スイッチ	"	1,300																																																														
端子盤(室内) 集合保安器箱 壁付電話機(一般)	床上~下端 天井下~下端 床上~中心	300 200 1,300																																																														
壁掛形観時計 子時計	床上~中心	1,500 (天井高)×0.9																																																														
壁掛形スピーカー 壁付アツテネーター	"	(天井高)×0.9 1,300																																																														
情報表示盤 壁付発信器 ベル、プザー、チャイム 壁付押ボタン(一般)	床上~中心 床上~中心 "	(天井高)×0.9 1,300 2,300 1,300																																																														
外部受付用(付外)子機 壁付インターホン(上記以外) 壁付呼出ボタン(多機能トイレ)	「標準図」による 床上~中心 "	「標準図」による 1,300 900(400)																																																														
機器収容箱 テレビ端子ユニット(一般) テレビ端子ユニット(船室)	天井下~下端 床上~中心 "	200 300 150																																																														
受信機・副受信機 機器収容箱 発信器 警報ベル 表示灯 液化石油ガス検知器	床上~操作部 床上~中心 " " 床上~下端	800~1,500 800~1,500 800~1,500 (天井高)×0.9 (天井高)×0.8 300																																																														
● 共通事項	● 検査協力 ● 施工体制 ● 社会保険等 ● 外国人就労者 ● 喫煙 ● 中震以上の地震への対応 ● その他の災害への対応 ● 施工管理 ● 現況復旧 ● 関係法令等の遵守 ● あと施工アンカー ● 補償	※ 工事期間中又は工事竣工後以降にかかわらず、当該工事に関連して習志野市における工事監査や会計検査院による実地検査の対象となった場合は、受検時の立会い並びに質疑の回答について協力するものとする。 ※ 下請契約の金額を問わず施工体制台帳の作成・提出をすること。 ※ 下請業者を含め社会保険等に加入すること。 ※ 外国人就労者を使用する場合は、関係法令を遵守すること。 校内(校舎及び敷地内)は禁煙とする。 1. 工事中に地震があった場合の安全確保と対応等について、現場員への周知、確認を徹底すること。 2. 工事中に地震があった場合の地震後における作業の再開及び工程管理については、地震発生後、速やかに監督職員に連絡を待たない状況が発生した場合や、別途明確な基準がある場合等はこの限りではない。 なお、引き続き作業を進めることとした場合は、現場の安全点検を確実に実行した後に続行すること。 ※ 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「建築工事安全施工技術指針・解説(平成27年版)」に基づき、当該現場で発生し得る各種災害への対応を総合施工計画書に記載し、現場にも周知すること。 ※ 工事は設計図書に従い施工する他、設計図に明示のされていないもので工事の性質上当然必要なものは、監督職員の指示により行う。なお、請負者は施工前及び施工中において設計図書を照査するものとする。 ※ 作業前後で道路状況を含め周囲の写真を撮ること。 また、道路及び工事車両の搬入口等破損した場合、請負者負担で現況復旧を行うこと。 ※ 請負者は工事に伴う道路占用許可、交通規制の一時解除の協議、環境(騒音・振動・ほり等)対策、工事中の消防計画の届け出等関係法令に照らし、必要な手続きを行い、随時所定の様式により提出すること。 ※ あと施工アンカーは原則使用しない。使用を行う場合は監督員と協議し、下記事項を遵守する。 ・施工に先立ち計画書を提出する。 ・施行時には削孔するドリルの径、深さ、使用するアンカーの規格がわかる写真の他各工程の写真を撮ること。 ・アンカー打設後に必ず、非破壊の引き抜き試験を行う。(同一施工条件で3本以上) ※ 本工事において建物その他の工作物に損害等が生じた場合には、習志野市公共工事損失補償容量に基づき対応するものとする。	○ 電気方式 ○ 主遮断機 ○ 設備容量 ○ 進相コンデンサ ○ 配電盤 ○ 絶縁ゴムマット ○ その他	○ 工事前の絶縁抵抗測定 ● 施工調査 事前調査 ● 本工事 ○ 別途 調査項目 ○ 既存資料調査 ○ 調査範囲 ○ 図示 ○ 調査方法 ○ 図示 ○ ○ はつり工事は、事前に走査式埋設物調査を行い、監督職員に報告を行う。 改修する回路の絶縁抵抗は、比較のため工事の前で測定すること。 事前調査 ● 本工事 ○ 別途 調査項目 ○ 既存資料調査 ○ 調査範囲 ○ 図示 ○ 調査方法 ○ 図示 ○ ○ はつり工事は、事前に走査式埋設物調査を行い、監督職員に報告を行う。 高圧 ○ 三相3線式 6kV 低圧 ○ 三相3線式 200V ○ 三相線式 V ○ 単相3線式 200V/100V ○ 単相線式 V ○ 08形(5サイクル以内) ○ PF-S形 変圧器総容量 130 kVA (うち本工事に係るもの kVA) ○ 高圧 kVar ○ 低圧 自動力率制御(○ あり ○ なし) W1000×10t×L 1)変圧器は ○ 油入形 ○ モールド形 変圧器とする。 2)変圧器の引込開閉器(LBS)はストライク式とする。 3)変圧器のB種接地線には、漏電警報器(ELR)を設置する。 4)DS・LBS等の充電部が露出する機器には、十分な強度を有する透明アクリル板保護扉を設ける。	○ 上ガス対策 ○ その他 ● 接地極	● 別表1	● 機器取付高	<table border="1"> <thead> <tr> <th>接地の種類</th> <th>記号</th> <th>接地抵抗値</th> <th>接地極の規格・数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○ 共同接地</td> <td>E_{A,B}</td> <td>10Ω以下</td> <td>EB(D=14, L=1,500又はW=40, L=1,200)×3連一組</td> </tr> <tr> <td>○ 共同接地</td> <td>E_{A,C,D}</td> <td>10Ω以下</td> <td>EB(D=14, L=1,500又はW=40, L=1,200)×3連一組</td> </tr> <tr> <td>○ A種接地</td> <td>E_A</td> <td>10Ω以下</td> <td>EB(D=14, L=1,500又はW=40, L=1,200)×3連一組</td> </tr> <tr> <td>○ B種接地</td> <td>E_B</td> <td>150/10Ω以下※</td> <td>EB(D=14, L=1,500又はW=40, L=1,200)×3連一組</td> </tr> <tr> <td>○ C種接地</td> <td>E_C</td> <td>10Ω以下</td> <td>EB(D=14, L=1,500又はW=40, L=1,200)×3連一組</td> </tr> <tr> <td>● D種接地</td> <td>E_D</td> <td>100Ω以下</td> <td>EB(D=14, L=1,000又はW=30, L=900)×1</td> </tr> <tr> <td>○ D種接地</td> <td>E_D</td> <td>Ω以下</td> <td>EB(D=14, L=1,500又はW=40, L=1,200)×3連一組</td> </tr> <tr> <td>○ 高圧避雷器用</td> <td>E_{LH}</td> <td>10Ω以下</td> <td>EB(D=14, L=1,500又はW=40, L=1,200)×3連一組</td> </tr> <tr> <td>○ 交換装置用</td> <td>E_L</td> <td>10Ω以下</td> <td>EB(D=14, L=1,500又はW=40, L=1,200)×3連一組</td> </tr> <tr> <td>○ 通信用(110V)</td> <td>E_M</td> <td>10Ω以下</td> <td>EB(D=14, L=1,500又はW=40, L=1,200)×3連一組</td> </tr> <tr> <td>○ 通信用(100V)</td> <td>E_{DR}</td> <td>100Ω以下</td> <td>EB(D=10, L=1,000又はW=30, L=900)×1</td> </tr> <tr> <td>○ 電話引込口の保安器用</td> <td>E_{EL}</td> <td>400Ω以下</td> <td>EB(D=10, L=1,000又はW=30, L=900)×1</td> </tr> <tr> <td>● 測定用</td> <td>E_D</td> <td></td> <td>EB(D=10, L=1,000又はW=30, L=900)×1</td> </tr> </tbody> </table>	接地の種類	記号	接地抵抗値	接地極の規格・数量	○ 共同接地	E _{A,B}	10Ω以下	EB(D=14, L=1,500又はW=40, L=1,200)×3連一組	○ 共同接地	E _{A,C,D}	10Ω以下	EB(D=14, L=1,500又はW=40, L=1,200)×3連一組	○ A種接地	E _A	10Ω以下	EB(D=14, L=1,500又はW=40, L=1,200)×3連一組	○ B種接地	E _B	150/10Ω以下※	EB(D=14, L=1,500又はW=40, L=1,200)×3連一組	○ C種接地	E _C	10Ω以下	EB(D=14, L=1,500又はW=40, L=1,200)×3連一組	● D種接地	E _D	100Ω以下	EB(D=14, L=1,000又はW=30, L=900)×1	○ D種接地	E _D	Ω以下	EB(D=14, L=1,500又はW=40, L=1,200)×3連一組	○ 高圧避雷器用	E _{LH}	10Ω以下	EB(D=14, L=1,500又はW=40, L=1,200)×3連一組	○ 交換装置用	E _L	10Ω以下	EB(D=14, L=1,500又はW=40, L=1,200)×3連一組	○ 通信用(110V)	E _M	10Ω以下	EB(D=14, L=1,500又はW=40, L=1,200)×3連一組	○ 通信用(100V)	E _{DR}	100Ω以下	EB(D=10, L=1,000又はW=30, L=900)×1	○ 電話引込口の保安器用	E _{EL}	400Ω以下	EB(D=10, L=1,000又はW=30, L=900)×1	● 測定用	E _D		EB(D=10, L=1,000又はW=30, L=900)×1
接地の種類	記号	接地抵抗値	接地極の規格・数量																																																													
○ 共同接地	E _{A,B}	10Ω以下	EB(D=14, L=1,500又はW=40, L=1,200)×3連一組																																																													
○ 共同接地	E _{A,C,D}	10Ω以下	EB(D=14, L=1,500又はW=40, L=1,200)×3連一組																																																													
○ A種接地	E _A	10Ω以下	EB(D=14, L=1,500又はW=40, L=1,200)×3連一組																																																													
○ B種接地	E _B	150/10Ω以下※	EB(D=14, L=1,500又はW=40, L=1,200)×3連一組																																																													
○ C種接地	E _C	10Ω以下	EB(D=14, L=1,500又はW=40, L=1,200)×3連一組																																																													
● D種接地	E _D	100Ω以下	EB(D=14, L=1,000又はW=30, L=900)×1																																																													
○ D種接地	E _D	Ω以下	EB(D=14, L=1,500又はW=40, L=1,200)×3連一組																																																													
○ 高圧避雷器用	E _{LH}	10Ω以下	EB(D=14, L=1,500又はW=40, L=1,200)×3連一組																																																													
○ 交換装置用	E _L	10Ω以下	EB(D=14, L=1,500又はW=40, L=1,200)×3連一組																																																													
○ 通信用(110V)	E _M	10Ω以下	EB(D=14, L=1,500又はW=40, L=1,200)×3連一組																																																													
○ 通信用(100V)	E _{DR}	100Ω以下	EB(D=10, L=1,000又はW=30, L=900)×1																																																													
○ 電話引込口の保安器用	E _{EL}	400Ω以下	EB(D=10, L=1,000又はW=30, L=900)×1																																																													
● 測定用	E _D		EB(D=10, L=1,000又はW=30, L=900)×1																																																													
			○ 電気方式	● 電灯設備	● 電気方式	● 機器取付高	● 別表1(しき)	● 機器取付高	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>測点</th> <th>取付高(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計算計器</td> <td>地上~窓中心</td> <td>1,800~2,000</td> </tr> <tr> <td>引込開閉器(低圧) 分電盤</td> <td>地上~中心 床上~中心</td> <td>1,800~2,200 1,500</td> </tr> <tr> <td>スイッチ " (多機能トイレ) コンセント(一般) " (和室) " (台上) " (車椅子用) ブラケット(一般) " (踊場) " (鏡上)</td> <td>床上~中心 " " " 台上~中心 床上~中心 " " 鏡上端~中心</td> <td>1,300 1,100 300 150 150~200 900 2,100~2,300 2,000~2,500 150</td> </tr> </tbody> </table>	名称	測点	取付高(mm)	計算計器	地上~窓中心	1,800~2,000	引込開閉器(低圧) 分電盤	地上~中心 床上~中心	1,800~2,200 1,500	スイッチ " (多機能トイレ) コンセント(一般) " (和室) " (台上) " (車椅子用) ブラケット(一般) " (踊場) " (鏡上)	床上~中心 " " " 台上~中心 床上~中心 " " 鏡上端~中心	1,300 1,100 300 150 150~200 900 2,100~2,300 2,000~2,500 150																																											
名称	測点	取付高(mm)																																																														
計算計器	地上~窓中心	1,800~2,000																																																														
引込開閉器(低圧) 分電盤	地上~中心 床上~中心	1,800~2,200 1,500																																																														
スイッチ " (多機能トイレ) コンセント(一般) " (和室) " (台上) " (車椅子用) ブラケット(一般) " (踊場) " (鏡上)	床上~中心 " " " 台上~中心 床上~中心 " " 鏡上端~中心	1,300 1,100 300 150 150~200 900 2,100~2,300 2,000~2,500 150																																																														
			○ 電気方式	● 電灯設備	● 電気方式	● 機器取付高	● 別表1(しき)	● 機器取付高	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>測点</th> <th>取付高(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>機器付属の制御盤(接地共)</td> <td>一次側 二次側</td> <td>○ ● ○ ○ ● ●</td> </tr> <tr> <td>制御盤と動力盤の間(接地共)</td> <td>電源供給 操作 配管 回路 配線()</td> <td>○ ● ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○</td> </tr> <tr> <td>天井吊り型FCU及び全熱交換機換気(接地共)</td> <td>電源供給 操作 配管 回路 配線()</td> <td>○ ● ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○</td> </tr> <tr> <td>煙感知器から連動制御盤を経て防火ダンパーに至る配管配線</td> <td></td> <td>○ ● ○</td> </tr> <tr> <td>防油堤</td> <td></td> <td>○ ○ ○</td> </tr> <tr> <td>インサート、吊りボルト</td> <td></td> <td>○ ● ●</td> </tr> <tr> <td>換気扇枠</td> <td></td> <td>○ ○ ○</td> </tr> <tr> <td>外部取り付けギャラリ</td> <td></td> <td>○ ○ ○</td> </tr> <tr> <td>(ダクト、チャンパー接続フランジを含む)</td> <td></td> <td>○ ○ ○</td> </tr> </tbody> </table>	名称	測点	取付高(mm)	機器付属の制御盤(接地共)	一次側 二次側	○ ● ○ ○ ● ●	制御盤と動力盤の間(接地共)	電源供給 操作 配管 回路 配線()	○ ● ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	天井吊り型FCU及び全熱交換機換気(接地共)	電源供給 操作 配管 回路 配線()	○ ● ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	煙感知器から連動制御盤を経て防火ダンパーに至る配管配線		○ ● ○	防油堤		○ ○ ○	インサート、吊りボルト		○ ● ●	換気扇枠		○ ○ ○	外部取り付けギャラリ		○ ○ ○	(ダクト、チャンパー接続フランジを含む)		○ ○ ○																									
名称	測点	取付高(mm)																																																														
機器付属の制御盤(接地共)	一次側 二次側	○ ● ○ ○ ● ●																																																														
制御盤と動力盤の間(接地共)	電源供給 操作 配管 回路 配線()	○ ● ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○																																																														
天井吊り型FCU及び全熱交換機換気(接地共)	電源供給 操作 配管 回路 配線()	○ ● ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○																																																														
煙感知器から連動制御盤を経て防火ダンパーに至る配管配線		○ ● ○																																																														
防油堤		○ ○ ○																																																														
インサート、吊りボルト		○ ● ●																																																														
換気扇枠		○ ○ ○																																																														
外部取り付けギャラリ		○ ○ ○																																																														
(ダクト、チャンパー接続フランジを含む)		○ ○ ○																																																														





幹線リスト

①	EM-CET100°	(FEP80内)	A1L-1 (体育館棟)	(既設一期工事)
②				
③	EM-CET100°	(FEP80内)	A1L-1 (体育館棟)	(既設一期工事)
④	EM-CE8°-3C	(既設FEP50内)	A1P-1 (体育館棟)	
⑤	EM-CE8°-3C	(既設G36内)	A1P-1 (体育館棟)	
⑬	EM-CE8°-3C	(既設FEP50内)	A1P-1 (体育館棟)	
	EM-CET100°, E14° × 2	(既設FEP80内)	A1L-1 (体育館棟)	(既設一期工事)
		(既設FEP50)	予備	
⑭	放送 EM-HP1.2-10P 火報 EM-HP1.2-15P	(既設FEP50内)	A1T-1 (体育館棟)	
	EM-CE8°-3C	(既設FEP50内)	A1P-1 (体育館棟)	
	EM-CET100°, E14° × 2	(FEP80)	A1L-1 (体育館棟)	(既設一期工事)
		(既設FEP50)	予備	
	放送 EM-HP1.2-10P 火報 EM-HP1.2-15P	(既設FEP50内)	A1T-1 (体育館棟)	

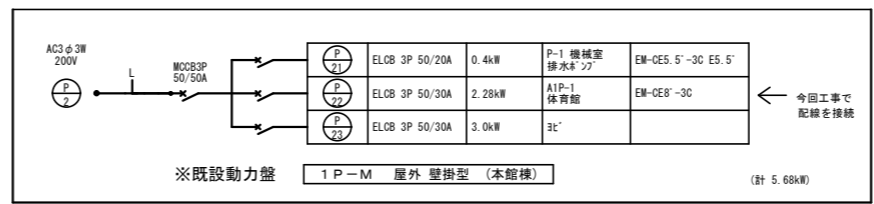
⑱	EM-CET100°, E14° × 2	(FEP80) (G70)	A1L-1 (体育館棟)	(既設一期工事)
	放送 EM-HP1.2-10P 火報 EM-HP1.2-15P	(既設FEP50内) (既設G54内)	A1T-1 (体育館棟)	
⑳	EM-CE8°-3C	(既設FEP30内) (G36)	A1P-1	(配管は既設一期工事)
㉑	EM-CET100°, E14° × 2	(天井内ころがし)	A1L-1	(既設一期工事)
	E5.5° (A1T-1のELB7-スより分岐をとりA1P-1へ)			
㉒	放送 EM-HP1.2-10P 火報 EM-HP1.2-15P	(天井コログシ)	A1T-1 (体育館棟)	

凡例

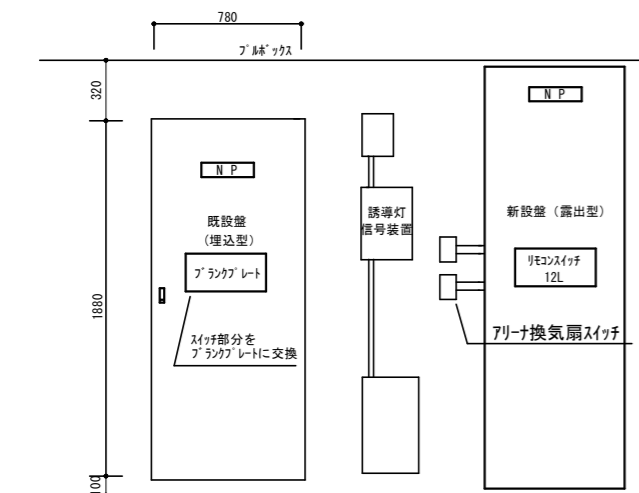
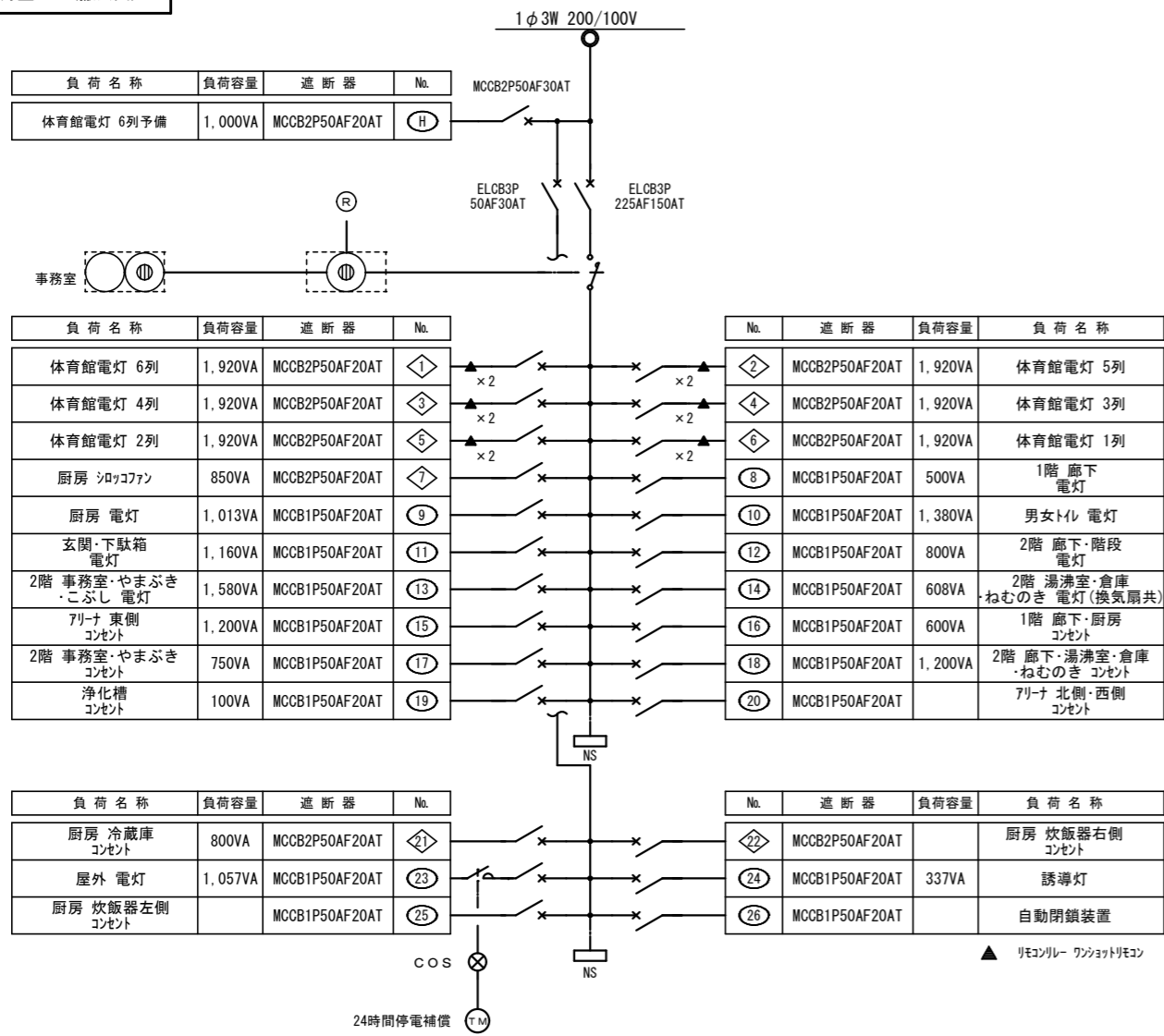
記号	名称	備考
⏏	動力制御盤	
⏏	電灯分電盤	
⏏	ハンドホール	全て既設
⏏	プルボックス	既設
●	折り補修	防火区画処理

注記

- ハンドホールの仕様は下記の通りとする。(全て既設)
 (A) 900×900×900 鉄蓋 (R8K-60) (AS): せんり付
- プルボックスの仕様は下記の通りとする。
 (A) 150×150×100 (E) 500×500×400
 (B) 200×200×100 (F) 600×500×400
 (C) 300×300×200 WP: 防水型 溶融垂鉛メッキ
 (D) 400×400×300
- 地中埋設配管はGL-300で埋設シート布設のこと
 車道: 埋設配管深さ GL-900
 歩道: 埋設配管深さ GL-600
- 接地線はH. H No. 3内で既設接地線と接続する。



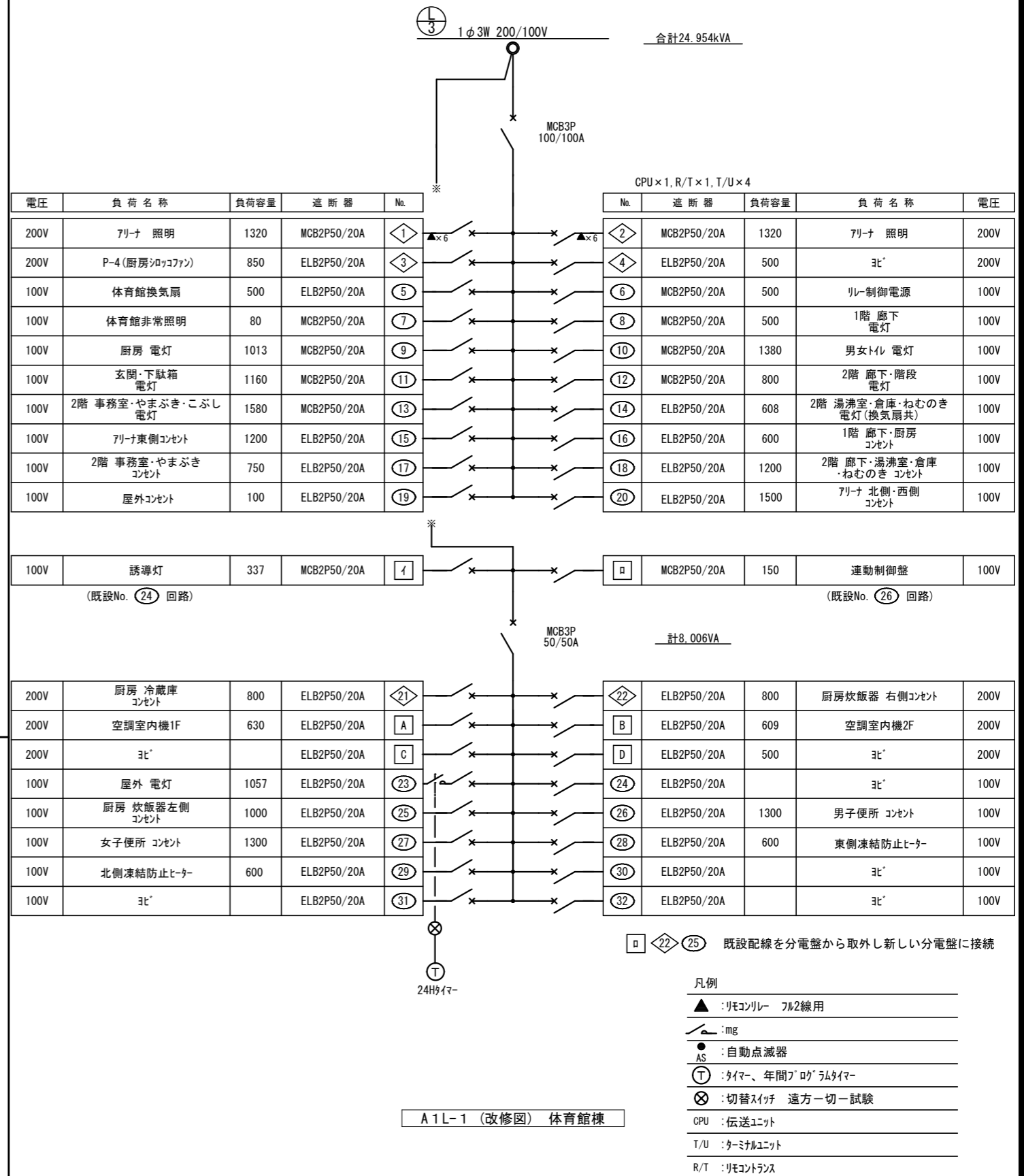
既存電灯盤 L-2 (撤去図)

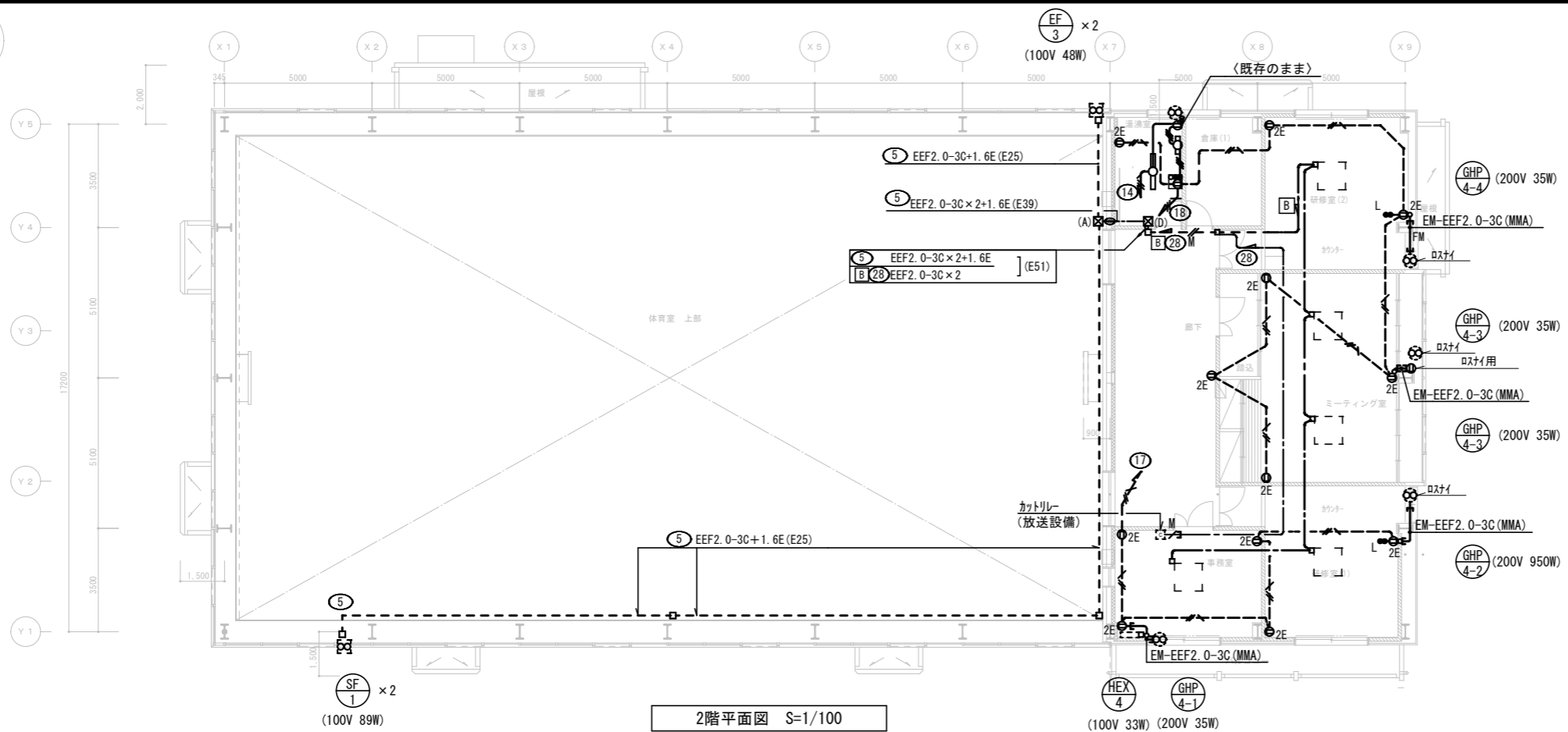


電灯分電盤参考図 S=1/20

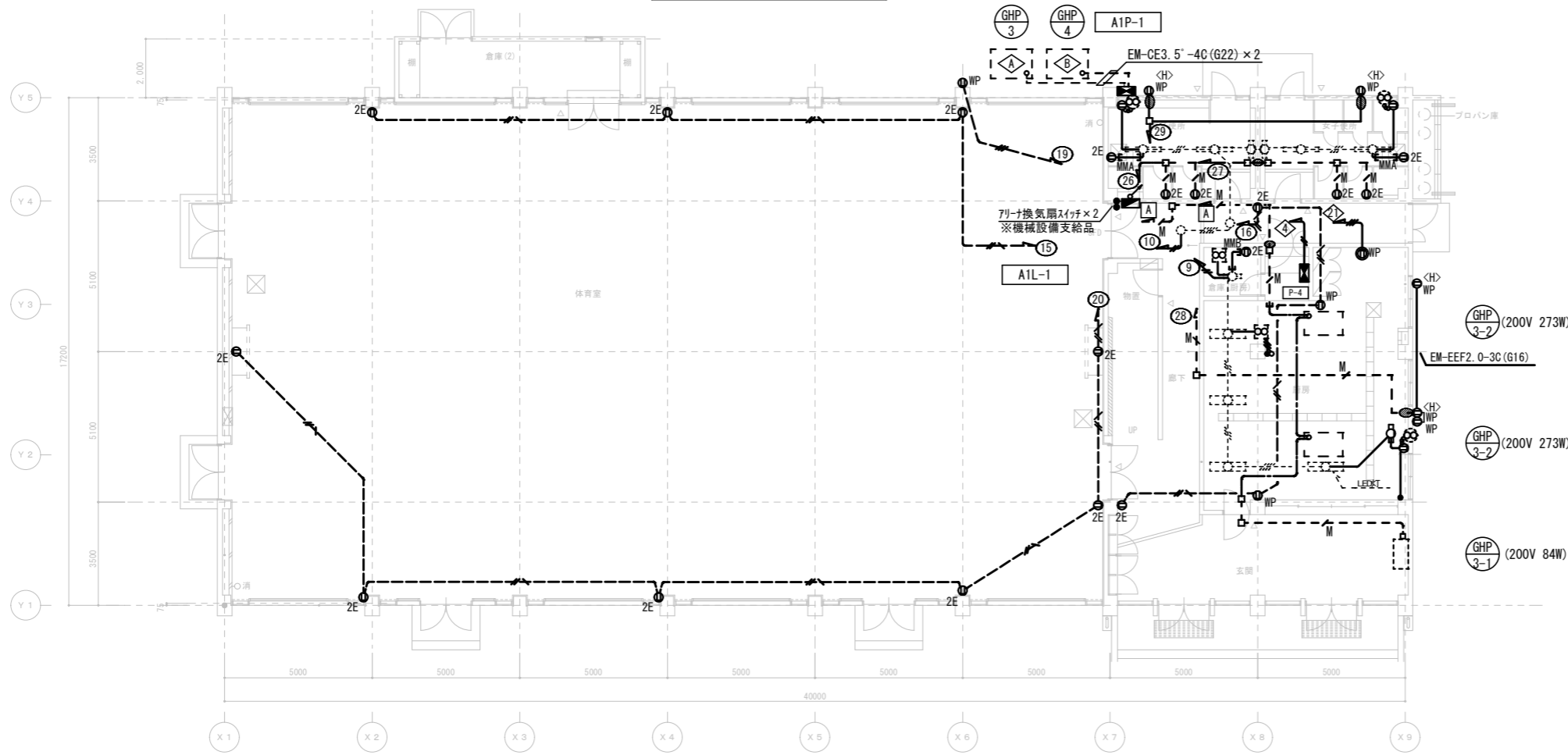
注記

- 既設分電盤は既存のまま残置して中身のブレーカ等を撤去する。
- 新設分電盤は既設盤の横の壁面へ新設とする。分電盤表面に新しくリモコンスイッチ12Lを設けること。
- 分電盤横に7リナ換気扇スイッチ (吸気×2, 排気×2) のスイッチを設けること





2階平面図 S=1/100



1階平面図 S=1/100

凡例

記号	名称	備考
	電灯分電盤	
	動力制御盤	
	埋込コンセント	2P15A E付×1 抜け止め式
	ブロック	
	70トレッドブロック	四角中浅
	研り補修	防火区画処理
	埋込スイッチ	1P15A×1+1P15A×1 既設のまま
	埋込コンセント	2P15A×1
	埋込コンセント	2P15A×2
	埋込コンセント	2P15AE付×1
	埋込コンセント	2P15AE付×2
	防水コンセント	2P15AE付×2+ET付
	埋込コンセント	2P15A×1 250V E付 防水型
	露出コンセント	2P15AE×2 引掛け・防水型
	埋込コンセント+スイッチ	2P15A×2 ET付+1P15A×2付
	換気扇	別途機械設備工事
	天井埋込換気扇	別途機械設備工事
	防水コンセント	凍結防止ヒーター用 2P15AE付×2+ET付
	防水コンセント	凍結防止ヒーター用 2P15AE付×3+ET付

注記

1. 特記なき配線は下記の通りとする。 EM-EEF2.0-3C(天井内こがし) EM-EEF2.0-3C (ケルモ-A型) EM-EEF2.0-3C×2(ケルモ-B型) ・天井内から引下げの場合はコーナ-BOXを使用のこと。 ・建築工事にて壁を解体後新設する箇所については隠蔽配管配線とすること
2. 特記なき既設配線器具(コンセント)は全て更新とする。 また、コンセント回路の配線は引替え更新とする。 配管は既存をそのまま再使用とする。 EM-IE2.0×2 E2.0(既存19内)
また、電灯盤A1L-1より照明器具の第1ブロックまでのみ、配線を更新する。
3. ブロックのサイズは下記の通りとする。 (A) 150'×200 (D) 300'×200 (B) 200'×100 (C) 250'×150 WP: 防水型 溶融亜鉛メッキ

□A LED高天井照明 21300lm 側面が「ド」付き LSR2M-200

水平になる様に角度を調整
参考金具 (社) 02BHIP-W3
照明を取り付け
ワイヤ取付穴を通した後クリップ止め

電圧100~242V
昼白色、5000K、Ra70、中角タイプ、直付型
光源寿命60000時間(光束維持率85%)、電源内蔵型
本体:アルミ、カバー:ポリカーボネート(透明)、アーム:亜鉛鋼板
約5~100%連続調光、落下防止ワイヤ付
器具本体(2.5kg)

- 落下防止ワイヤ止クリップは3点止めとする。
(全器具同一の製品とする。)
- 落下防止ワイヤ、クリップ、ダクトはステンレス製とする。
(全器具同一の製品とする。)

※電気工作物の施工は法令で定める電気工事士とする。
使用材料(参考)

- 落下防止ワイヤ φ3 : 社) 02 W30-50MS同等品
- ワイヤクリップ : 水本機械製作所 WC-3同等品
- ダクト SUS L=30 : 社) 02 S-D2同等品

B LED直付け照明 5200lm LSS10-4-48

一般タイプ
定格出力型、電圧100~242V
本体:鋼板(白色粉体塗装)
ライトカバー:ポリカーボネート(乳白)
光源寿命40000時間(光束維持率85%)
昼白色(5000K)、Ra83、電源装置はライトカバー側に内蔵

C LED埋込照明 6900lm LSS10-4-65

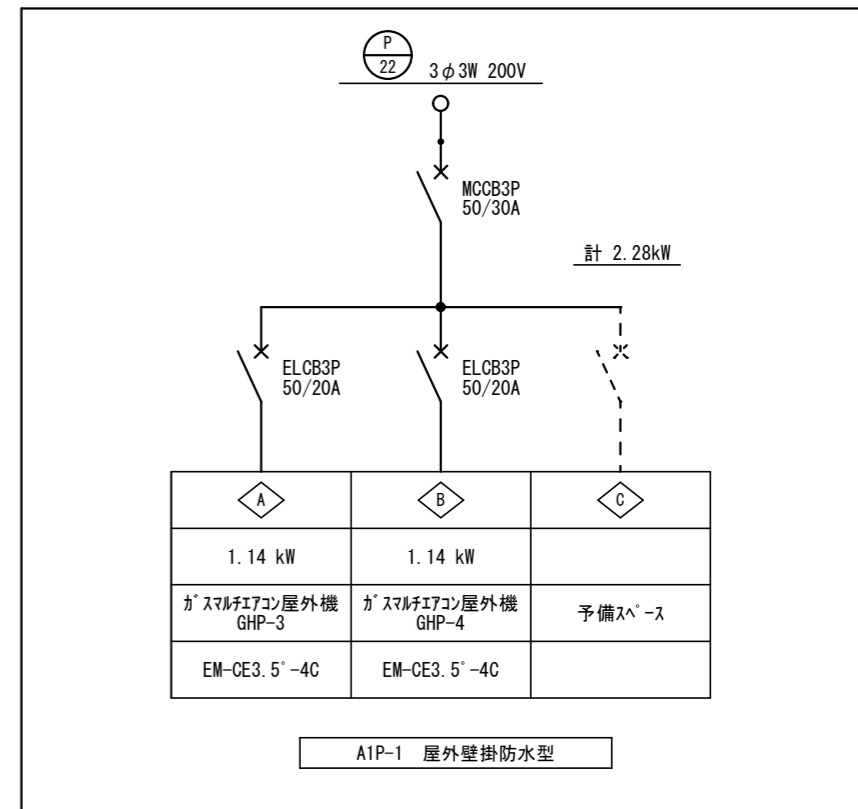
一般タイプ
定格出力型、電圧100~242V
本体:鋼板(白色粉体塗装)
ライトカバー:ポリカーボネート(乳白)
光源寿命40000時間(光束維持率85%)
昼白色(5000K)、Ra83、電源装置はライトカバー側に内蔵

G1 LED誘導灯 B級BH型 壁付型(BT付) SH1-FBF20-BH
G2 LED誘導灯 B級BH型 壁付型(BT付) SH1-FBF20-BH ガード付き

G1 G2

F LED直付け照明 4840lm

コンパクトタイプ、一般タイプ
定格出力型、電圧100~242V
本体:鋼板(白色粉体塗装)
ライトカバー:ポリカーボネート(乳白)
光源寿命40000時間(光束維持率85%)
昼白色(5000K)、Ra83、電源装置はライトカバー側に内蔵



●a LED非常用照明器具 非常灯評定番号:LALE-006

参考型番 社) 02 HB1-W3+HBL52
水平になる様に角度を調整
器具を取付

直付高天井用(~10m)、30分間タイプ
LED内蔵、非常時・非常灯用LED点灯/常時消灯
レンズ:ガラス、カバー:鋼板(ケルミットつや消し仕上)
電圧:100~242V、蓄電池:ニッケル水素電池、点検スイッチ付
自己点検スイッチ付、充電モニタ(緑)付
保守率:0.92

器具取付高さ	5.0m	6.0m	7.0m	8.0m	9.0m	10.0m
単体配置 A1	6.5	7.4	8.1	8.4	8.5	4.0
直線配置 A2	14.2	16.3	18.1	19.9	21.5	21.2
四角配置 A4	11.2	12.8	14.3	15.7	17.1	18.4

D LEDダウンライト 1,300LM LRS1-1-3

一般タイプ
定格出力型、電圧100~242V
本体:鋼板(白色粉体塗装)
ライトカバー:ポリカーボネート(乳白)
光源寿命40000時間(光束維持率85%)
電源装置はライトカバー側に内蔵

E LED和風ペンダントライト 4180lm

参考型番 バナソニック LGB14625

引掛けシーリングを設置して照明を取り付け

昼白色(5000K)、Ra83
電圧100V
拡散タイプ、天井直付型・壁直付型
カバー:アクリル(乳白)

I バナソニック LGB51510LE1 相当品

H2 LED直付け照明 3200lm LSS9-4-30
H3 LED直付け照明 5200lm LSS9-4-48

一般タイプ
定格出力型、電圧100~242V
本体:鋼板(白色粉体塗装)
ライトカバー:ポリカーボネート(乳白)
光源寿命40000時間(光束維持率85%)
電源装置はライトカバー側に内蔵

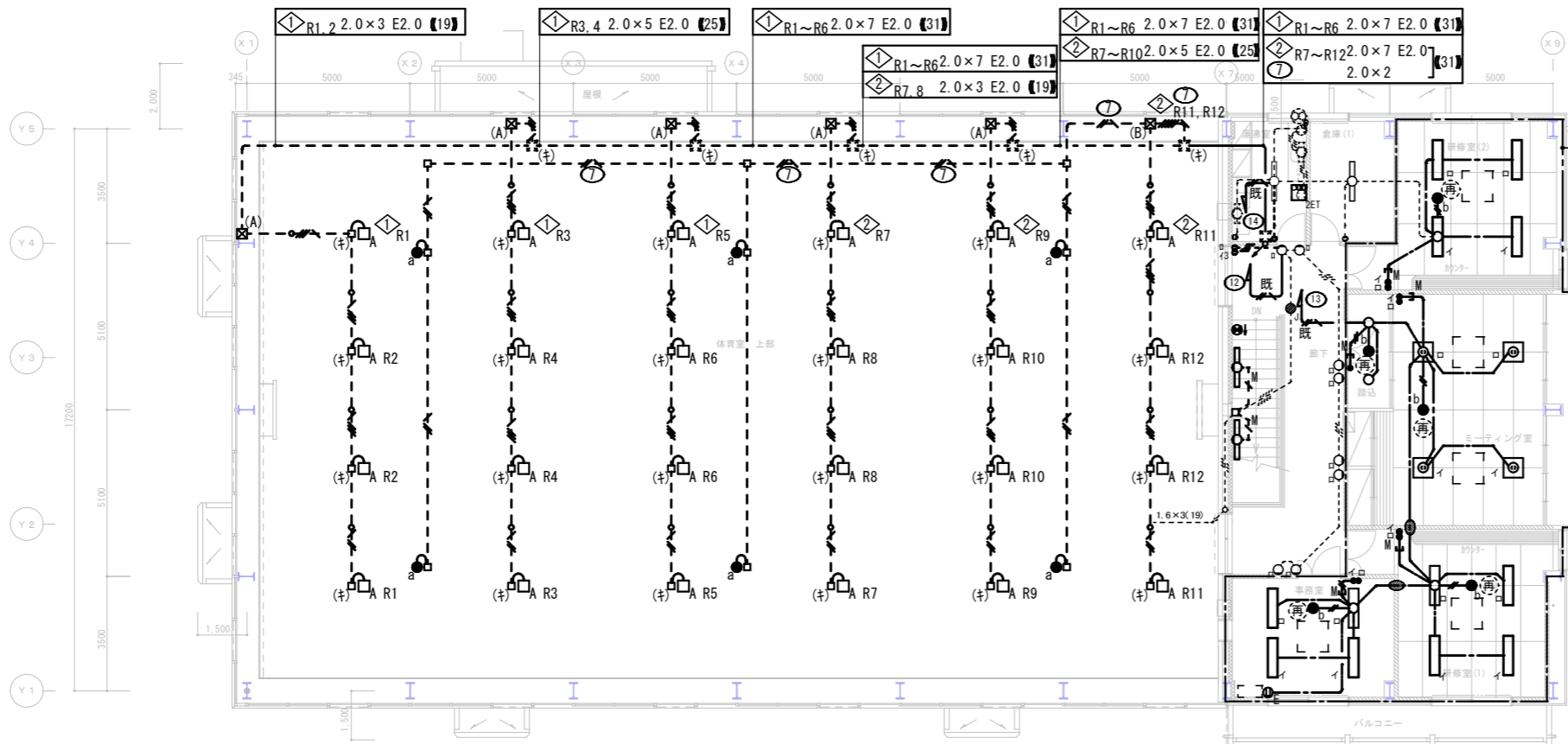
J 非常照明埋込型

φ150低天井・小空間用(~3m)、30分間タイプ
LED内蔵、非常時・非常灯用LED点灯/常時消灯

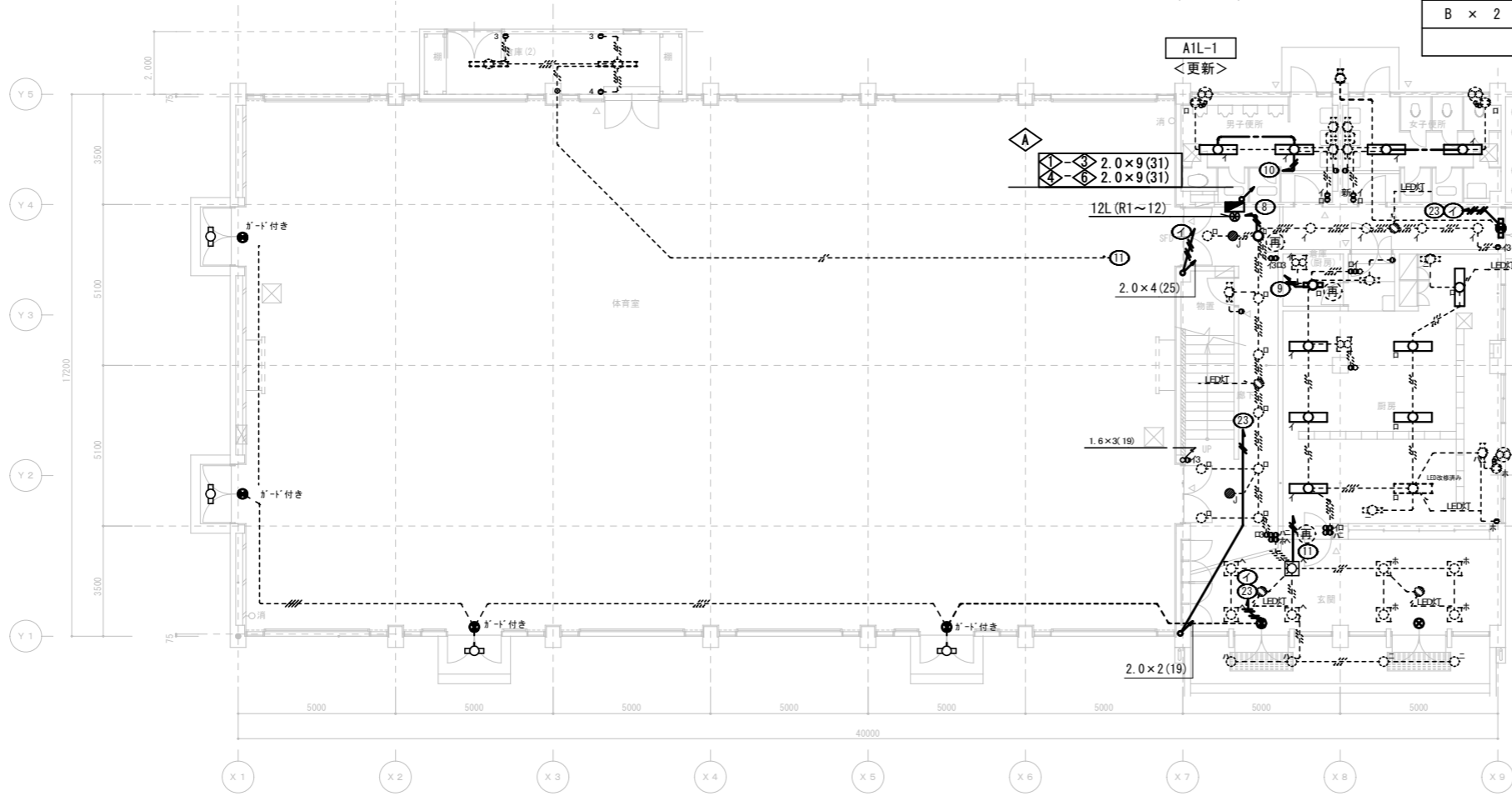
器具取付高さ	2.1m	2.4m	2.6m	2.8m	3.0m
単体配置 A1	2.0	4.0	4.0	2.0	
直線配置 A2	8.5	9.4	9.9	10.1	
四角配置 A4	6.9	7.6	8.1	8.9	

K 避難口誘導標識 高輝度蓄光式C級 200口

専用プレート使用



2階平面図 S=1/100



1階平面図 S=1/100

※(())二重括弧内の配管は既設配管を示す。

枠内は建築にて、天井・壁改修範囲を示す。

体育館上部

A × 24
a × 6

体育館7リナ

G2 × 4

湯沸室
H3 × 1

倉庫(1)
H3 × 1

研修室(2)
C × 4
b × 1

階段
F × 2
G1 × 1

廊下
I × 8
J × 1

ミーティング室
D × 2
E × 4
b × 2

研修室(1)
C × 4
b × 1

事務室
B × 4
b × 1

男子便所
B × 2

女子便所
B × 2

廊下
J × 2
G1 × 1

厨房
M × 6

玄関
G1 × 1
K × 1

記号	名称	備考
■	電灯分電盤	改修
□A	照明器具	姿図 A (新規)
●a	非常照明	姿図 a (新規)
●(再)	既設埋込LED非常灯	再使用
⊙	誘導標識	
⊙	避難口誘導灯 矢印付き	
⊙	避難口誘導灯	
□	ベース照明	
○	ダウンライト	
⊙	シーリングライト	引掛シーリング 2P15A×1共
⊠	ブルボックス	
⊠	ブルボックス	既設
□	アウトレットボックス	四角中浅
□(キ)	アウトレットボックス	既設
●	埋込スイッチ	1P15A×1
⊙	研り補修	50φ×100

注記

- 特記なき配線は下記の通りとする。

---	EM-IE2.0×2 E2.0	(E19)
---	EM-IE2.0×2 E2.0	【既設管内】
---	EM-IE2.0×3 E2.0	【既設管内】
---	EM-IE2.0×3 E2.0	(E25)
- 2階建築改修範囲

---	EM-EEF1.6-2C	(天井こがし)
---	EM-EEF1.6-2C	(MMA保護)
---	EM-EEF1.6-3C	(天井こがし)
---	EM-EEF1.6-3C	(MMA保護)
- 電灯盤より照明第1ボックスまでの配線は引替えを行う。

---	EM-IE2.0×2	(既設管内)
---	EM-IE2.0×4	(既設管内)
- 細線の配管配線及び器具はそのまま残置とする。

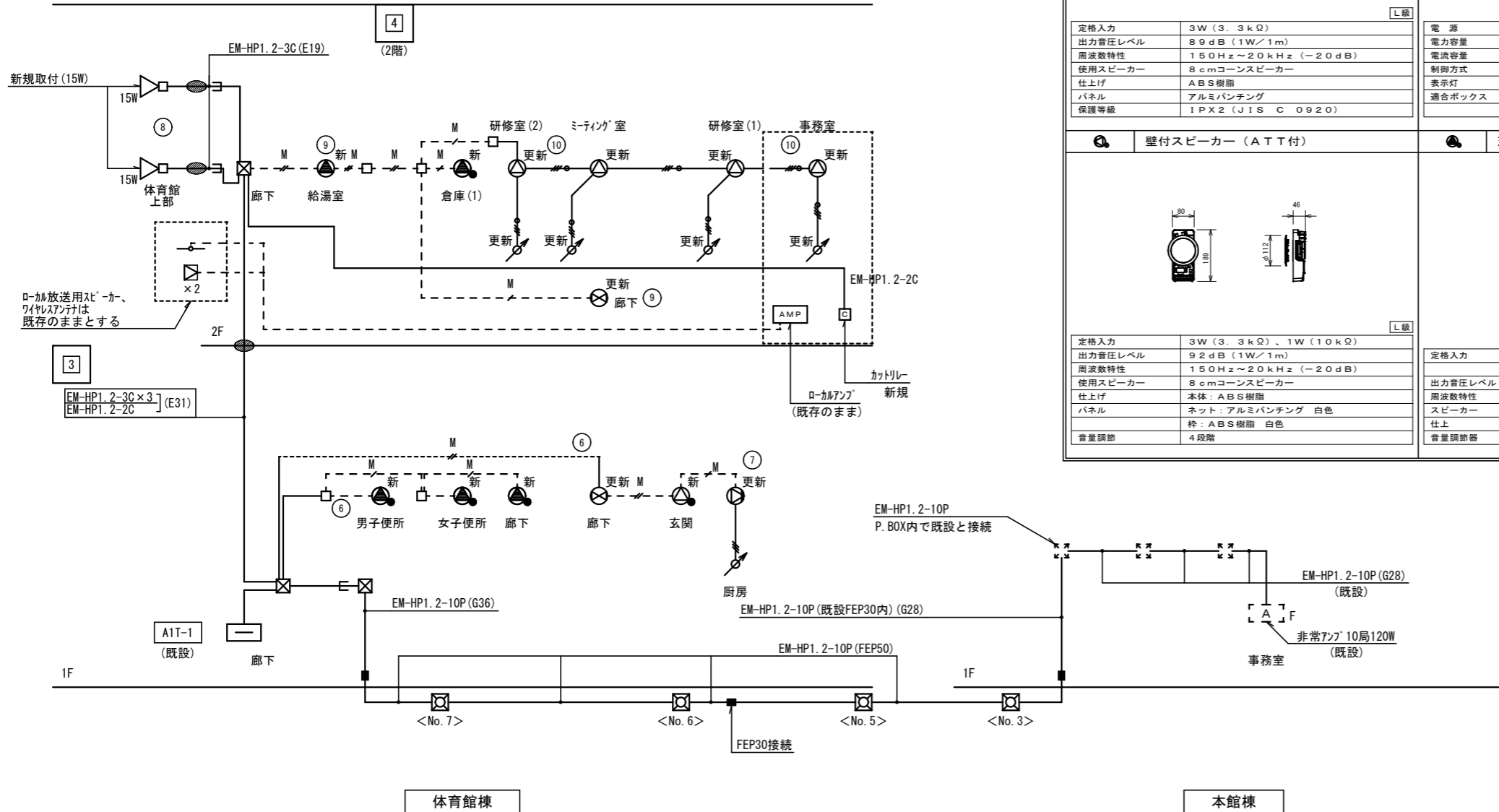
- ブルボックスのサイズは下記の通りとする。

⊠(A)	150' × 100
⊠(B)	200' × 100

非常系統	業務系統	棟	階	名称(放送17)
1	①	宿泊棟	1階	共用
	②			事務室他諸室
	③			屋外
2	④	宿泊棟	2階	共用
	⑤			宿泊室
3	⑥	体育館棟	1階	共用
	⑦			厨房
	⑧			体育館
4	⑨	体育館棟	2階	共用
	⑩			事務室他諸室

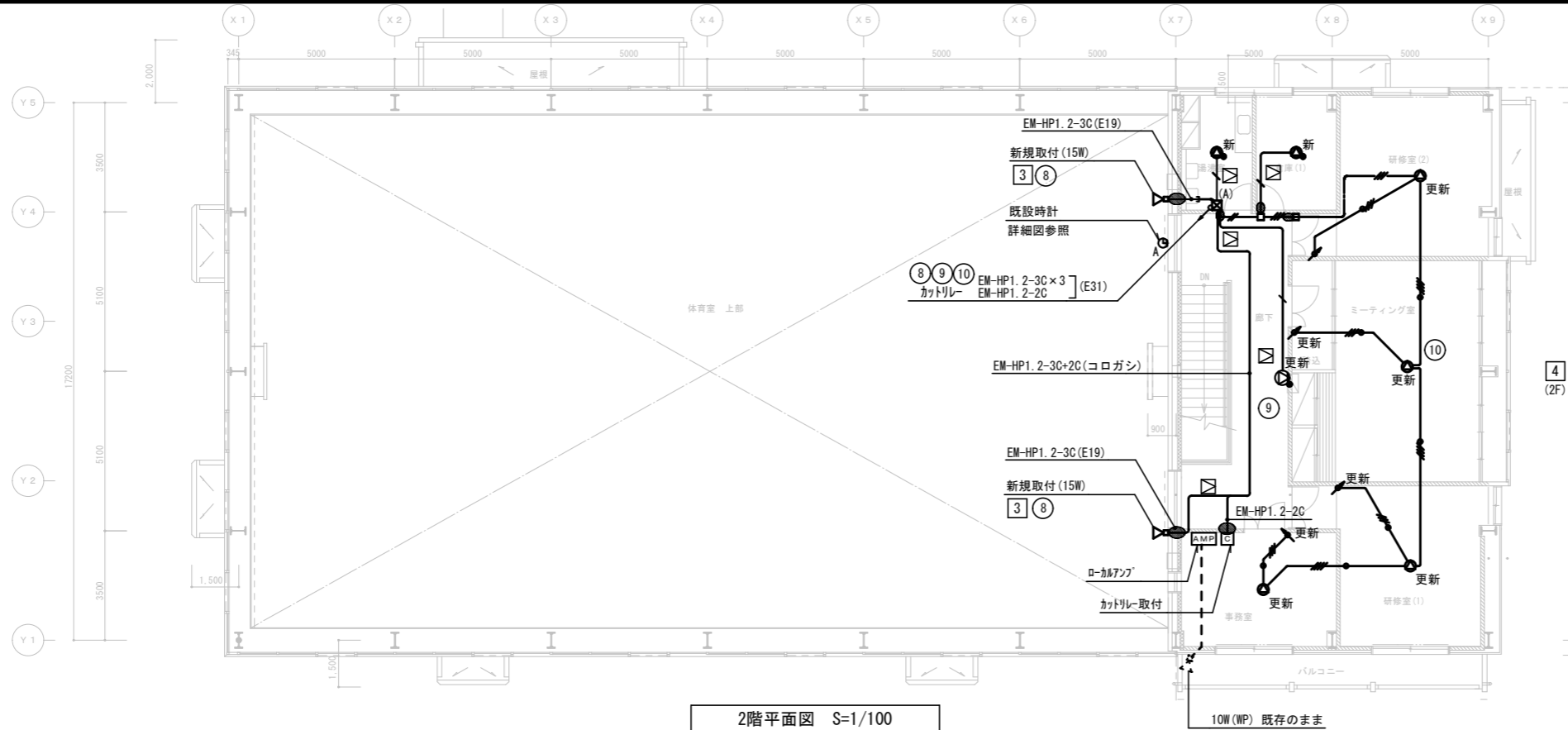
<凡例>

記号	名称	備考
□	端子盤	既設
AMP	業務用放送アンプ	
C	カットリレー	
⊙	天井埋込型スピーカー	
⊙	天井埋込型スピーカー	ATT付
⊙	壁掛型スピーカー	
⊙	壁掛型スピーカー	ATT付
⊙	天井露出型スピーカー	ATT付
△	クリアホン	15W
⚡	アッテネーター	
⊙	天井スピーカー	既設を示す
⊙	ホーンスピーカー	既設を示す

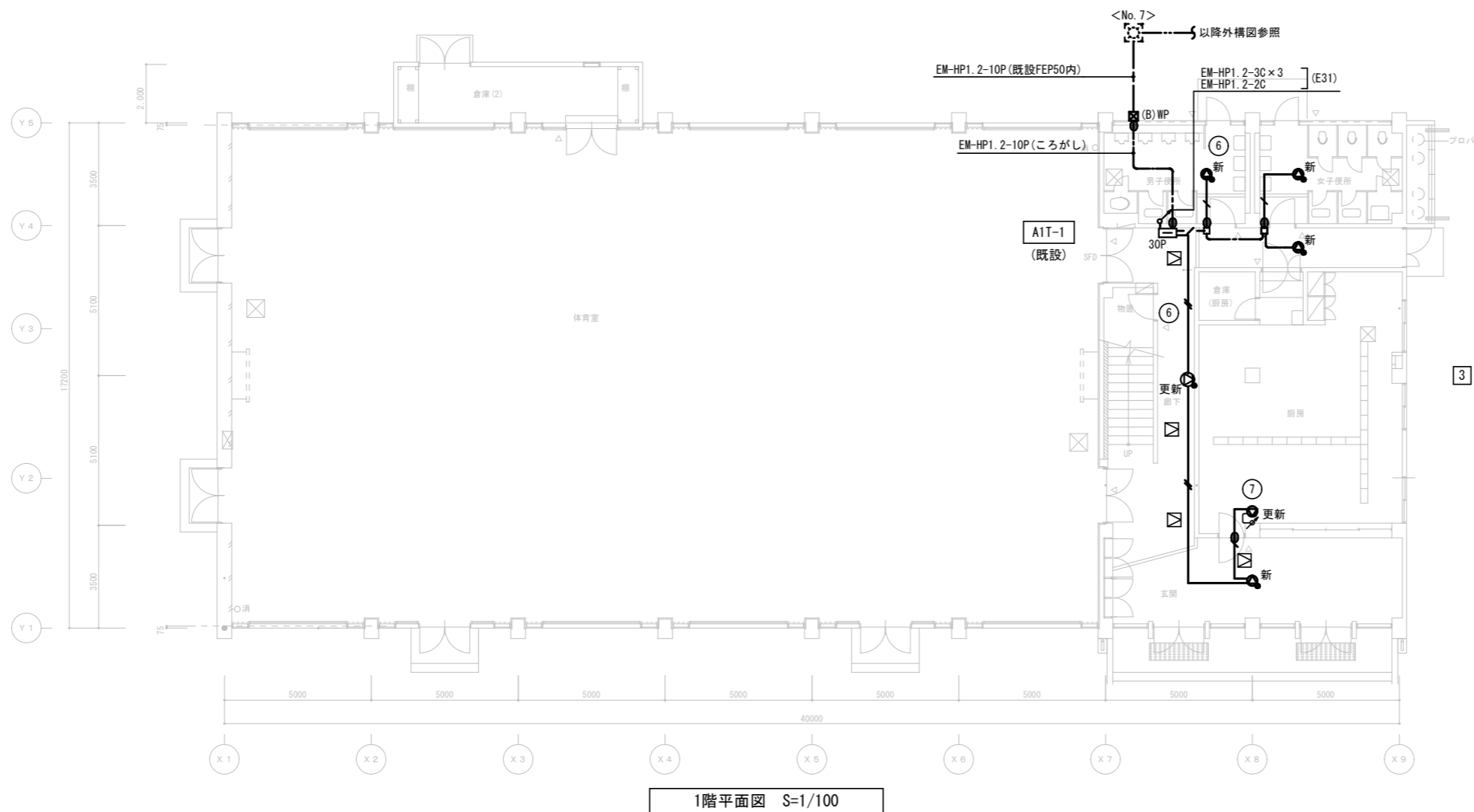


天井埋込スピーカー 天井埋込スピーカー	クリアホン (15W)																												
<table border="1"> <tr><td>定格入力</td><td>3W (3.3kΩ), 1W (10kΩ)</td></tr> <tr><td>出力音圧レベル</td><td>92dB (1W/1m)</td></tr> <tr><td>周波数特性</td><td>150Hz~20kHz (-20dB)</td></tr> <tr><td>使用スピーカー</td><td>8cmコーンスピーカー</td></tr> <tr><td>仕上げ</td><td>本体: ABS樹脂</td></tr> <tr><td>パネル</td><td>ネット: アルミバンテング 白色</td></tr> <tr><td></td><td>枠: ABS樹脂 白色</td></tr> </table>	定格入力	3W (3.3kΩ), 1W (10kΩ)	出力音圧レベル	92dB (1W/1m)	周波数特性	150Hz~20kHz (-20dB)	使用スピーカー	8cmコーンスピーカー	仕上げ	本体: ABS樹脂	パネル	ネット: アルミバンテング 白色		枠: ABS樹脂 白色	<table border="1"> <tr><td>定格入力</td><td>15W (670Ω)</td></tr> <tr><td>出力音圧レベル</td><td>5W (2kΩ)</td></tr> <tr><td>出力音圧レベル</td><td>99dB (1m/1W)</td></tr> <tr><td>周波数特性</td><td>150Hz~15kHz</td></tr> <tr><td>仕上げ</td><td>本体: ABS樹脂、取付金具: ステンレス</td></tr> <tr><td>保護等級</td><td>JIS C 5504準拠、IPX4準拠</td></tr> </table>	定格入力	15W (670Ω)	出力音圧レベル	5W (2kΩ)	出力音圧レベル	99dB (1m/1W)	周波数特性	150Hz~15kHz	仕上げ	本体: ABS樹脂、取付金具: ステンレス	保護等級	JIS C 5504準拠、IPX4準拠		
定格入力	3W (3.3kΩ), 1W (10kΩ)																												
出力音圧レベル	92dB (1W/1m)																												
周波数特性	150Hz~20kHz (-20dB)																												
使用スピーカー	8cmコーンスピーカー																												
仕上げ	本体: ABS樹脂																												
パネル	ネット: アルミバンテング 白色																												
	枠: ABS樹脂 白色																												
定格入力	15W (670Ω)																												
出力音圧レベル	5W (2kΩ)																												
出力音圧レベル	99dB (1m/1W)																												
周波数特性	150Hz~15kHz																												
仕上げ	本体: ABS樹脂、取付金具: ステンレス																												
保護等級	JIS C 5504準拠、IPX4準拠																												
天井埋込スピーカー (防滴型)	カットリレー																												
<table border="1"> <tr><td>定格入力</td><td>3W (3.3kΩ)</td></tr> <tr><td>出力音圧レベル</td><td>89dB (1W/1m)</td></tr> <tr><td>周波数特性</td><td>150Hz~20kHz (-20dB)</td></tr> <tr><td>使用スピーカー</td><td>8cmコーンスピーカー</td></tr> <tr><td>仕上げ</td><td>ABS樹脂</td></tr> <tr><td>パネル</td><td>アルミバンテング</td></tr> <tr><td>保護等級</td><td>IPX2 (JIS C 0920)</td></tr> </table>	定格入力	3W (3.3kΩ)	出力音圧レベル	89dB (1W/1m)	周波数特性	150Hz~20kHz (-20dB)	使用スピーカー	8cmコーンスピーカー	仕上げ	ABS樹脂	パネル	アルミバンテング	保護等級	IPX2 (JIS C 0920)	<table border="1"> <tr><td>電源</td><td>AC100V 50/60Hz</td></tr> <tr><td>電力容量</td><td>最大800W</td></tr> <tr><td>電流容量</td><td>最大10A</td></tr> <tr><td>制御方式</td><td>非常時DC24V断、10mA</td></tr> <tr><td>表示灯</td><td>通電表示灯 (通電時点灯)</td></tr> <tr><td>適合ボックス</td><td>露出 JIS C 8340 1個用深形</td></tr> <tr><td></td><td>埋込 JIS C 8340 1個用カバー付</td></tr> </table>	電源	AC100V 50/60Hz	電力容量	最大800W	電流容量	最大10A	制御方式	非常時DC24V断、10mA	表示灯	通電表示灯 (通電時点灯)	適合ボックス	露出 JIS C 8340 1個用深形		埋込 JIS C 8340 1個用カバー付
定格入力	3W (3.3kΩ)																												
出力音圧レベル	89dB (1W/1m)																												
周波数特性	150Hz~20kHz (-20dB)																												
使用スピーカー	8cmコーンスピーカー																												
仕上げ	ABS樹脂																												
パネル	アルミバンテング																												
保護等級	IPX2 (JIS C 0920)																												
電源	AC100V 50/60Hz																												
電力容量	最大800W																												
電流容量	最大10A																												
制御方式	非常時DC24V断、10mA																												
表示灯	通電表示灯 (通電時点灯)																												
適合ボックス	露出 JIS C 8340 1個用深形																												
	埋込 JIS C 8340 1個用カバー付																												
壁付スピーカー (ATT付)	天井露出型スピーカー (ATT付)																												
<table border="1"> <tr><td>定格入力</td><td>3W (3.3kΩ), 1W (10kΩ)</td></tr> <tr><td>出力音圧レベル</td><td>92dB (1W/1m)</td></tr> <tr><td>周波数特性</td><td>150Hz~20kHz (-20dB)</td></tr> <tr><td>使用スピーカー</td><td>8cmコーンスピーカー</td></tr> <tr><td>仕上げ</td><td>本体: ABS樹脂</td></tr> <tr><td>パネル</td><td>ネット: アルミバンテング 白色</td></tr> <tr><td>音量調節</td><td>枠: ABS樹脂 白色</td></tr> <tr><td></td><td>4段階</td></tr> </table>	定格入力	3W (3.3kΩ), 1W (10kΩ)	出力音圧レベル	92dB (1W/1m)	周波数特性	150Hz~20kHz (-20dB)	使用スピーカー	8cmコーンスピーカー	仕上げ	本体: ABS樹脂	パネル	ネット: アルミバンテング 白色	音量調節	枠: ABS樹脂 白色		4段階	<table border="1"> <tr><td>定格入力</td><td>3W (3.3kΩ), 2W (5kΩ), 1W (10kΩ)</td></tr> <tr><td>出力音圧レベル</td><td>94dB (1W, 1m)</td></tr> <tr><td>周波数特性</td><td>160Hz~16kHz</td></tr> <tr><td>スピーカー</td><td>防滴12cmコーン型</td></tr> <tr><td>仕上げ</td><td>ケース: 樹脂 ライトグレー</td></tr> <tr><td>音量調節器</td><td>5段切換</td></tr> </table>	定格入力	3W (3.3kΩ), 2W (5kΩ), 1W (10kΩ)	出力音圧レベル	94dB (1W, 1m)	周波数特性	160Hz~16kHz	スピーカー	防滴12cmコーン型	仕上げ	ケース: 樹脂 ライトグレー	音量調節器	5段切換
定格入力	3W (3.3kΩ), 1W (10kΩ)																												
出力音圧レベル	92dB (1W/1m)																												
周波数特性	150Hz~20kHz (-20dB)																												
使用スピーカー	8cmコーンスピーカー																												
仕上げ	本体: ABS樹脂																												
パネル	ネット: アルミバンテング 白色																												
音量調節	枠: ABS樹脂 白色																												
	4段階																												
定格入力	3W (3.3kΩ), 2W (5kΩ), 1W (10kΩ)																												
出力音圧レベル	94dB (1W, 1m)																												
周波数特性	160Hz~16kHz																												
スピーカー	防滴12cmコーン型																												
仕上げ	ケース: 樹脂 ライトグレー																												
音量調節器	5段切換																												

注記
 1. スピーカー、アッテネーター附記の再は既設取外し、再使用を示す。新・新規取付を示す。
 2. 二期工事は体育館棟を主とするが、既設アンプ及び既設自動火災報知受信機との連動等の試験調整まで行うこと。



2階平面図 S=1/100

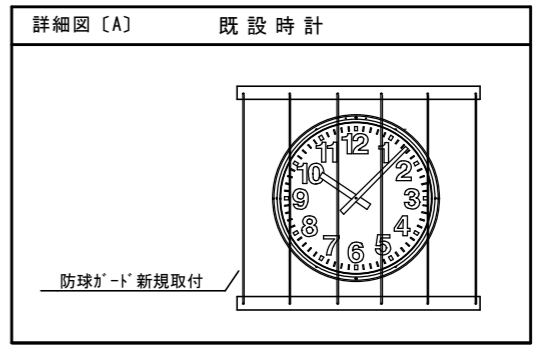


1階平面図 S=1/100

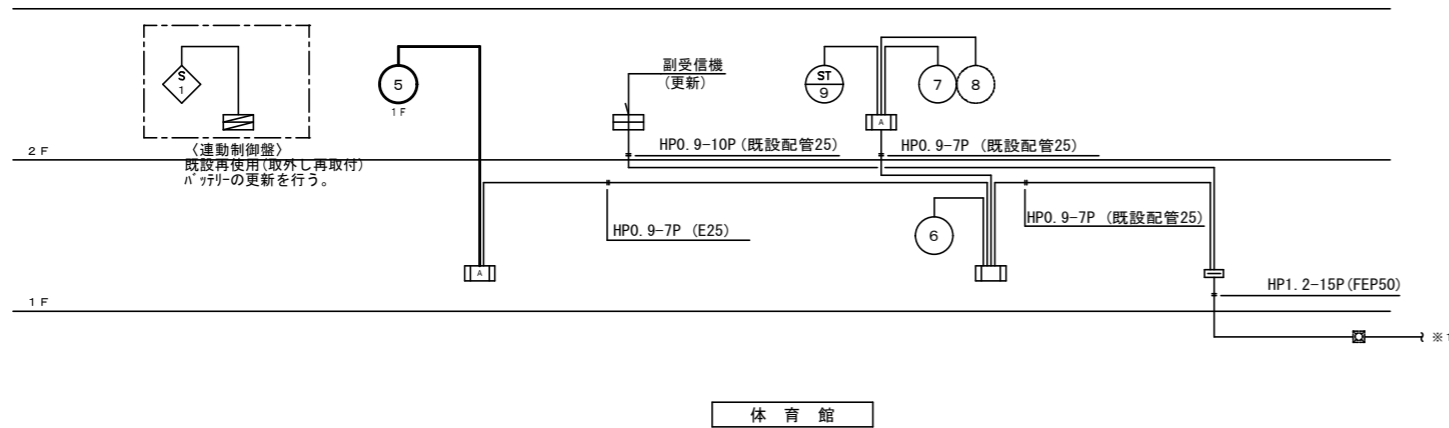
凡例

記号	名称	備考
□	端子盤	30P
AMP	業務用放送アンプ	
C	カドリレコンセント	
⊙	天井埋込型スイッチ	3W
⊙	壁掛型スイッチ	3W
△	クリアホン	15W
↻	アッテナー	既設再取付

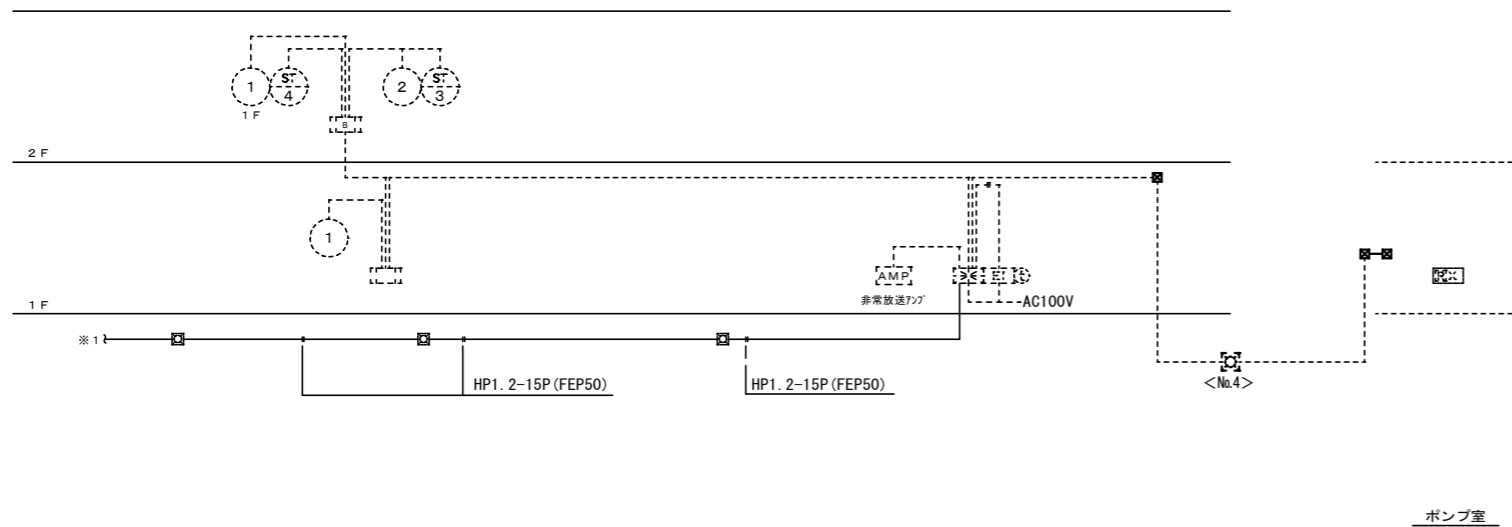
ブ' 枠' ヲ' ス' の' サ' イ' ズ' は' 下' 記' の' 通' り' と' す' る'。
 ⊙ (A) 150' × 100
 ⊙ (B) 200' × 100



- 注記
- 特記なき配管配線は下記とする。
 放送設備
 —●— EM-HP1. 2-2C (既設管内)
 —●— EM-HP1. 2-3C (既設管内)
 □ 新設点検口 450 × 450
 ・既存配線は耐熱電線又は耐熱ケーブルを使用していないため耐熱ケーブルに引替えとする。
 附記「更新」は既存スイッチ等の更新を示す。
 アッテナーへの天井立ち下げ部はコーナボックス、マルチ線配線とする。
 - 附記「新」のスイッチは今回新規取付のスイッチを示す。
 - 2階事務室のローカルアンプは既存のままとする。
 カドリーを新規取付けて、非常時ローカルアンプは自動的にOFFとする。



体育館

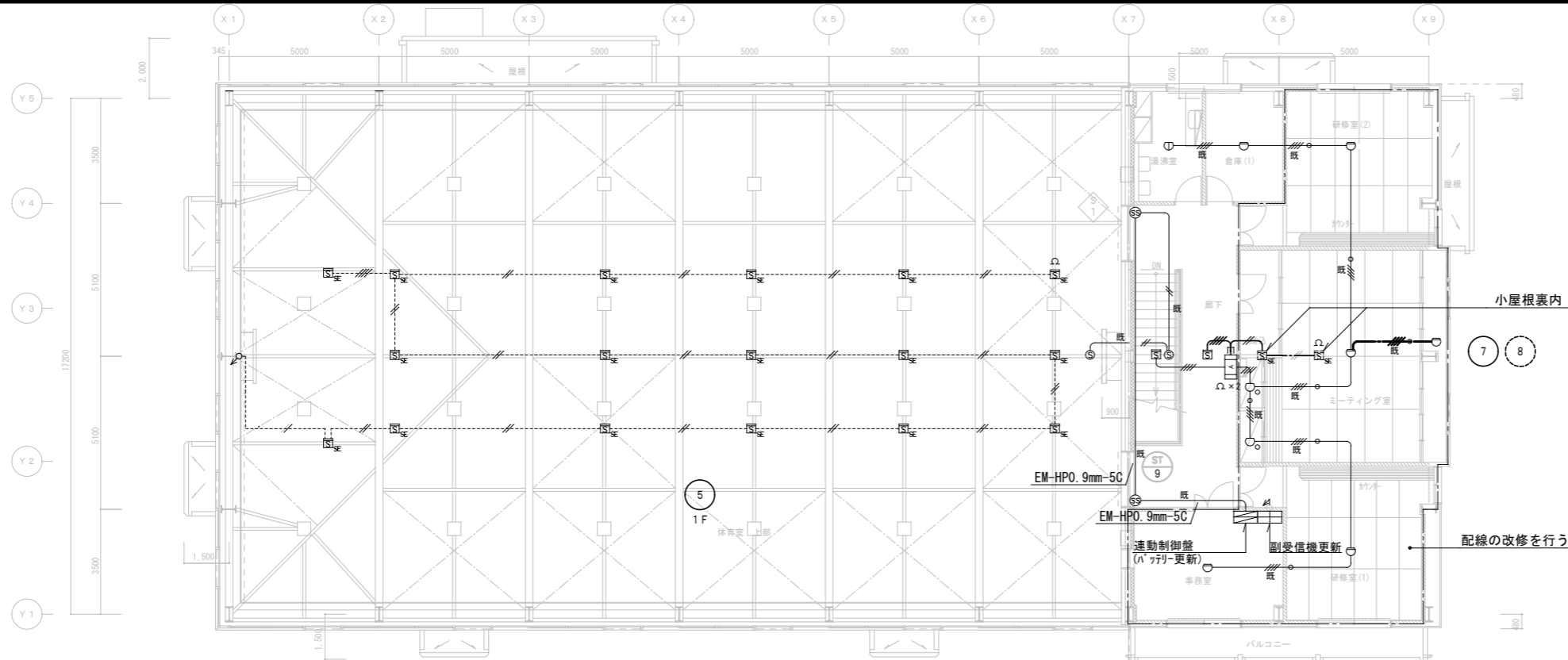


本館棟

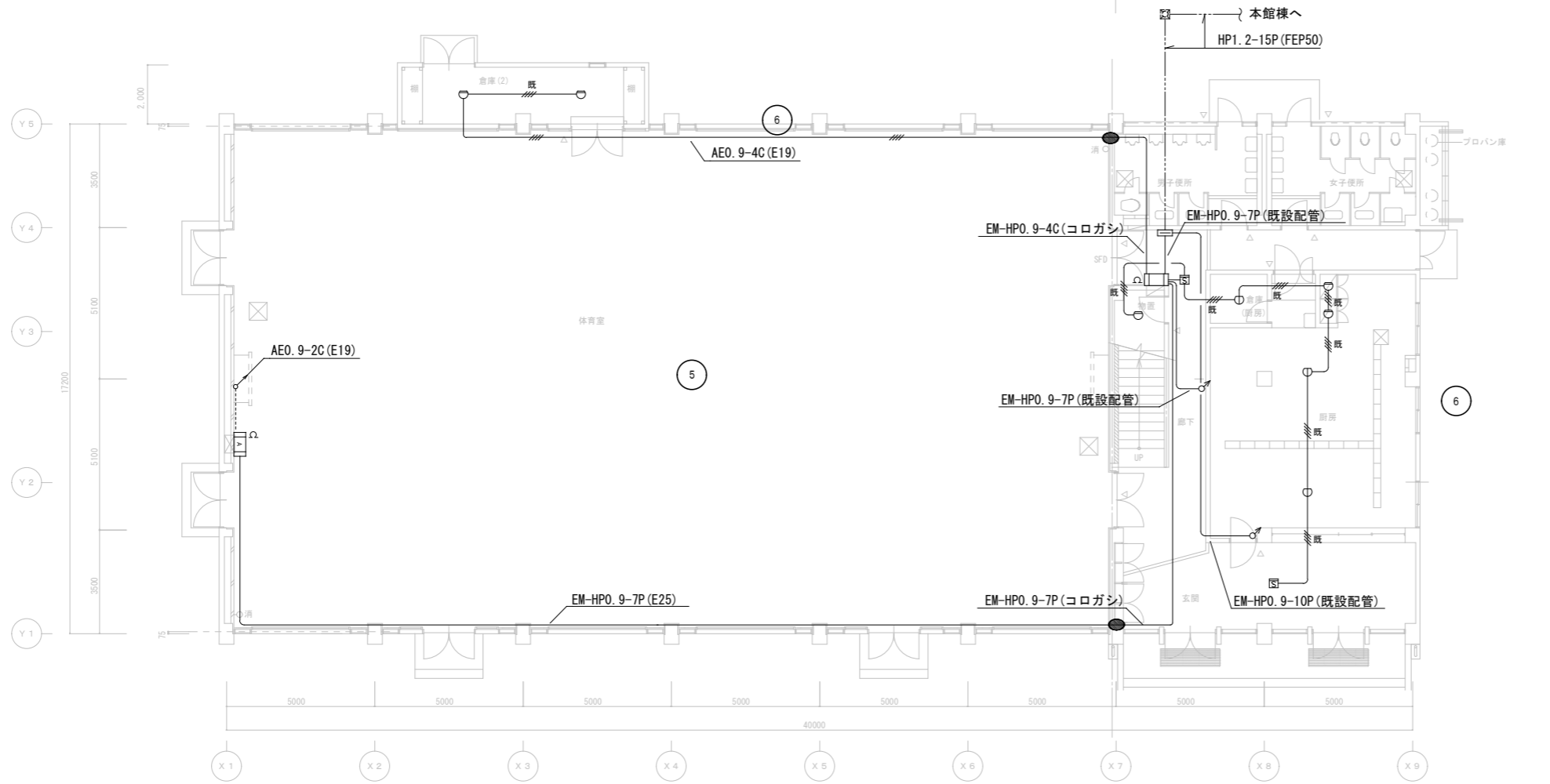
系統図

凡	例	考
記号	名	備
☒	受信機	P型1級用線 既設
☒	防災連動操作盤	既設
☒	副受信機	註記参照
☒	機器収容箱	消火栓箱込型 ①② 収容
☒	機器収容箱	消火栓箱込型 ①② 収容
☒	機器収容箱	消火栓箱込型 ①② 収容
☒	フラット発信機	P型1級
☒	フラット表示灯	24V LED 防雨型
☒	光電式スポット型感知器	2種 露出型 予防安全表示機能付・オムニビュー
☒	光電式スポット型感知器	2種 埋込型 予防安全表示機能付・オムニビュー
☒	差動式スポット型感知器	2種 防水型 オムニビュー
☒	差動式スポット型感知器	2種
☒	差動式スポット型感知器	2種 埋込型
☒	定温式スポット型感知器	特種 60℃
☒	定温式スポット型感知器	特種 防水型 60℃
☒	定温式スポット型感知器	1種 70℃
☒	定温式スポット型感知器	1種 防水型 70℃
☒	光電式スポット型感知器	3種 露出型 防塵防湿型 予防安全表示機能付・オムニビュー
☒	光電式スポット型感知器	2種 露出型 オムニビュー 遠隔試験・自動感度補正・遠隔感度試験
☒	光電式スポット型感知器	2種 埋込型 オムニビュー 遠隔試験・自動感度補正・遠隔感度試験
☒	光電式スポット型感知器	2種 露出型 オムニビュー 天井裏用 遠隔試験・自動感度補正・遠隔感度試験
☒	差動式スポット型感知器	2種 露出型 オムニビュー 遠隔試験 天井裏用
☒	中継器	遠隔試験用 1回線用
☒	中継器	遠隔試験用 4回線用
☒	終端器	
☒	火災通報装置	註記参照
☒	火災通報専用電話機	火災通報押印付
☒	自動閉鎖装置	防火シャッター用 (建築工事)
☒	圧電プザ一	防火シャッター降下警報用
☒	屋内消火制御盤	移報器 ポンプ始動用 表示灯用電源 2A
☒	配管配線	天井いんべい
☒	配管配線	露出
☒	配管配線	地中埋設・架空
☒	ケーブル配線	天井いんべい
☒	配管配線	立上がり・引下げ
☒	ジョイントボックス	
☒	プルボックス	
☒	端子盤	
☒	ハンドホール	
☒	配管つき出し	
☒	警戒区域境界線	
☒	警戒区域番号	自火報用
☒	警戒区域番号	自火報用(階段)
☒	警戒区域番号	天井裏用
☒	制御番号	防火シャッター用

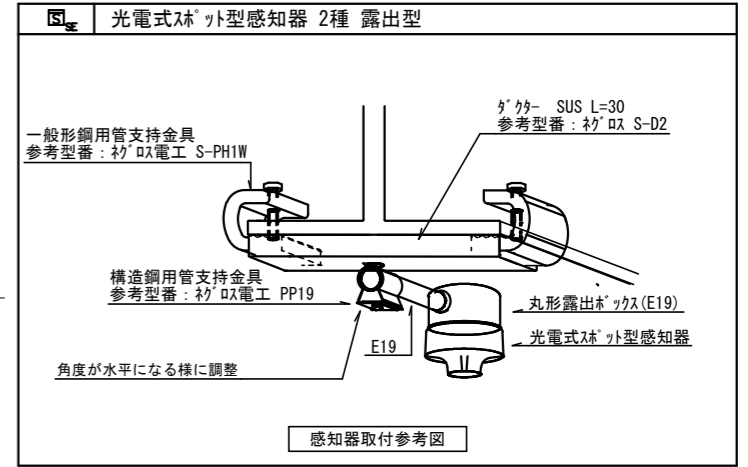
注	記
【工事概要】	
	今回工事は体育館棟の既設副受信機・感知器の全更新とする。
	7F-9Fは空気管から図示のように煙感知器に更新する。
	但し、連動制御盤と制御機器(防火シャッター)は更新無しとする。
	配管配線は、基本的に既設流用とする。試験調整までの一切を行う。
	副受信機は、1台接続可能とする。
1	副受信機は壁掛型(P型1級用 10回線)窓式とする。 自動火災報知設備 10回線
2	光電式スポット型感知器は、下記の機能を有する。 ・予防安全表示機能(交換推奨の目安を表示) ・作動確認灯はリング光式(オムニビュー) ・汚れ感度自動補正機能 ・ファインメッシュ
3	特記なき配管配線は下記とする。 ——— IV1.2x4 (19) - - - - - AE0.9-2C (19) - - - - - AE0.9-2C - - - - - AE0.9-4C (19) - - - - - AE0.9-4C
4	細線の設備は、既設を示す。



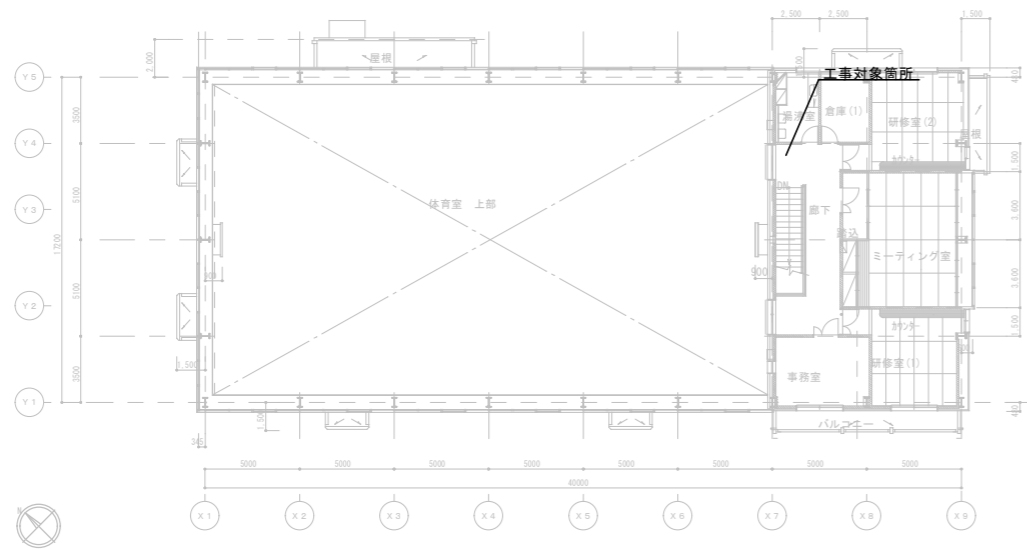
2階平面図 S=1/100



1階平面図 S=1/100



- 注記
- 7リナ部分を除き配管は既存を再利用し配線の更新を行う。
 - 感知器等の機器は全て更新する。
ただし運動制御盤及びそれに属する3種煙感知器等は、特記なきは既存のままとする。
・運動制御盤のバッテリーの更新を行う。



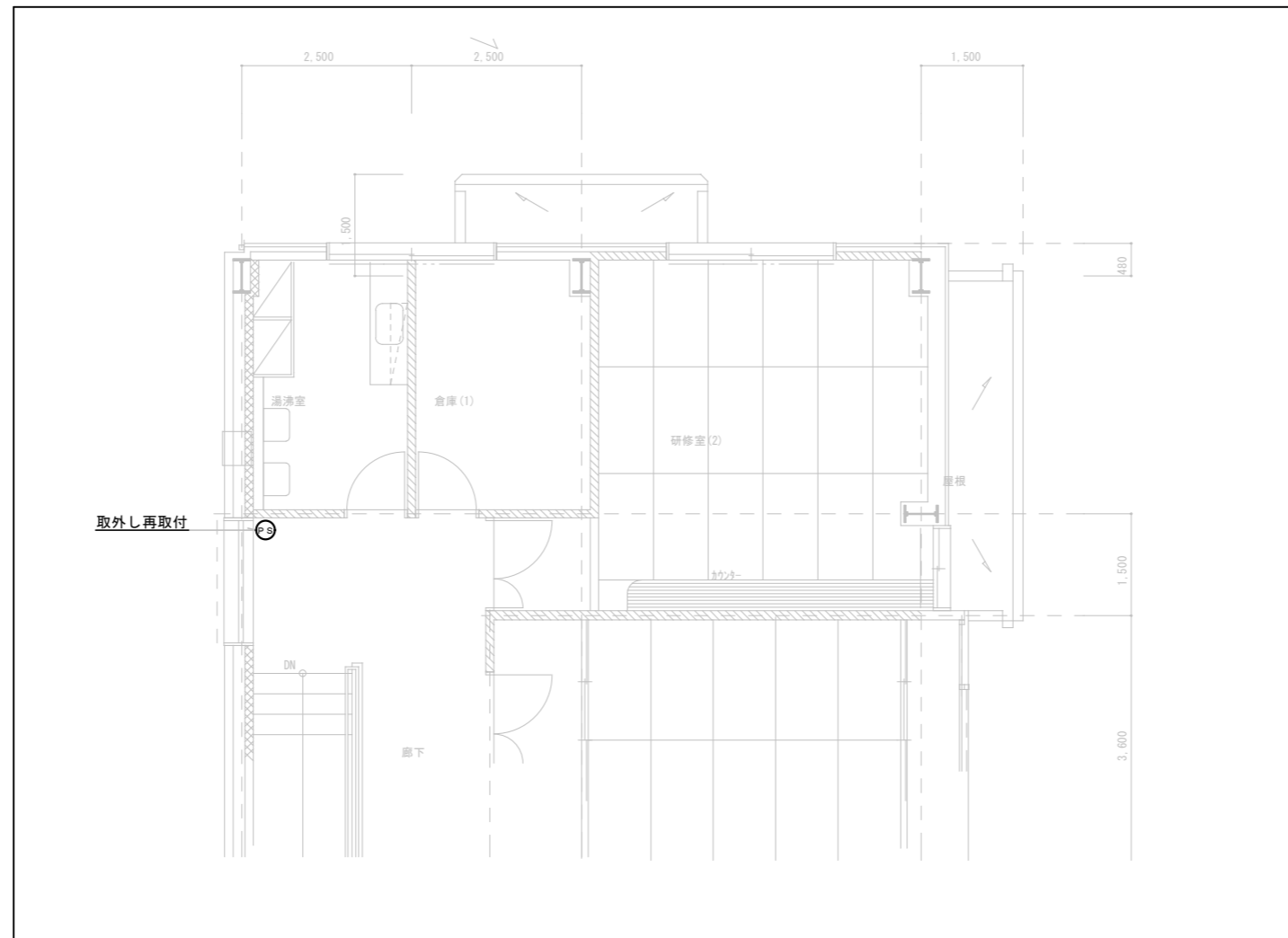
体育館棟 2階平面図 1/200 (A1)

注記

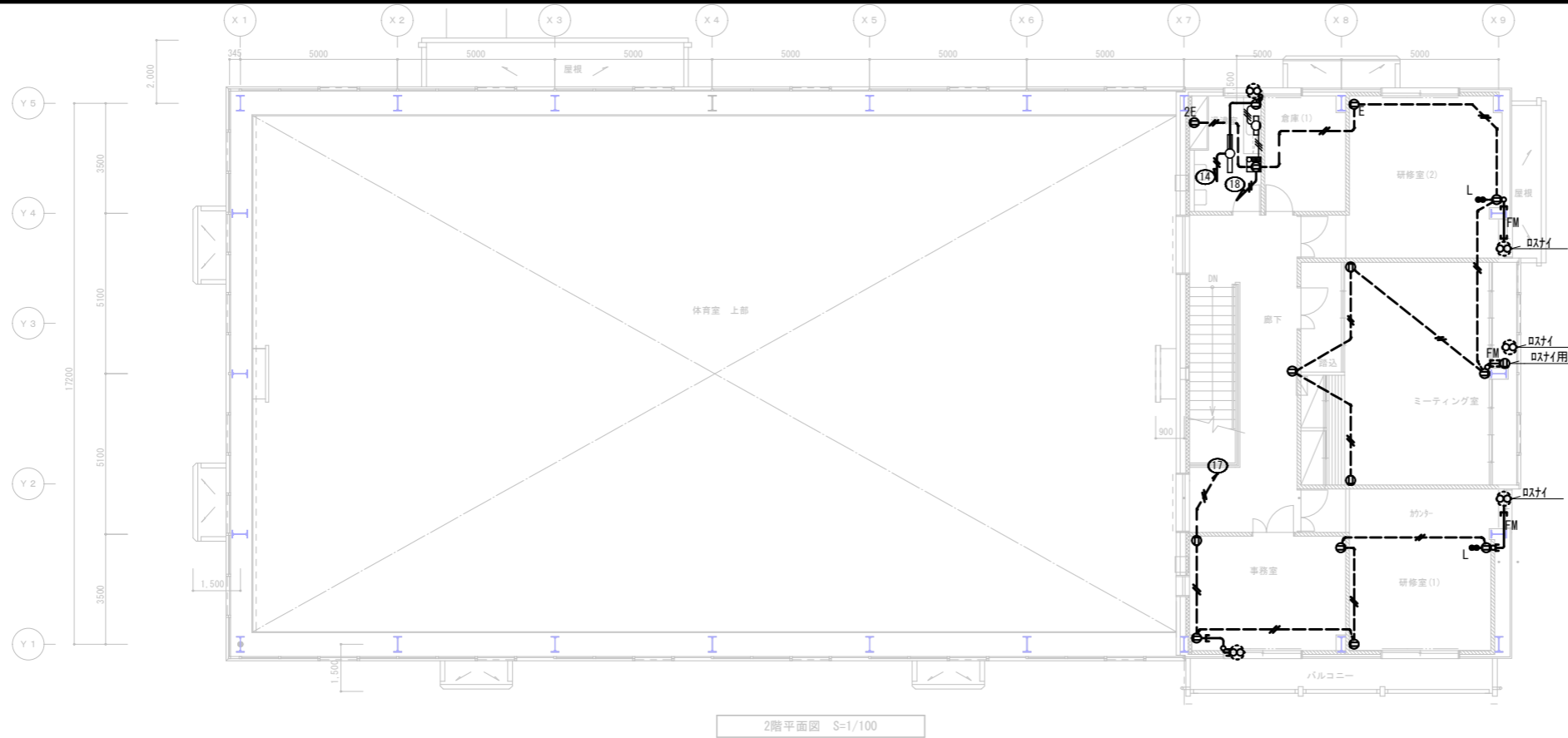
1. 体育館棟の改修を行う為、支障となる器具及び配線の取外し再取付を行う。

凡例

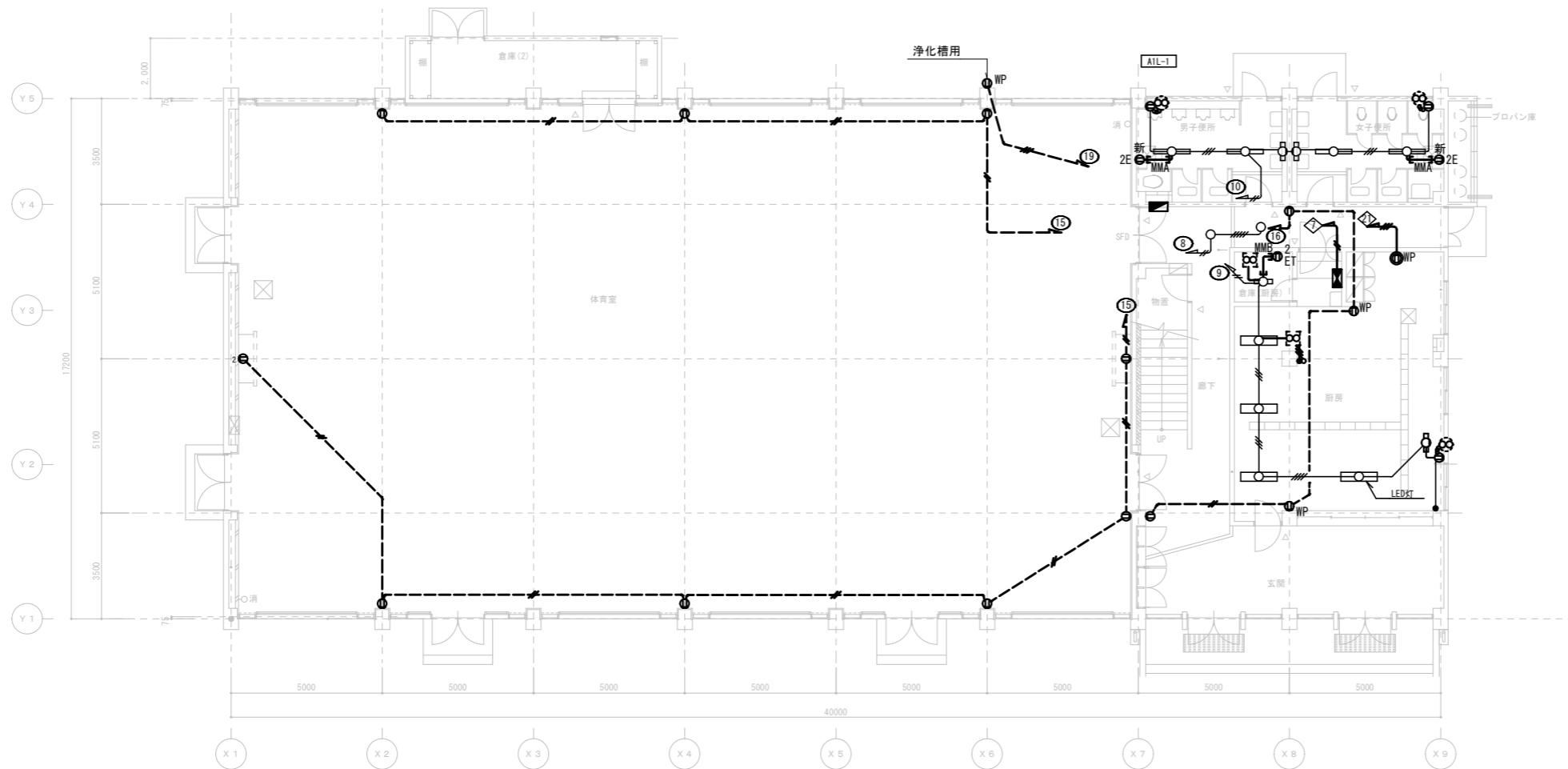
⊙S 警備用人感センサー



機械警備設備撤去及び改修図



2階平面図 S=1/100



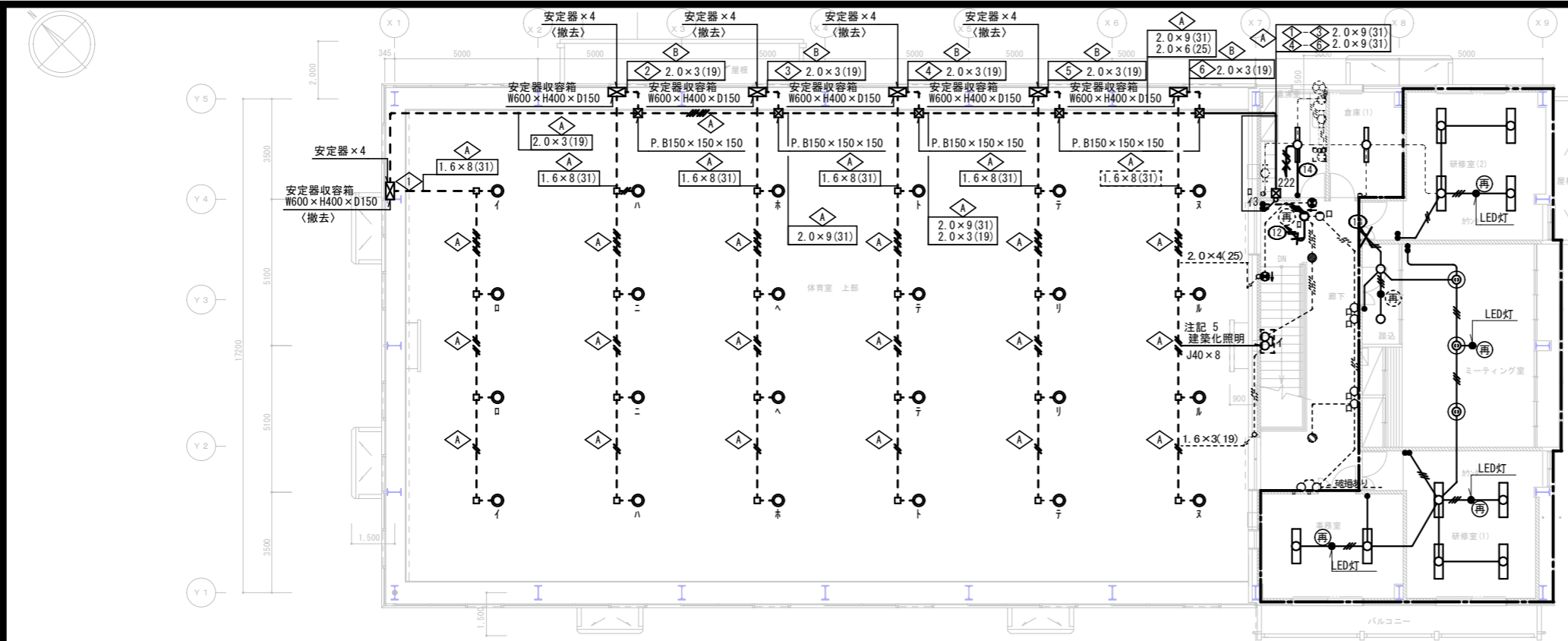
1階平面図 S=1/100

凡例

記号	名称	備考
ⓔ	埋込コンセント	2P15A×1 E付×2
ⓔET	埋込コンセント	2P15A×1 E付
ⓔ2E	埋込コンセント	2P15A×2 E付
ⓔWP	埋込コンセント	2P15A×2 E付 防水型
ⓔWP	埋込コンセント	2P15A×1 200V E付 防水型
ⓔ2ET	露出コンセント	2P15AE×2 引掛け・防水型
ⓔ2ET	埋込コンセント+スイッチ	2P15A×2 E付+1P15A×2L付
Ⓢ	換気扇	
Ⓢ	天井埋込換気扇	

注記

- 特記なき配管配線は下記とする。
 ・コンセント回路は配線器具(コンセント)及び配線は全て撤去する。
 ただし配管は再使用するため、残置とする。
 - - - - - IV2.0×2 (19)
 - - - - - IV2.0×4 (25)
 ・細線の配線は既存のままとする。



2階平面図 S=1/100

体育館	事務室
直付水銀灯φ400W ×24 撤去	埋込FL40W-2×2 撤去 埋込LED灯 取外し

給湯室	
埋込FL40W-1×1	撤去

倉庫(1)	
埋込FL40W-1×1	撤去

研修室(2)	
埋込FL40W-2×4	撤去
埋込LED灯(非常灯)	取外し

階段・廊下	
誘導灯直付FL10W×2	撤去
非常照明×2	撤去

ミーティングルーム	
シーリングライト IL100W-3×3	撤去
ダウンライト IL100W×2	撤去
埋込LED灯(非常灯)	取外し

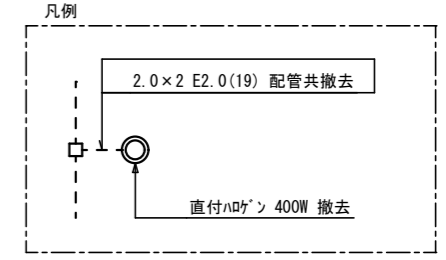
研修室(1)	
埋込FL40W-2×4	撤去
埋込LED灯(非常灯)	取外し

廊下	
ブラケット照明×8	撤去

廊下	
非常照明×2	撤去
誘導灯直付FL10W	撤去

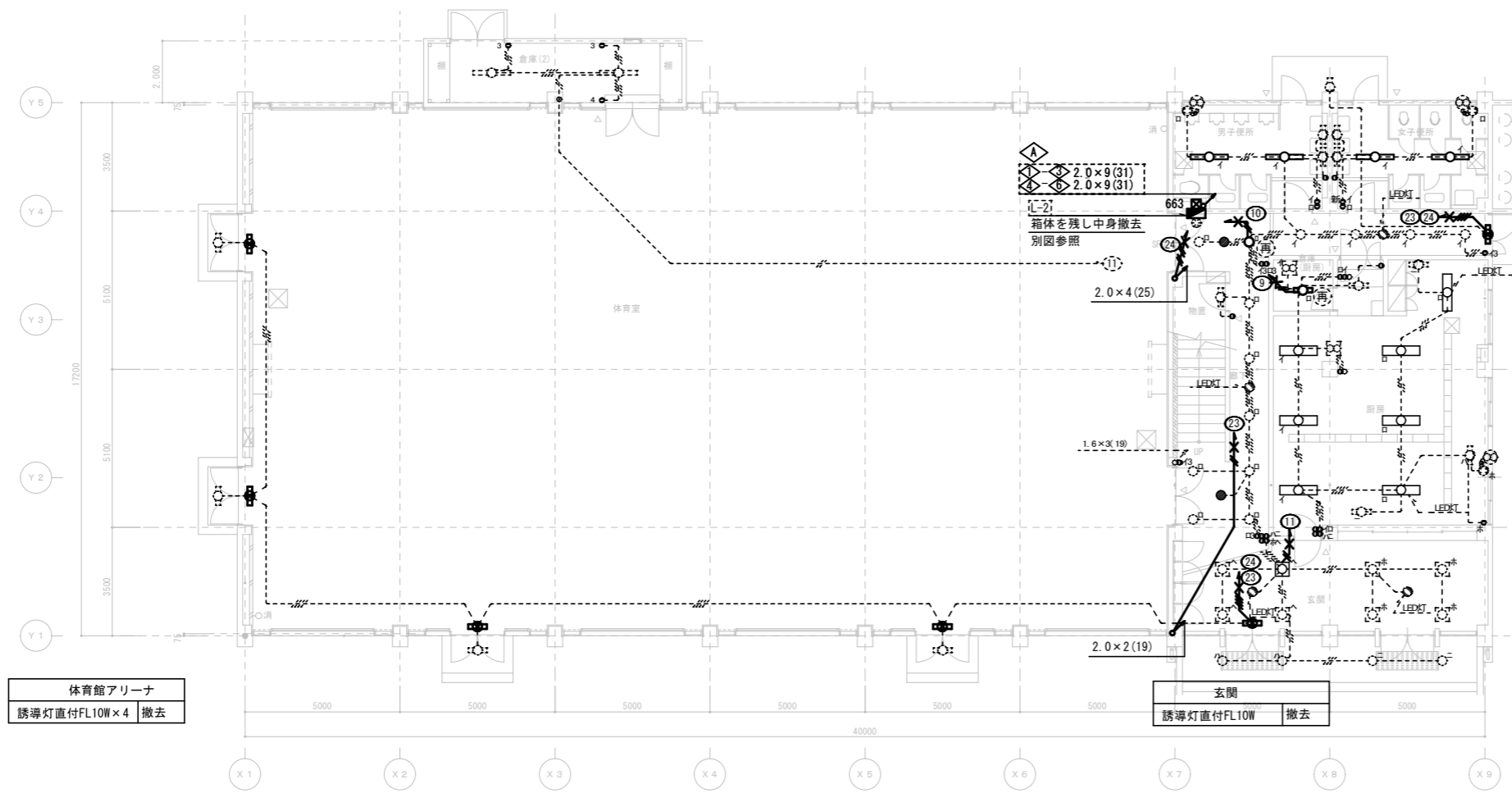
凡例

記号	名称	備考
■	電灯分電盤	
⊠	ブラケット	
□	プレート	
⊞	安定器収容箱	安定器共
○	水銀灯	直付φ400W φ-ド付 安定器別置
●	非常照明	LED埋込灯
●	埋込スイッチ	1P15A×1
⊕	再	は取外し再取付を示す。
⊕	通路誘導灯	
⊕	避難口誘導灯	BT付
⊕	誘導標識	



男子便所	女子便所
直付FL40W-2×2 撤去	直付FL40W-2×2 撤去

厨房	
直付FL40W-2×2	撤去

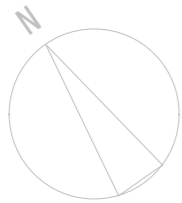


1階平面図 S=1/100

体育館アリーナ	
誘導灯直付FL10W×4	撤去

玄関	
誘導灯直付FL10W	撤去

- 注記
- 体育館の水銀灯を撤去しLED灯に更新する為、以下の様に配線の撤去を行う。
 ◆ 配線のみ撤去、配管はそのまま残置。
 ◇ 配管配線共撤去
 ・安定器収容箱は6面全て撤去とする。安定器共
 ・特記なきボックス類は残置とする。
 - 2階の研修室(2)、踏み込み、ミーティング室、研修室(1)、事務室は
 建築で天井・壁改修のため、配管配線及び機器は全て撤去とする。
 ただし非常照明は取外し、再使用とする。
 また配管は可能な限り撤去し、打ち込み配管は残置とする。
 ⊕印の器具は取外し再使用を示す。
 - 既設電灯盤L-2の改修に伴い、盤から照明第一BOXまでの電線を改修する為 撤去を行う。
 - 既設の特記なき配管配線は下記の通りとする。
 ———— IV1.6×2 (19)
 ———— IV1.6×3 (19)
 ———— IV1.6×4 (25)
 ———— IV1.6×5 (25)
 ———— IV2.0×2 (19)
 ———— IV2.0×4 (25)
 - 階段部J40×8を撤去し、ブラケット取付とする。(LED電球は施設に引渡し)
 - 細線の機器及び配管配線は既存のままとする。



体育館棟

本館棟

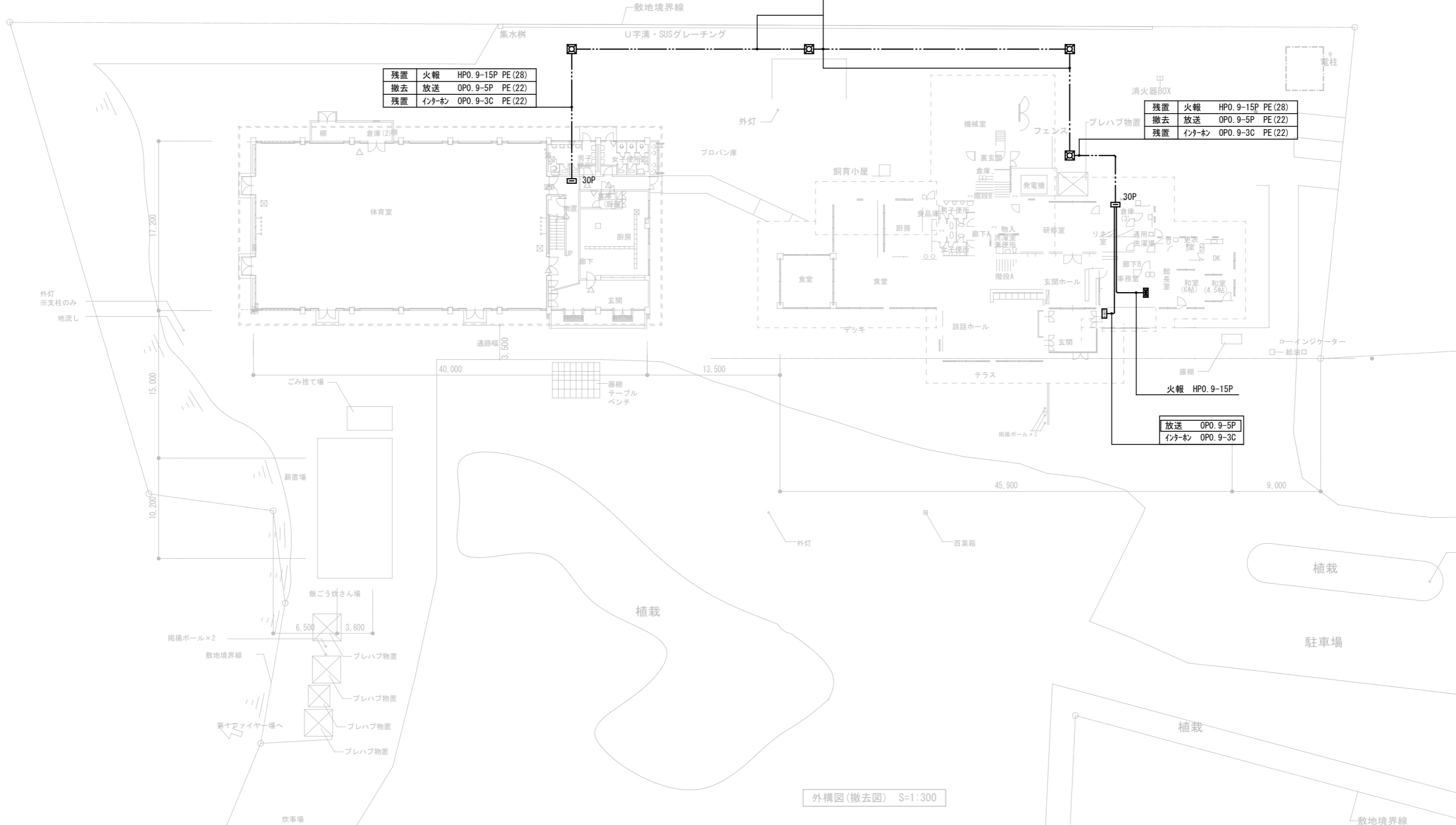
残置	火報	HP0.9-15P	
撤去	放送	OP0.9-5P	(FEP50)
残置	インターホ	OP0.9-3C	

注記
 1. ※放送のOP0.9-5Pは撤去とし、
 火報、インターホはそのままで使用する。
 2. ハンドホはそのまま残置とする。

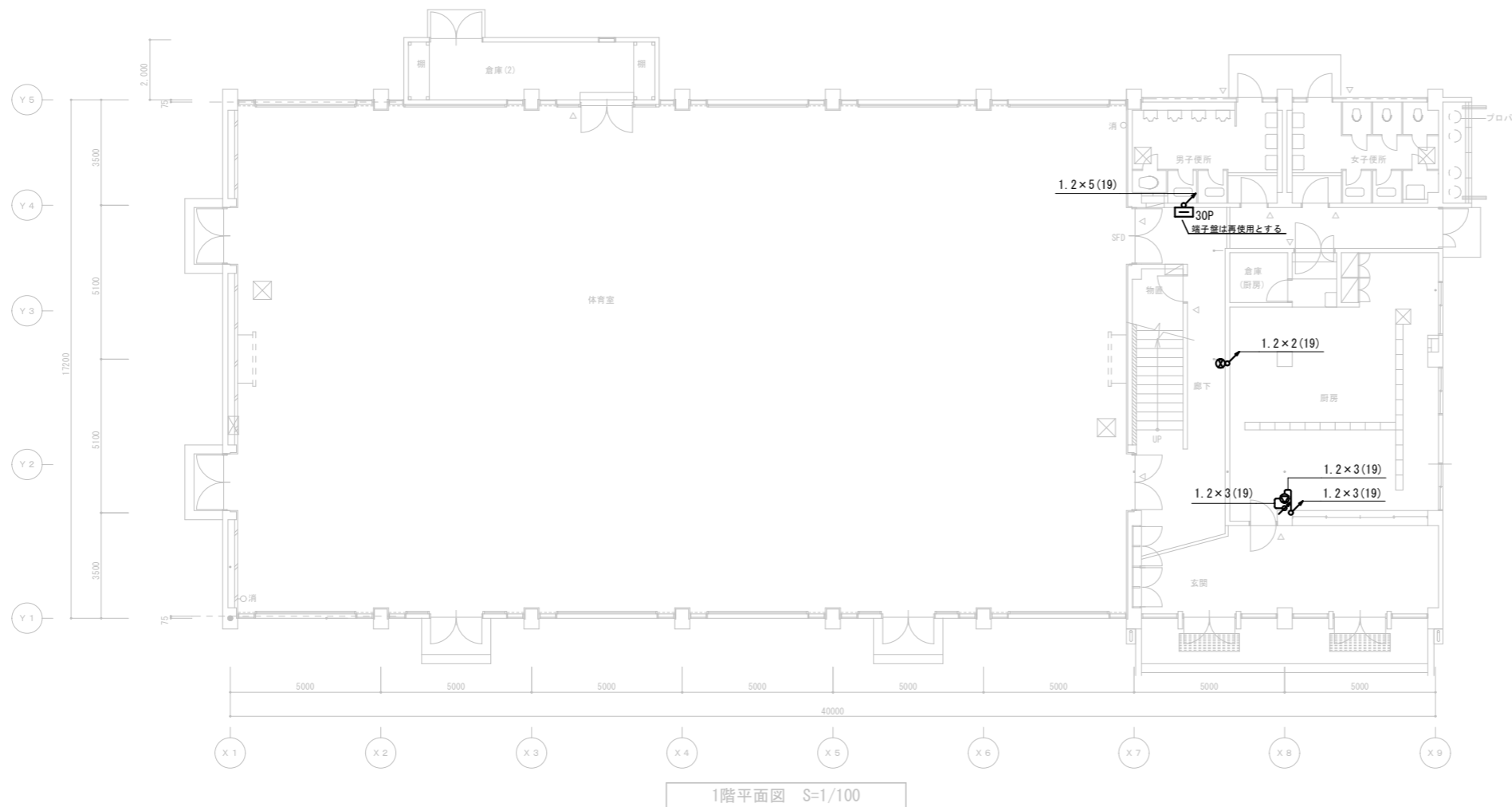
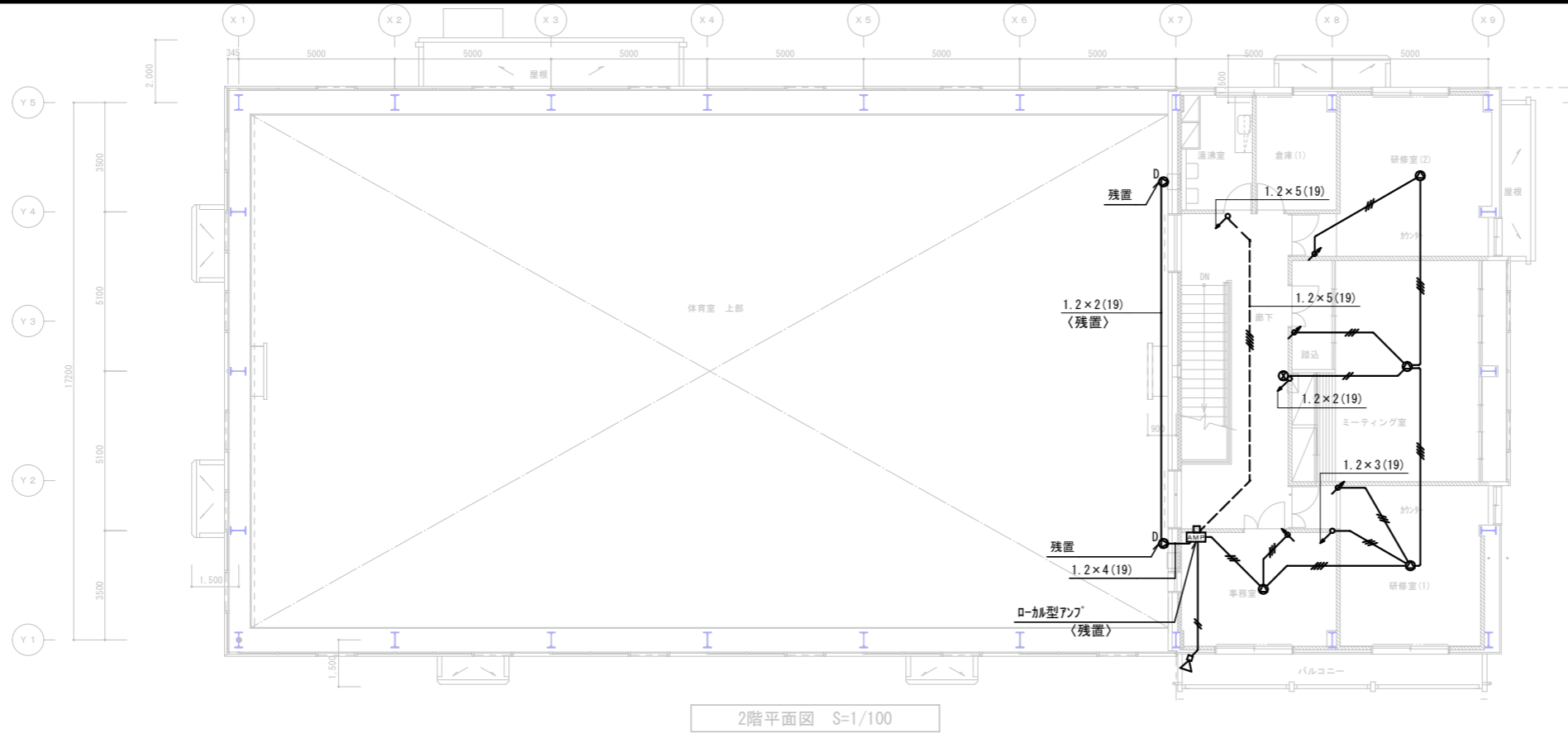
残置	火報	HP0.9-15P	PE(28)
撤去	放送	OP0.9-5P	PE(22)
残置	インターホ	OP0.9-3C	PE(22)

残置	火報	HP0.9-15P	PE(28)
撤去	放送	OP0.9-5P	PE(22)
残置	インターホ	OP0.9-3C	PE(22)

放送	OP0.9-5P
インターホ	OP0.9-3C



外構図(撤去図) S=1:300



凡例

記号	名称	備考
☐	端子盤	30P 残置
AMP	業務用放送ローカルアンテナ	残置
⊙	天井埋込型スピーカー	3W
⊗	壁掛型スピーカー	3W
D ⊙	コラムスピーカー	30W
⊗	壁掛両面型スピーカー	6W
△	トランペットスピーカー	10W
↗	アンテナ	

注記

1. 特記なき配管配線は下記とする

・非常放送設備

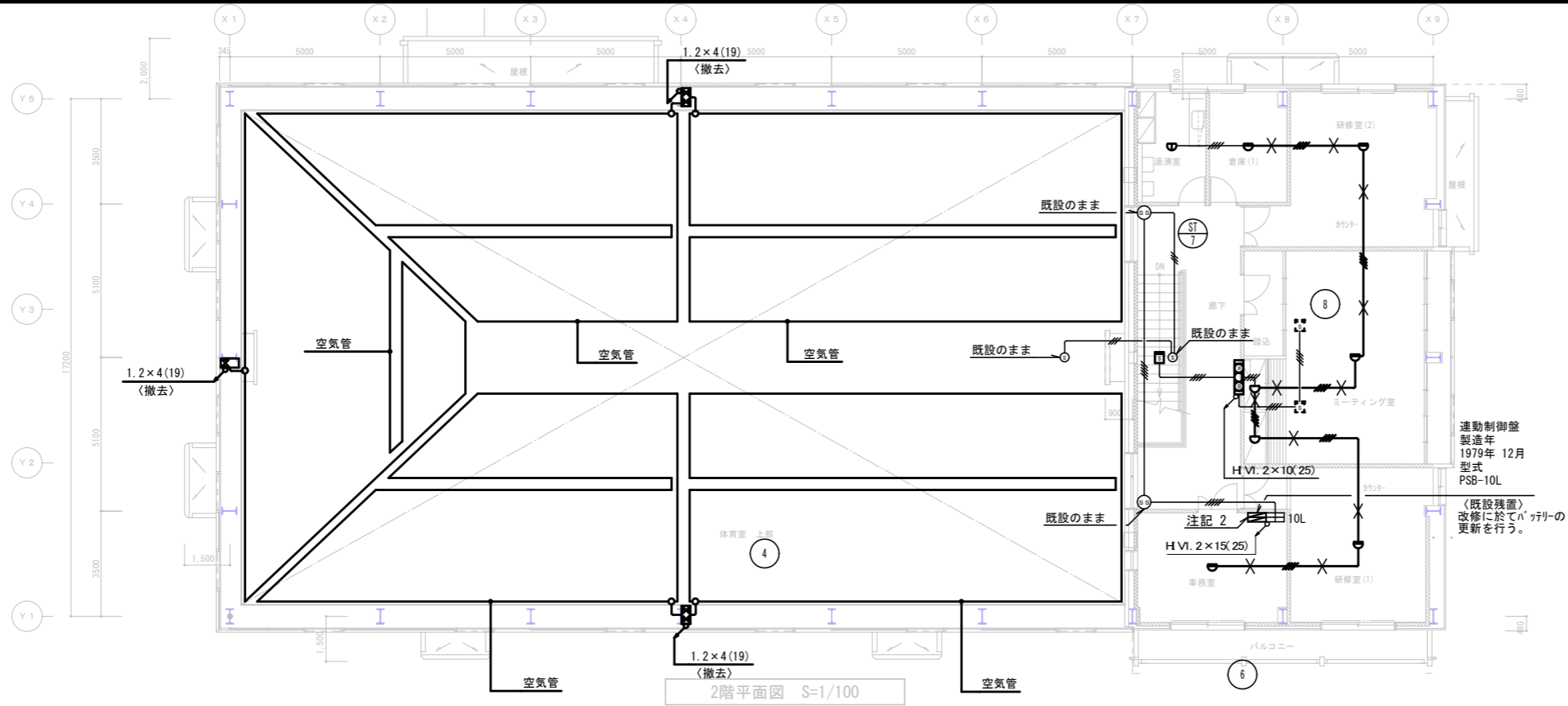
IV1.2x2(19)

IV1.2x3(19)

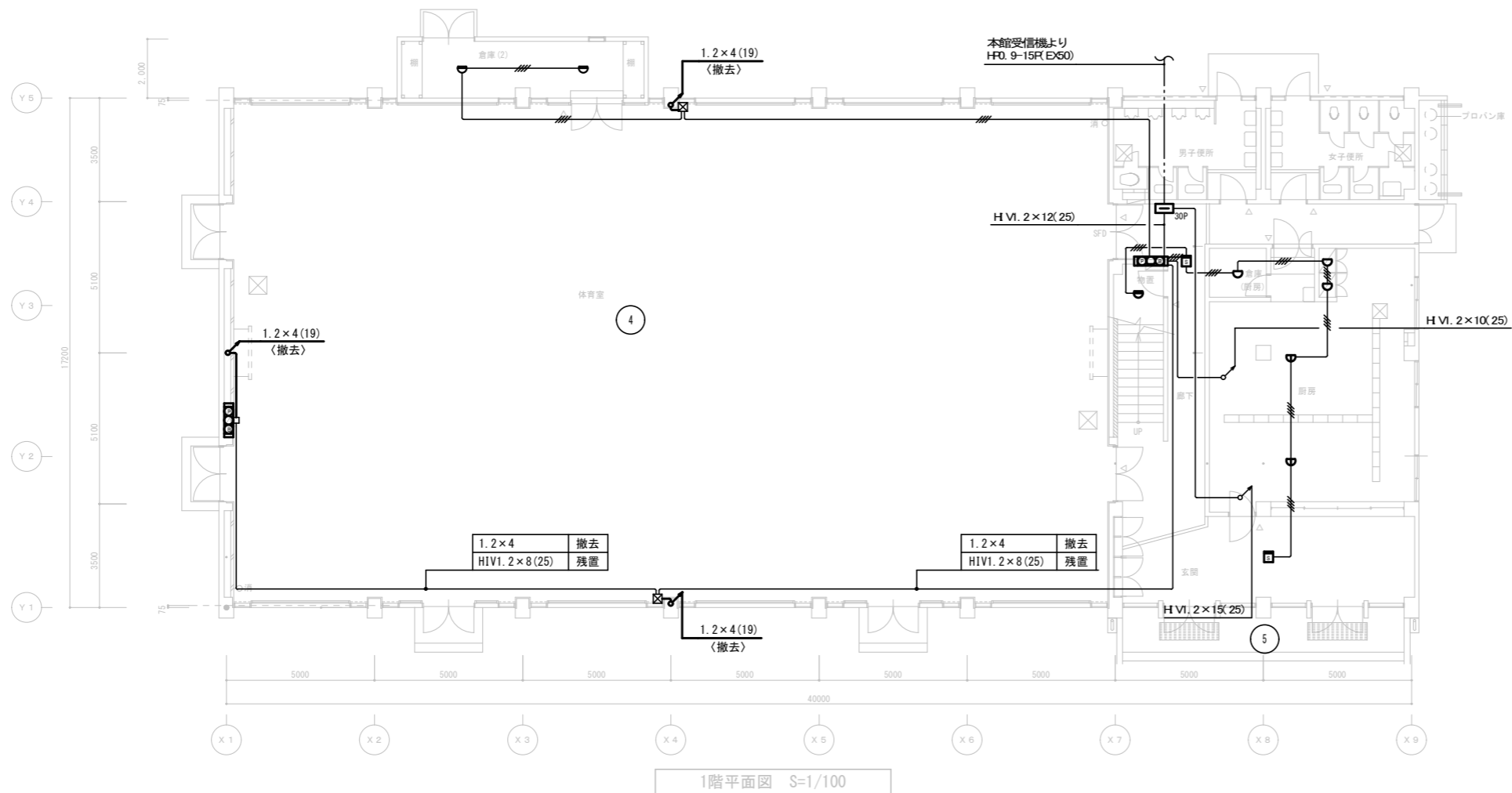
図中の特記なき配線は全て撤去とする。

ただし配管はそのまま残置とする。

2. 体育館専用のローカルアンテナ、スピーカー配線等はそのまま残置とする。



2階平面図 S=1/100



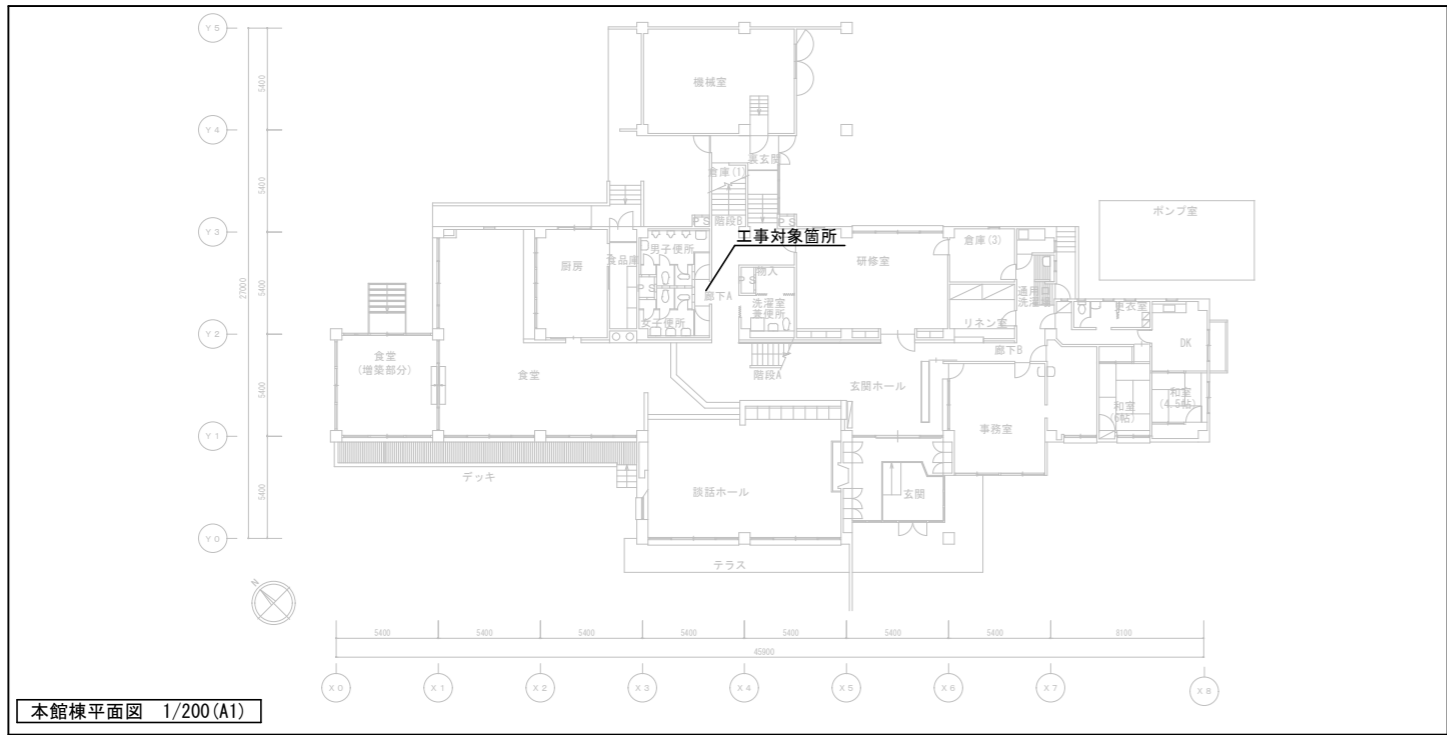
1階平面図 S=1/100

<凡例>

記号	名称	備考
	副受信機	10L
	連動制御盤	既設のまま
	差動式スポット型感知器	2種
	定温式スポット型感知器	1種 防水型
	定温式スポット型感知器	1種
	煙感知器	2種
	差動分布型感知器	2個用
	差動分布型感知器	1個用
	機器収容箱	消火栓組込 ○○○収容
	発信機	P型1級
	表示灯	
	ベル	
	防火シャッター	
	煙感知器	3種
	アクトレトホックス	
	アクトレトホックス	

注記

- 特記なき配管配線は下記とする。
 IVI. 2x4(25)
 空気管 撤去
 ・特記なき配線撤去とする。
- 連動制御の機器はそのまま残置とするが、連動制御盤内のバッテリーの交換を行う。



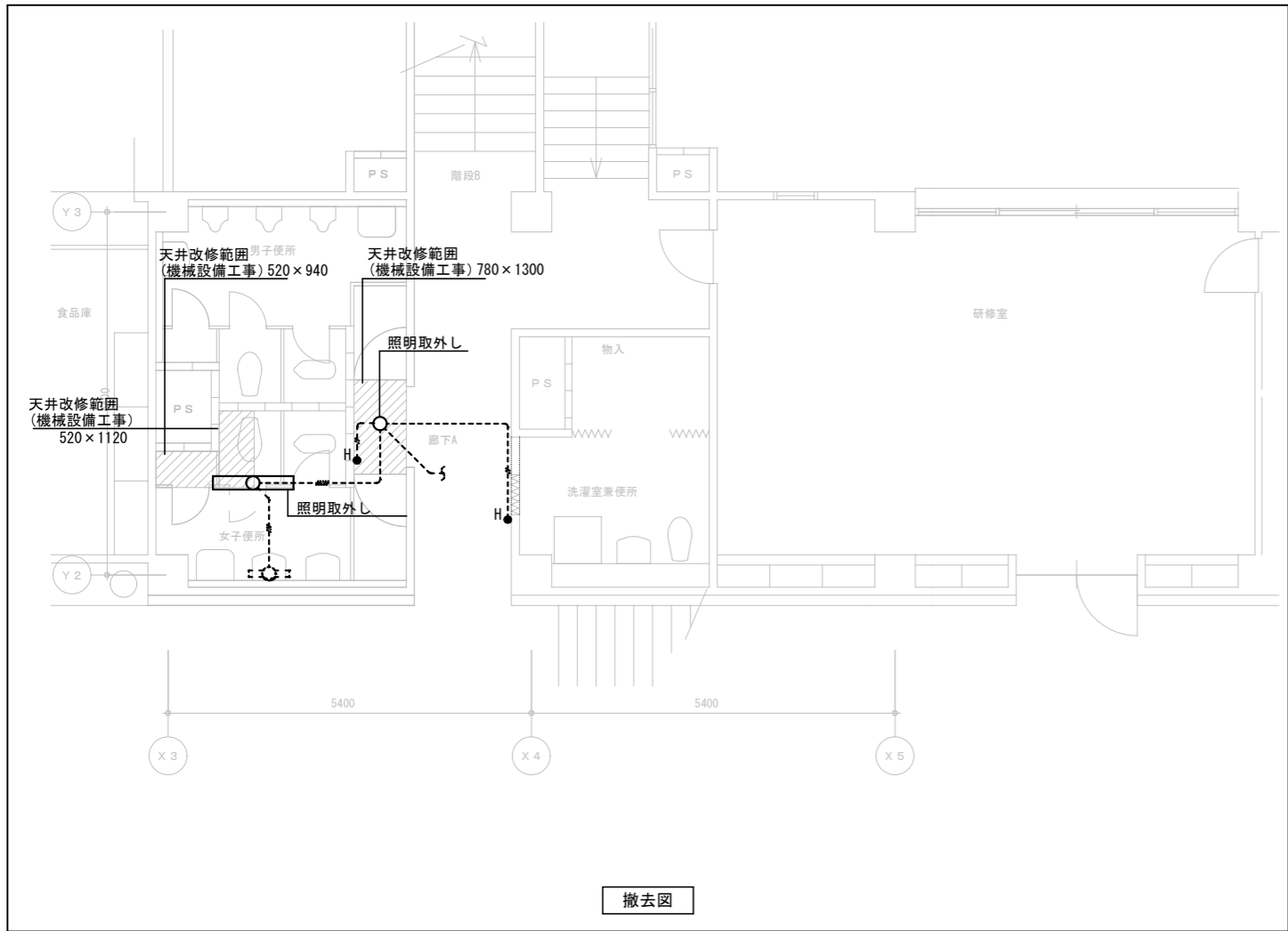
本館棟平面図 1/200 (A1)

注記

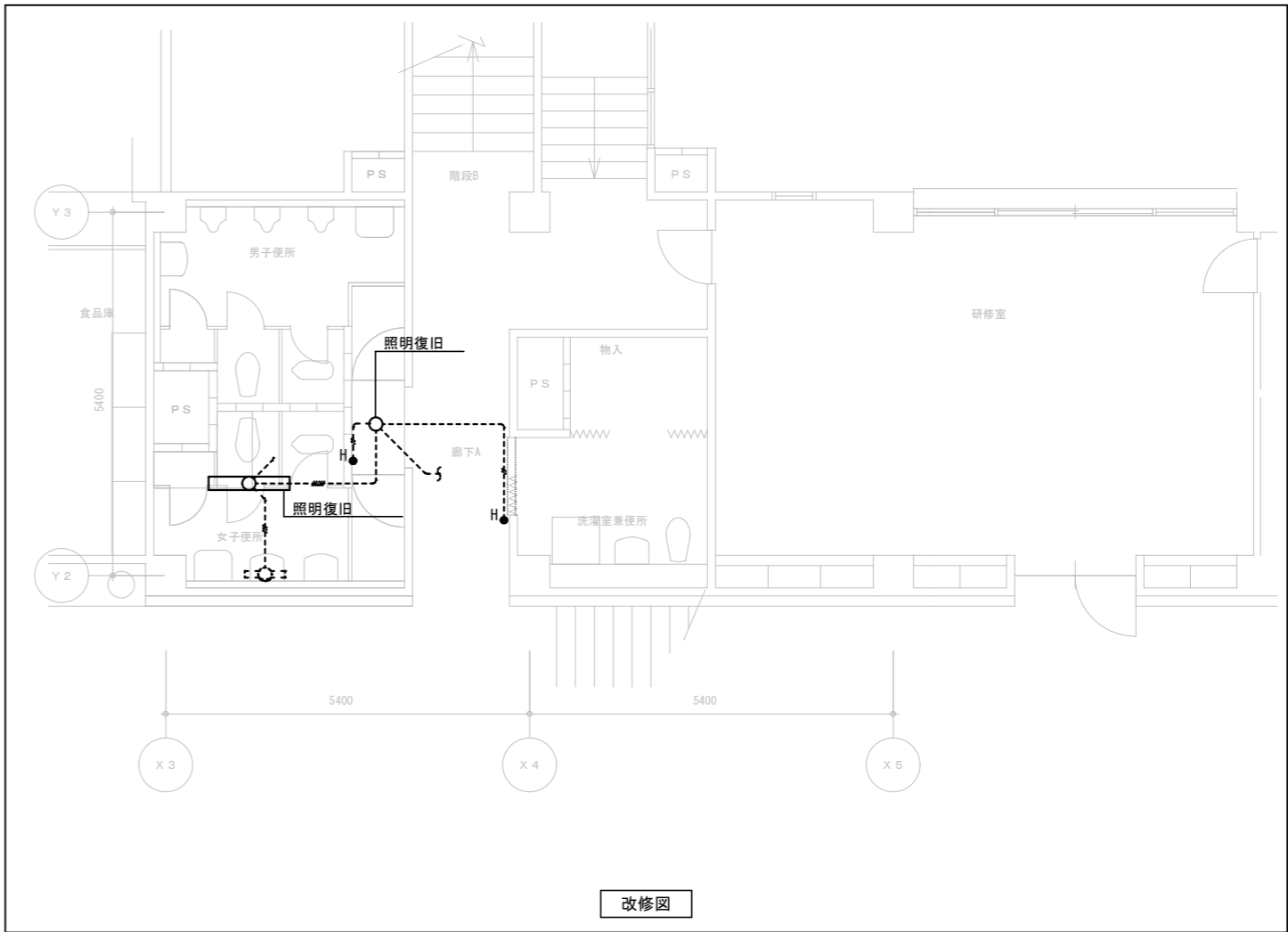
- 特記なき配線は下記とする。
 - - - - - IV1.6×2 (管内)
 - - - - - IV1.6×3 (管内)
 - - - - - IV1.6×5 (管内)
- 機械設備工において本館棟の一部天井内改修を行う為、支障となる器具の
 取外し再取付を行う。

凡例

	LEDﾊﾞｰｽﾗｲﾄ 直付形
	LEDﾗﾞﾗﾝﾄﾞﾗｲﾄ
	LEDﾗﾞﾗﾝﾄﾞﾗｲﾄ 壁付形
	1P15A 埋込ｽｲｯﾁ 位置表示灯付

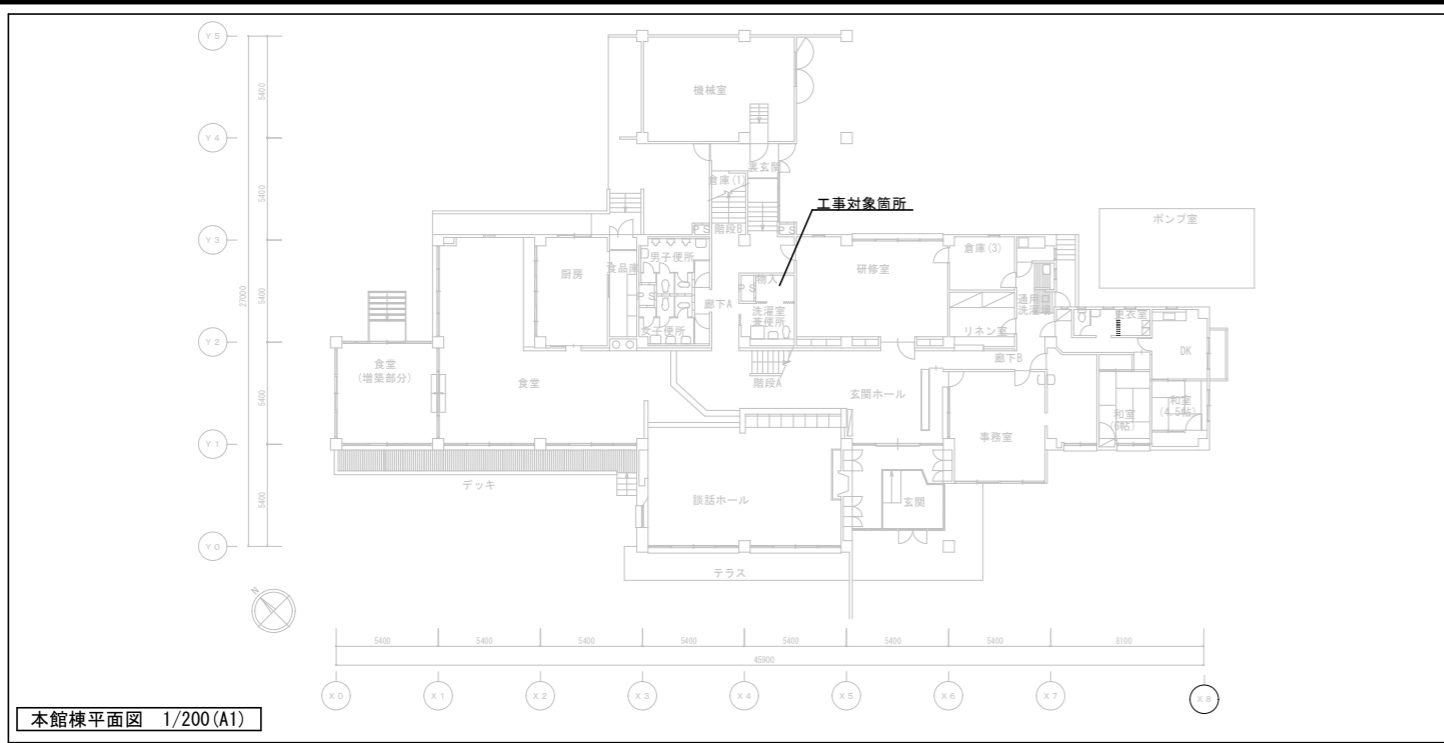


撤去図



改修図

電灯設備撤去及び改修図



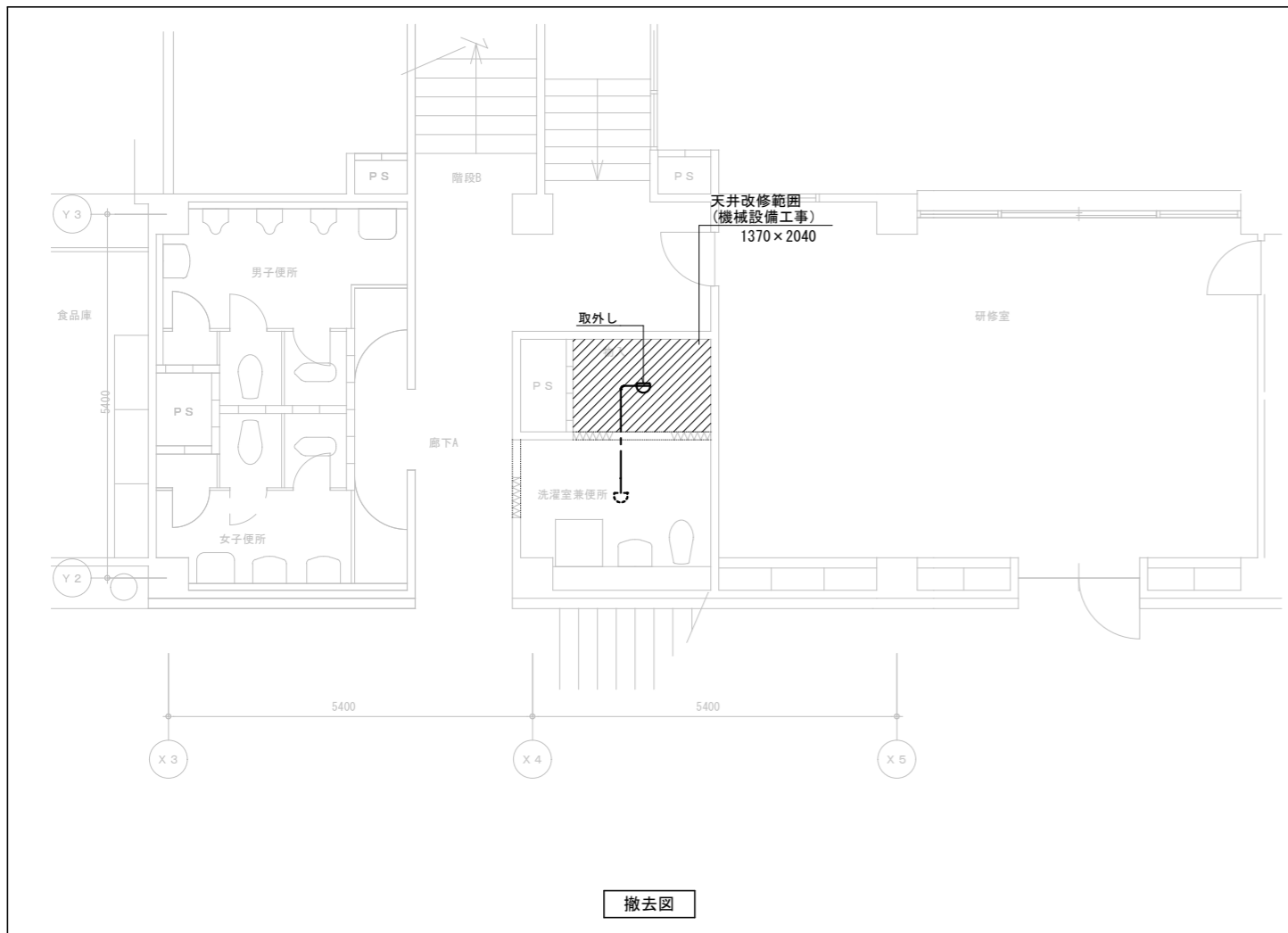
本館棟平面図 1/200(A1)

注記

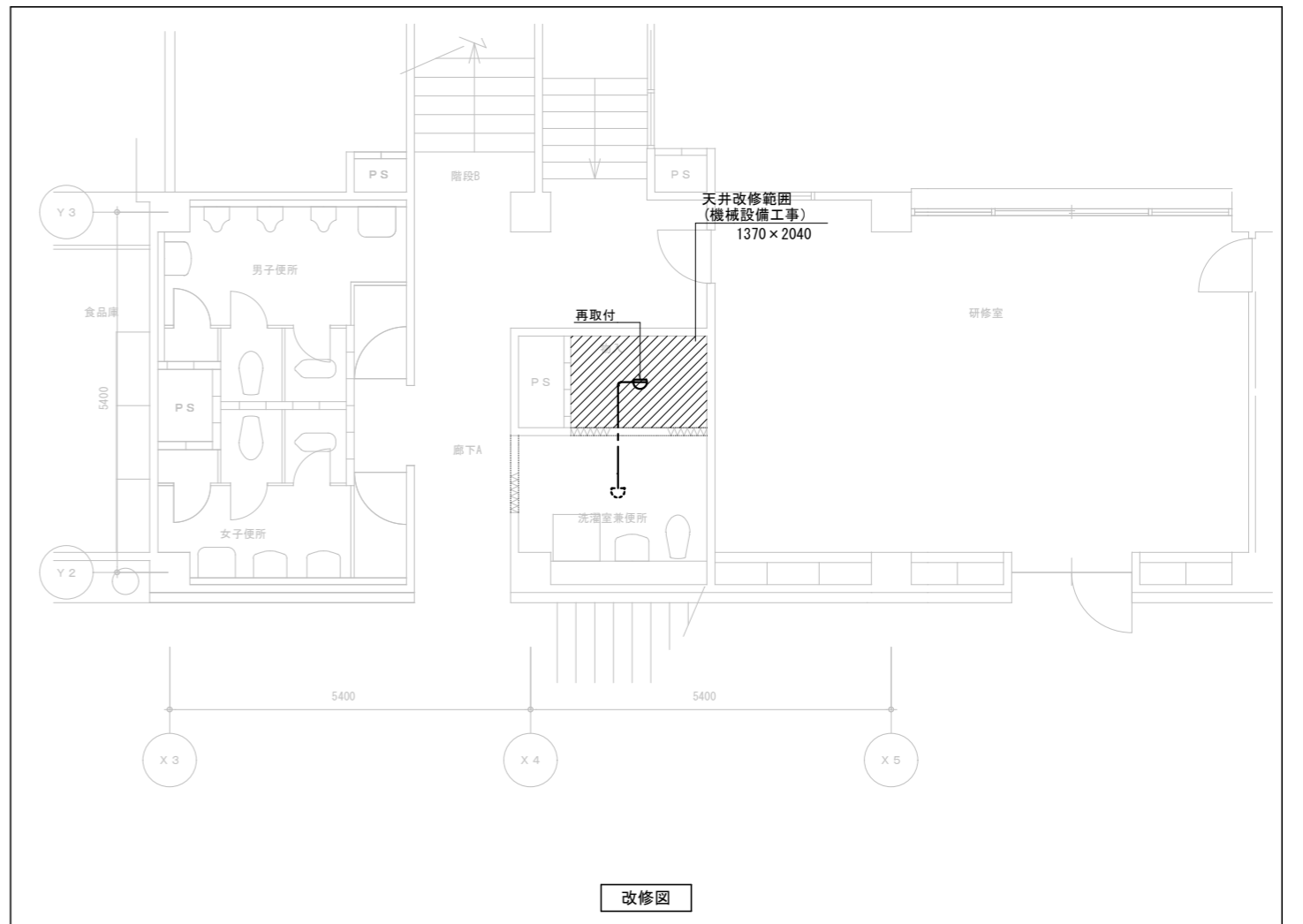
1. 機械設備工事に於いて本館棟の一部天井内改修を行う為、支障となる器具の取外し再取付を行う。
2. 破線の器具は残置とする。

凡例

- 差動式ｽﾍﾞｯﾄ型感知器2種 露出型
- 定温式ｽﾍﾞｯﾄ型感知器1種 露出型

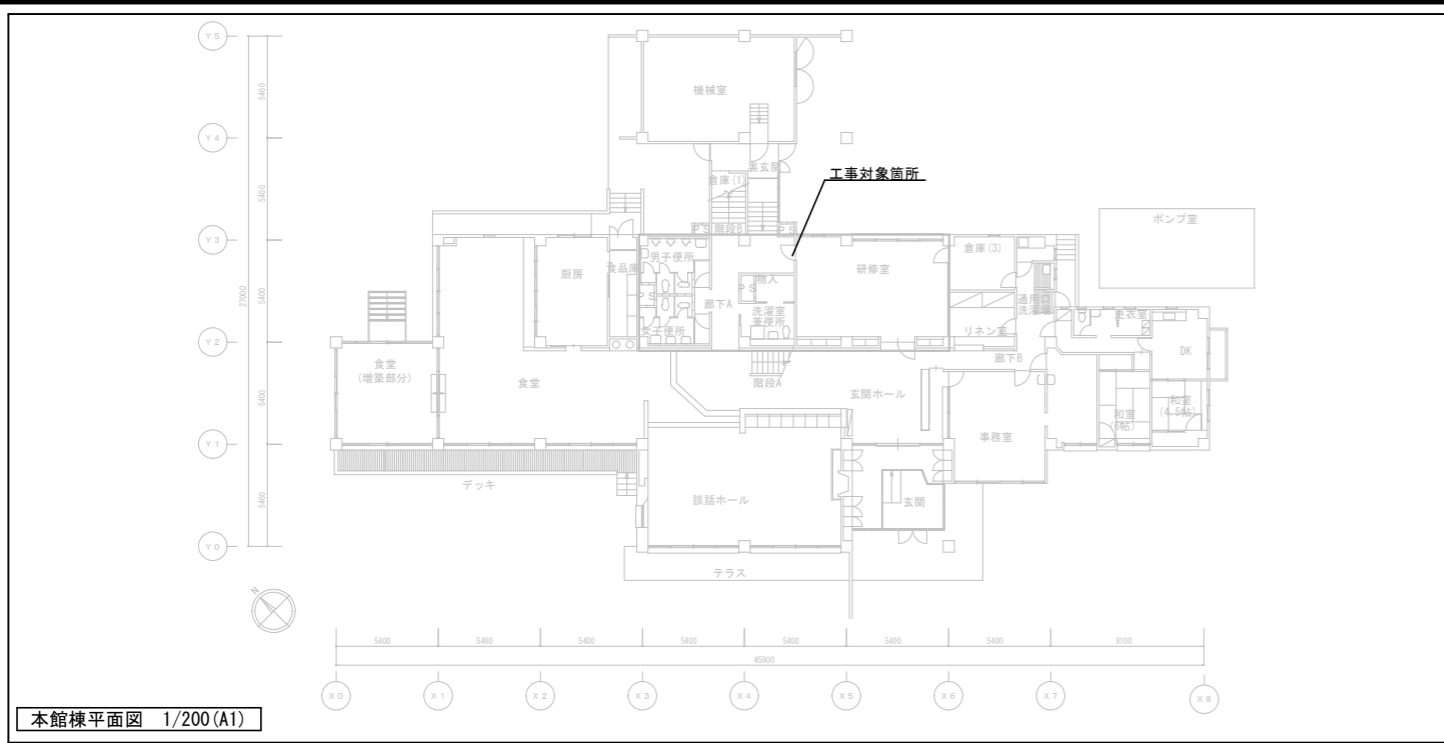


撤去図



改修図

火災報知設備撤去及び改修図



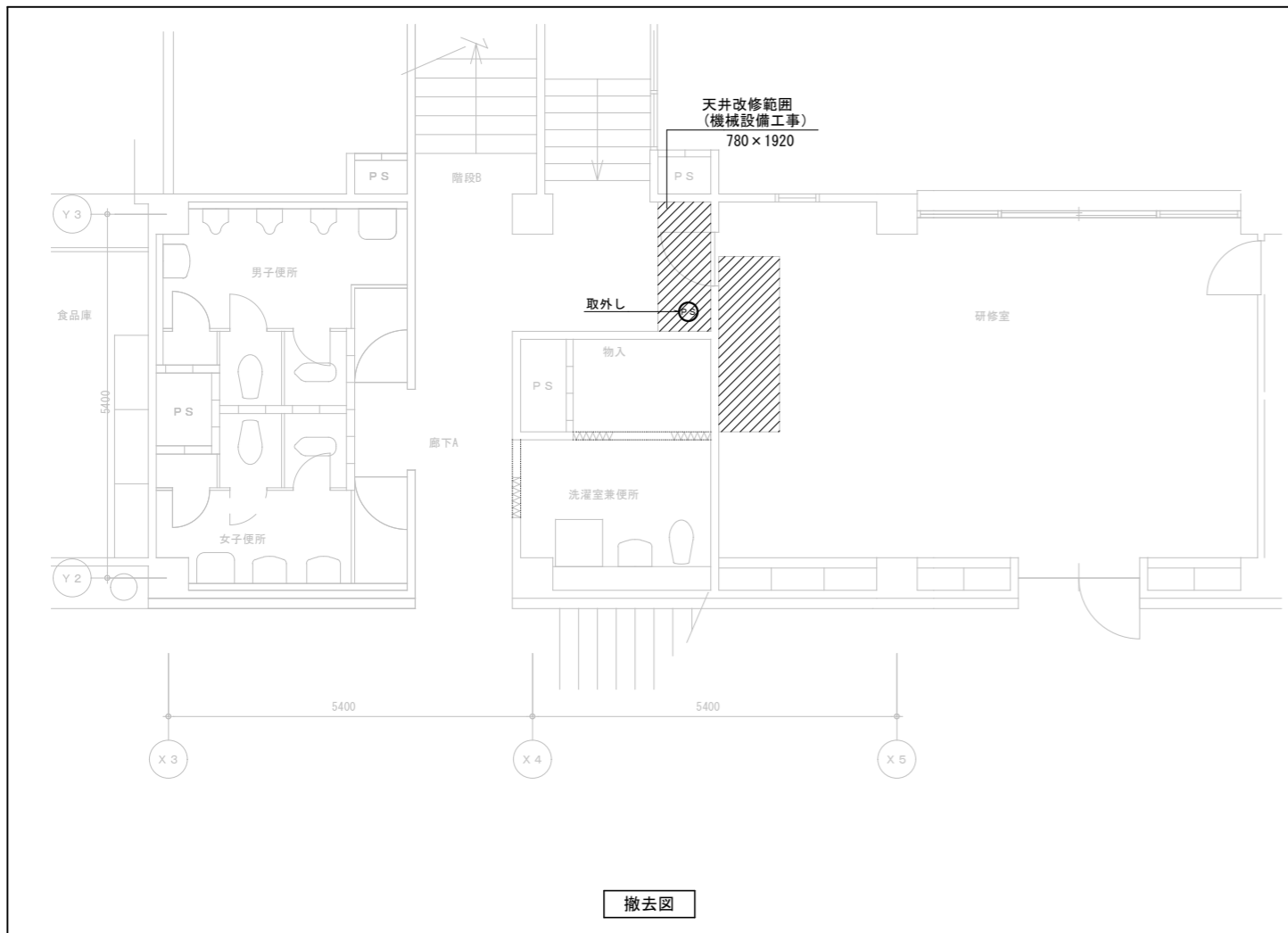
本館棟平面図 1/200(A1)

注記

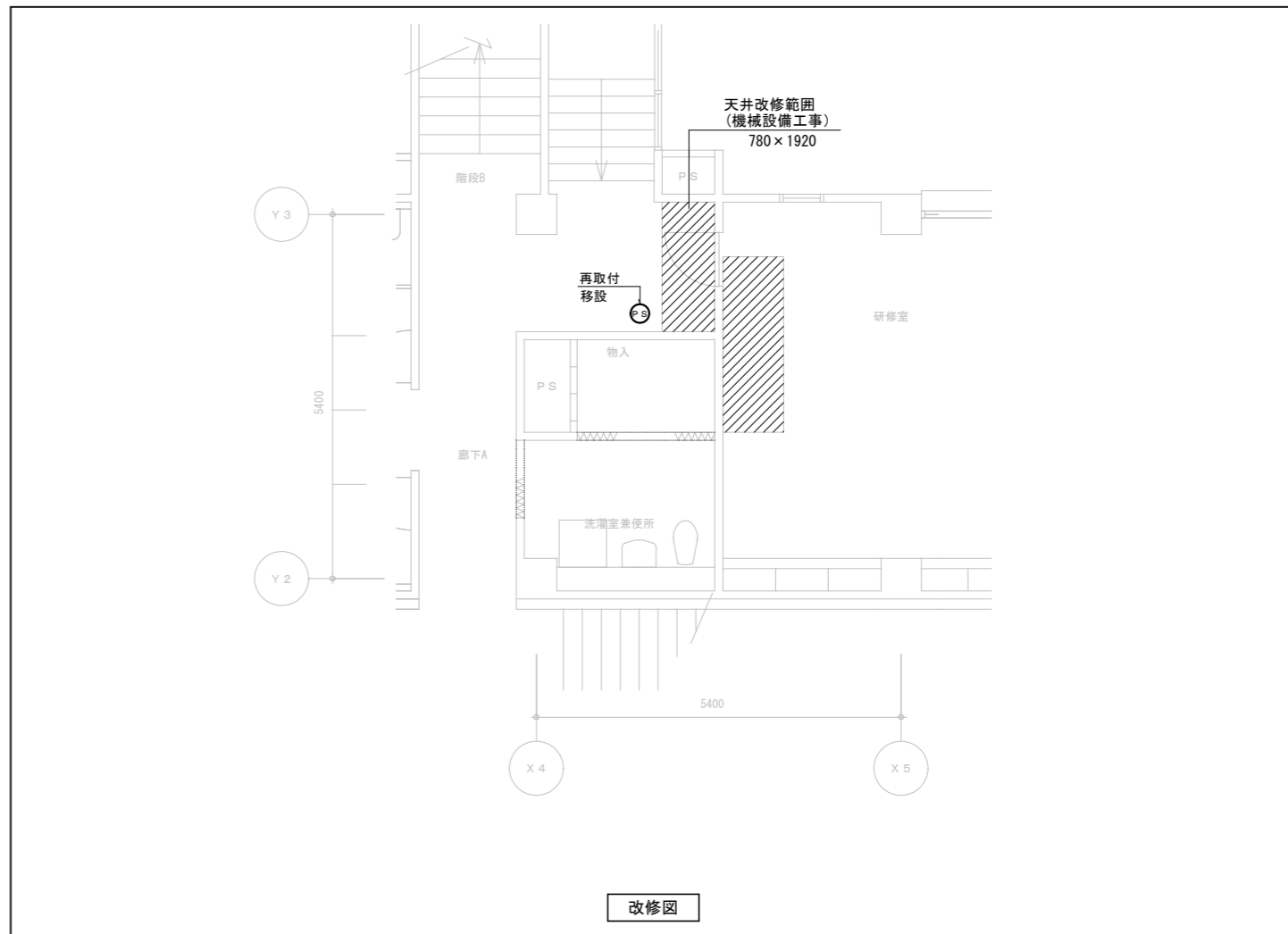
1. 機械設備工事に於いて本館棟の一部天井内改修を行う為、支障となる器具の
取外し再取付を行う。
2. 別途機械警備工事とする。

凡例

Ⓢ 警備用人感センサー



撤去図



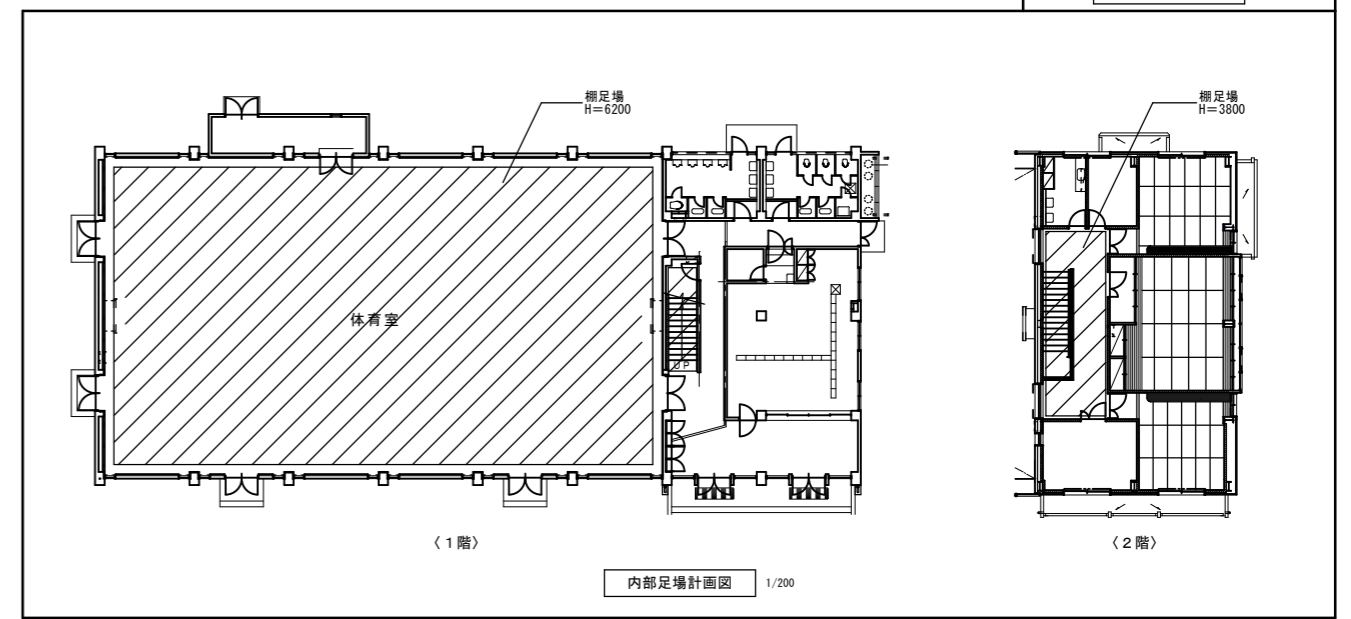
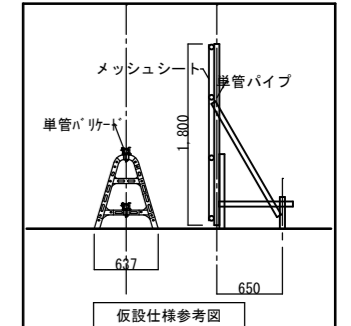
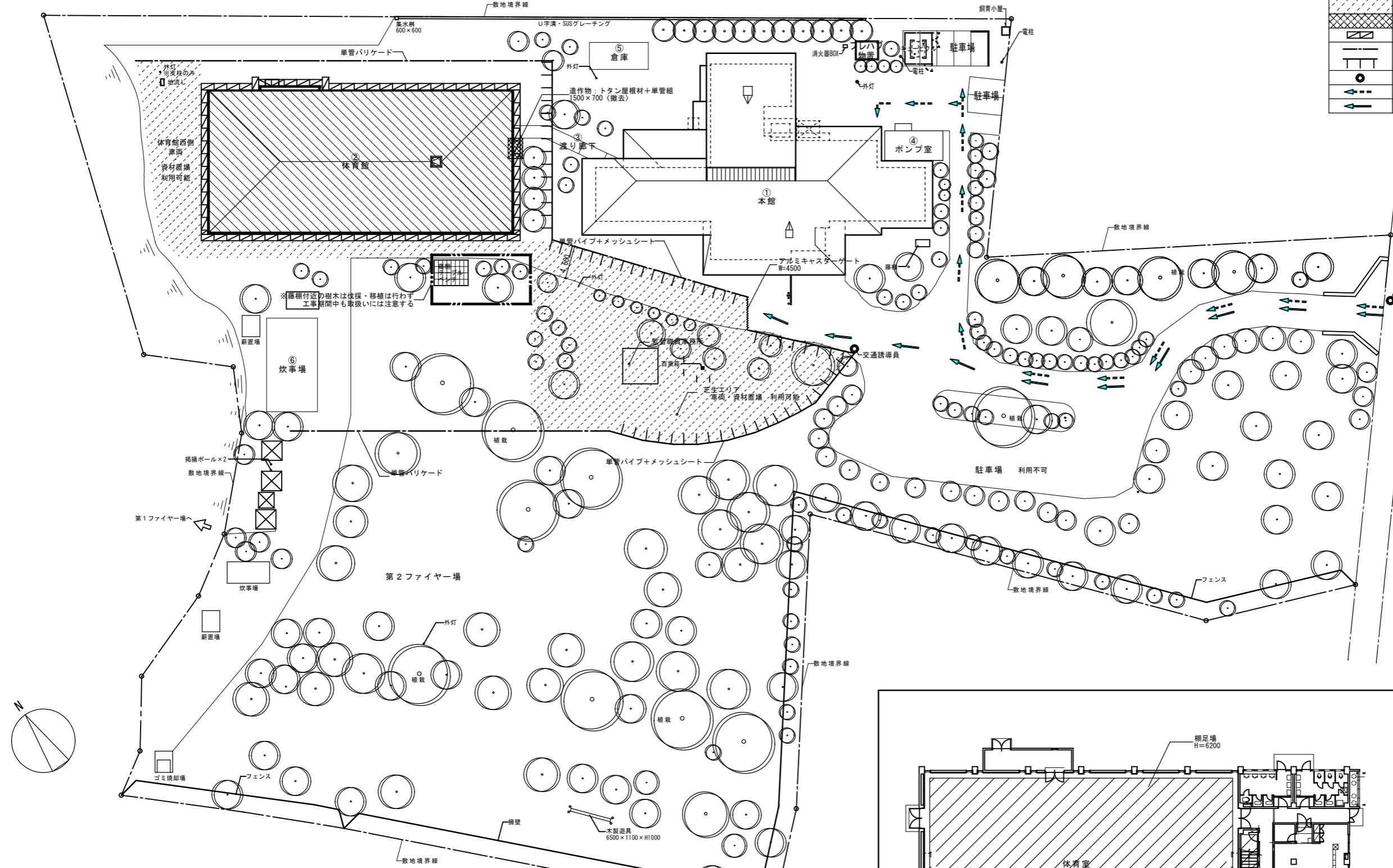
改修図

機械警備設備撤去及び改修図

■仮設計画（外部）（参考図）
令和8年8月上旬～令和8年11月下旬

〈凡例〉

	改修建物範囲を示す
	工事車両・資材置場範囲を示す
	仮設足場設置障害物（詳細は注記を参照）
	外部足場 W=900
	単管パイプ+メッシュシート H=1,800 109m
	交通誘導員（合計：96人）
	職員動線
	工事車両動線



- 【特記事項】
1. 工事現場の接道を通行止めとするは原則として禁止すること。
 2. 工事車両の乗り入れはできる限り小さく、入念な搬出入計画を立てること。
 3. 工事車両の走行は必ず徐行運転とし、安全を確保すると同時に騒音・振動を極力抑えること。
 4. 搬入時に周辺の器物・道路を破損した場合は直ちに現状復帰すること。
 5. 資材置場等の設置に伴い既存建物に影響を及ぼすと考えられる場合は、十分に養生し、移設が必要な場合は監督員と協議し、適切な場所を選定すること。
 6. 工事出入口は工事関係以外立ち入らないように措置をとること。
 7. 現場内外に必要に応じて「危険」「注意」「通行禁止」等の標識を設置すること。
 8. 必要に応じてカラーコーン、コーンバーで通路確保、立ち入り禁止措置を行うこと。
 9. 植栽・工作物などが工事に支障をきたす場合は、監督員と協議の上適切な措置を施すこと。
 10. 近隣への騒音・振動等の影響を極力少なくし、やむを得ず発生する工事は事前に周知し、理解を得ること。

11. 近隣環境を考慮し、防音シート等を適切に配置すること。
 12. 本工事は施設を運営しながらの工事であり、利用者・職員に対する安全を確保しなければならない。
 13. 利用者・事務員の動線上に外部足場からの落下物の恐れのある部分（玄関）には、1階天井レベルにて落下物養生を設けること。
 14. 壁・天井を塗装される各室・廊下の床は、床養生を行い施工する。
 15. 掃足場最上部に安全手摺設置のこと。
 16. 足場外周は全面メッシュシート張りとし、外壁とのすき間には各層毎に隙間落下養生ネットを、3層毎に落下防止養生足場板を設置する。
 17. 内部足場周囲は、床養生（合板12mm+ブルーシート）すること。
- ※本仮設計画は参考図であり、実施にあたっては監督員・施設と協議の上立案すること。

参考図